

# リアホサ

救い主から与えられる奉仕の  
召しに応じる, 4, 14, 20ページ

わたしたちがあがめるキリスト——  
ホランド長老からすべてのクリスチャンへのメッセージ,  
24ページ

こんにち  
今日の『若人の強さのために』, 54ページ

ジョプリンから日本へ——  
自然災害の中に勇気を見いだす, 60ページ







「5人の思慮深い者」

ローズ・デイトック・ドール

10人のおとめが花婿に会いに行った。「その中の5人は思慮が浅く、5人は思慮深い者であった。」思慮深い者が「自分たちのあかりと一緒に、入れものの中に油を用意した。」思慮の浅い者もあかりをもっていたが、「油を用意していなかった。」「花婿だ」という呼ぶ声がして、思慮の浅い者が油を買いに出た。「花婿が着いた。そこで、用意のできていた女たちは、花婿と一緒に婚宴のへやにはいり、そして戸が閉められた。」(マタイ25:1-13 参照。)



## メッセージ

- 4** 大管長会メッセージ——  
救い主から与えられる  
奉仕の召し  
トーマス・S・モンソン大管長
- 7** 家庭訪問メッセージ——  
助けの必要なときに  
行動を起こす

## 特集

- 14** トーマス・S・モンソン ——  
義務に応じる  
ハイディ・S・スウィントン  
トーマス・S・モンソン大管長の  
人生経験は、彼の模範に従うよう  
わたし達を促してくれます。
- 20** 奉仕の日を祝う  
キャスリン・H・オルソン  
世界中の会員が奉仕の日に地域  
社会に貢献しました。

## 24 キリストの大義のために 団結する

ジェフリー・R・ホランド長老  
地域の広報評議会は、教会が、  
地域社会やメディアや他の教会と  
良い関係を作れるように支援して  
います。

## 34 地の果てで信仰を見つける

マイケル・R・モリス  
アルゼンチンのウシュアイアの  
改宗者は、福音を受け入れ新しい  
生活を始めます。

## 78 わたしたちの宗教に関する 質問に答える

マイケル・オッターソン  
質問に答える際に心に留めておく  
べき5つの項目。

表紙  
「人間をとる漁師」サイモン・デューイ画

## シリーズ

- 8** 4月の大会ノート
- 10** わたしたちが信じていること——  
聖餐—— 救い主を覚える
- 12** 福音クラシック——  
自分の義務を学びなさい  
ジョセフ・B・ワースリン長老
- 19** 教会での奉仕——  
一人のために奉仕する  
アル・バンルーウェン
- 30** わたしたちの家庭、  
わたしたちの家族——  
自然災害——  
恐れる必要はありません  
スタンレー・G・エリス長老
- 38** 末日聖徒の声
- 74** 教会のニュース
- 77** 家庭の夕べのためのアイデア



42



**42 混乱の世にあって信仰を守る**  
 ジェラルド・コセービショップ  
 信仰と証を強く保つ助けとなる  
 5つの原則。

こんげつごう なか  
**今月号の中に**  
 かく  
**隠れている**  
 リアホナを  
 さが  
**捜しましょう。**  
 ヒント——  
 (サモア諸島の)  
 いえ



54

**46 質疑応答**

ポルノグラフィーにおぼれています。  
 わたしはポルノグラフィーによって  
 人生を台なしにしようとしています。  
 どうすれば習慣性を断ち切ることが  
 できるのでしょうか。

**48 どうしたら赦されたと  
分かるのでしょうか**

タッド・R・カリスター長老  
 もし赦されたとすると、今でも罪  
 悪感を感じるのはなぜでしょう。

**51 わたしたちのスペース**

**52 犠牲、しかし喜び**

エドワード・M・アコサ  
 自分が稼いでいるお金よりも、主に  
 仕えることのほうがもっと大切で  
 しょうか。

**53 神殿の中の自分を思い描く**

アドリアネ・フランカ・レオン  
 神殿結婚をしたいとわかっていま  
 したが、まず正しい選択をしなけ  
 ればなりませんでした。

**54 『若人の強さのために』  
今日の錨**

デビッド・L・ベック、  
 イレイン・S・ダルトン  
 新しい『若人の強さのために』は  
 どのように助けになりますか。  
 中央若い男性会長と中央若い女  
 性会長の見解を読んでみてくだ  
 さい。

**58 母の模範**

エリン・バーカー  
 母は病気だったのに、それでも愛  
 と奉仕について教え  
 てくれました。



68

**59 特別な証人——**

教会の中で  
**女性は大切な存在です!**  
 クエンティン・L・クック長老

**60 いのり、感謝状、自然災害**

マリッサ・ウィディソン  
 何千マイルもはなれているのに、  
 ほのかとマギーの二人は、つらい  
 ときに神様が見守ってくださる  
 ことを学びました。

**62 すばらしい考え**

**63 わたしたちのページ**

**64 しょうきょうかいを かていても**  
 ——わたしは **みたまを**  
**まねくもので 生活を**  
**みたすことを えらびます**

**66 預言者に従う——**

人々に奉仕することを学ぶ  
 ハイディ・S・スウィントン

**68 ロイテの家**

アダム・C・オルソン  
 どこに住んでいても、家族のため  
 に家庭を神聖な場所にすることが  
 できます。

**70 ちいさな おともだちへ**

**81 モルモン書に 出てくる  
じんぶつなどの 絵**



●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 830円(送料共)

普通号/大会号 120円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ [liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,  
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA  
電子メール: [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org)

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, キリジャ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2012 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用することは複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — [cor-intellectualproperty@ldschurch.org](mailto:cor-intellectualproperty@ldschurch.org) にご連絡ください。

**For Readers in the United States and Canada:**

August 2012 Vol. 36 No. 8. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

# インターネットで得られる追加情報

[Liahona.lds.org](http://Liahona.lds.org) [英語]



## 成人

「地の果てで信仰を見つめる」(34ページ)は、アルゼンチン最南端の都市にいる会員の改宗談を描いています。会員たちの写真が閲覧できます ([liahona.lds.org](http://liahona.lds.org))。

## 青少年

青少年がボルノグラフィーへの依存症を克服するためのヒントを挙げています(46ページ参照)。もう一つの助けとなる情報として、教会の依存症立ち直りワークブックがあり、数か国語で閲覧できます ([recoveryworkbook.lds.org](http://recoveryworkbook.lds.org))。

## あなたの言語で

[languages.lds.org](http://languages.lds.org) で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

## 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

|                        |                |                              |
|------------------------|----------------|------------------------------|
| 証, 34, 42, 51          | 逆境, 30, 51, 60 | 聖霊, 19, 30, 34, 42, 48, 64   |
| 贖い, 48                 | 教会の召し, 4, 19   | デート, 53                      |
| 哀れみ, 7, 19, 24, 58     | キリスト教, 24      | 伝道活動, 34, 52, 78             |
| イエス・キリスト, 10, 24, 48   | 悔い改め, 46, 48   | 奉仕, 4, 7, 14, 20, 58, 66, 70 |
| 依存性, 46                | 啓示, 38, 40, 41 | 標準, 54                       |
| 一致, 20, 24             | 結婚, 53         | ボルノグラフィー, 46                 |
| 改宗・改心, 34              | 自然災害, 30, 60   | メディア, 46                     |
| 家族, 30, 54, 58, 59, 63 | 従順, 52         | 模範, 14, 58, 63, 66           |
| 家族歴史, 38               | 祝福, 54         | モルモン書, 34, 40                |
| 家庭訪問, 7                | 準備, 30         | 友情, 64                       |
| 神のプログラムに対する信仰, 63      | 女性, 59         | 赦し, 48                       |
| 神への務め, 51              | 信仰, 42, 48     | 『若人の強さのために』, 54              |
| 犠牲, 52                 | 神殿活動, 53       |                              |
| 希望, 38                 | 聖餐, 10         |                              |
| 義務, 4, 12, 14, 51, 73  | 「成長するわたし」, 51  |                              |
|                        | 聖約, 10         |                              |

トーマス・S・  
モンソン大管長

# 救い主から与えられる 奉仕の召し

**数** 学を勉強した人は皆、公約数とは何か知っているでしょう。末日聖徒には、わたしたちを一つに結ぶ公約数、すなわち共通点があります。その共通点とは、この地上における神の王国で割り当てを果たすよう、一人一人が個人の召しを受けることです。

召し与えられるとき、つぶやくようなことはないでしょうか。それとも、天の御父に召される者は御父から祝福を受けることを知り、兄弟姉妹に仕える機会をすべて感謝して受け入れているでしょうか。

奉仕を行う大切な機会の真の目的をわたしたちが見失うことのないように願っています。その目的、その永遠の目標は、主が語られ高価な真珠に記されているものと同じです。「見よ、人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと、これがわたしの業であり、わたしの栄光である。」<sup>1</sup>

末日聖徒イエス・キリスト教会において、会員がまとう外套がいとうはゆったりとした快適な衣ではなく、むしろ責任の衣です。わたしたちには、自分自身を救うことに加えて、ほかの人々を神の日の栄えの王国に導く義務があるのです。



進んで神への務めの道を歩むなら、シェークスピアの作品に登場するウルジーすう ききょう枢機卿のような状況に陥ることは決まらないうまい。生涯にわたって王に仕えた後に権力を取り上げられたウルジー卿は、悲しみのうちにこう嘆きます。

おれが陛下に仕えたせめて半分の熱意で  
神に仕えていたら、こんな年になって、  
素っ裸で敵の中に放り出されることはなかっただろう。<sup>2</sup>

天はどのような奉仕を求めておられるでしょうか。「主は心と進んで行う精神とを求め。そして、進んで行う従順な者は、この終わりの時にシオンの地の良いものを食べるであらう。」<sup>3</sup>

わたしはジョン・テラー大管長の次の言葉を思い出するとき、ふと立ち止まります。「召しを尊んで大いなるものとならないならば、神は、皆さんが義務を果たしていたら救えたはずの人々への責任を皆さんに帰せられます。」<sup>4</sup>

人々の中で教え導かれたイエスの生涯は、善意の光を放つサーチライトのようです。イエスは手足の不自由な者に力を、目の見えない者に見る力を、耳の聞こえない者に聞く力を、死者の体に命を与え、「わたしはあなたがたの中で、給仕をする者のようにしている」と言われました。<sup>5</sup>

良いサマリヤ人のたとえを用いて、主はわたしたちに自分自身を愛するように隣人を愛するよう教えられました。<sup>6</sup> 金持ちの若い役人への答えを通して、利己心を捨てるよう教えられました。<sup>7</sup> 5千人に食物を与えることによって、ほかの人々が必要としている事柄に気を配るよう教えられました。<sup>8</sup> そして山上の垂訓において、まず神の王国を求めよう教えられました。<sup>9</sup>

新世界で、復活した主は次のように言われました。「あな





たがたは、わたしの教会で行わなければならないことを知っている。わたしがするのを見たその行いを、あなたがたもしなさい。わたしが行くのを見たそのとおりのことを、あなたがたも行いなさい。」<sup>10</sup>

「よい働きをしながら……巡回され[た]」ナザレのイエスの見守りの下で奉仕するとき、わたしたちはほかの人々に祝福をもたらします。<sup>11</sup> 地上にいる天の御父の子供たちに仕えながら御父に仕えることに喜びを見いだせるよう、神がわたしたちを祝福してくださいように。■

#### 注

1. モーセ 1: 39
2. ウィリアム・シェイクスピア「ヘンリー 8 世」第 3 幕第 2 場、456 - 458 行。  
中野皓史訳「ヘンリー 8 世」『シェイクスピア全集 5—史劇 2』筑摩書房 (1974 年)、338
3. 教義と聖約 64: 34
4. 『歴代大管長の教え——ジョン・テラー』164
5. ルカ 22: 27
6. ルカ 10: 30 - 37 参照。マタイ 22: 39 も参照
7. マタイ 19: 16 - 24; マルコ 10: 17 - 25; ルカ 18: 18 - 25 参照
8. マタイ 14: 15 - 21; マルコ 6: 31 - 44; ルカ 9: 10 - 17; ヨハネ 6: 5 - 13 参照
9. マタイ 6: 33 参照
10. 3 ニーファイ 27: 21
11. 使徒 10: 38

#### このメッセージから教える

「わたしたちが自分のなすべきことを果たしていれば、主は失敗させるようなことをなさいません。……わたしたちの才能や能力を超えて、わたしたちをさらに大いなるものとしてくださいます。……それは人にもたらされる最も素晴らしい経験の一つです。」(エズラ・タフト・ベンソン『教師、その大いなる召し』20 で引用) 主が自分の才能や能力を大いなるものとしてくださったとあなたが感じたときの経験か、知人の経験を話すとよいでしょう。家族の人たちに、「救い主から与えられる奉仕の召し」に応じたときに得た良い経験を話してもらってください。



神殿で奉仕する

ベンジャミン・A

17歳になったとき、自分の将来について真剣に考えるようになりました。伝道に出るため、またメルキゼデク神権を受けるための準備としてどのようなことができるか天の御父に祈りました。すると、もっと頻繁に神殿に行く必要があると感じました。神殿は主の宮であって、天の御父を最も身近に感じられる場所だからです。

そこで、1年間に1,000人のバプテスマを受けるという目標を立てました。わたしはこの目標を立てる必要があると心から感じ、これが自分のなすべきことかどうかを知るために断食しました。そして天の御父から答えを頂き、毎週土曜日にメキシコ・タンピコ神殿に通い始めました。

500人のバプテスマを終えた後、自分の先祖について家族歴史を調べるという目標を立てました。先祖の探求はとても楽しく、名前を探していると眠ることができないほどでした。わたしは8代にわたる先祖50人の名前を見つけ、その全員について神殿の業を行う手伝いをしました。

最終的に1,300人以上のバプテスマを受けました。セミナーを卒業し、メルキゼデク神権を受けて、今、人生の最も大きな目標の一つだった専任宣教師となって奉仕しています。

わたしは人のために何かをすることができます

わたしたちはみな、まわりの人をたすけるために何かをすることができます。わたしたちはすべての人をあいし、人のためにどんなことができるか分かるようにならなければいけないと、モンソンだいかんちょうは教えています。

木のそばにすわっている男の子を見てください。まわりに、この子がたすけてあげられる子がいるのが分かりますか。

夕食のとき、その日だれかのためにしたことを、かぞくのみんなに一つずつ話してもらいましょう。あなたが行ったほうしを、毎日日記に書きましょう。



写真：ウエンディー・ベントリの厚意により掲載。イラスト：ベス・M・ホイットカー





祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。  
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

信仰・家族・扶助

## 助けの必要なときに 行動を起こす

**訪**問教師であるわたしたちの目的の一つは、家族と家庭を強める手助けをすることです。訪問先の姉妹たちが、「わたしに問題があれば、訪問教師はわたしが頼む前に助けてくれます」と言えるようになる必要があります。仕えるために、わたしたちには訪問先の姉妹たちが抱えている必要に心を向ける責任があります。靈感を求めるとき、割り当てを受けた訪問先の姉妹たちそれぞれの霊的および物質的な必要に対処する方法が分かります。その後、自分の時間や技術、才能、信仰の祈りを用いて、霊的および情緒的な支援を提供し、病気や死、その他の特別な状況において慈善奉仕を行うことができます。<sup>1</sup>

扶助協会会長会は、訪問教師からの報告を通して、身体または心の病、緊急事態、出産、死、障がい、孤独、その他の問題のために特別な必要を抱えた人を見いだします。その後、扶助協会会長は分かったことをビショップに報告し、ビショップの指示の下で援助を調整します。<sup>2</sup>

訪問教師として、わたしたちは「大いに喜ぶ」ことができます。「わたしたちがこの大いなる業を成し遂げるために、神の御手に使われる者とされたことは、わたしたちに与えられた祝福」だからです（アルマ 26：1、3）。



### 聖文から

マタイ 22：37－40；ルカ 10：29－37；アルマ 26：1－4；教義と聖約 82：18－19

#### 注

1. 『手引き 第2部——教会の管理運営』（2010年）9.5.1；9.6.2参照
2. 『手引き 第2部』9.6.2参照
3. ヘンリー・B・アイリング『わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』110で引用

### わたしたちの歴史から

教会の初期の時代には、会員数が少なく、中心地に集まっています。だれかが困っているときにはすぐに応じることができました。今日、会員は1,400万人を超え、世界の至る所にいます。家庭訪問は、主が御自分のすべての子供たちに助けを与えるために用意された計画の一部です。

「とても多様な世の中にあって、とても大きな教会のあらゆる場所で支援し慰められる唯一の方法は、助けの必要な人の近くにいる個々の僕たちを介するという方法でした」と、大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は言っています。

アイリング管長は続けて次のように述べています。「……すべてのビショップとすべての支部会長には、信頼できる扶助協会会長がいます。そして扶助協会会長には、すべての姉妹が直面している試練と抱えている必要を知る訪問教師がいます。訪問教師を通じて、個人と家族の心の内を知ることができます。必要を満たし、ビショップが個人と家族を養うという召しを果たすのを助けることができます。」<sup>3</sup>

### 何ができるでしょうか？

1. 周りの人に祝福をもたらすために自分の賜物や才能を使っているでしょうか。
2. 助けが必要なときには喜んで助けたいと思っていることを、担当の姉妹たちは知っているでしょうか。

# 4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ[る。]……

わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」(教義と聖約1:38)

2012年4月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、生ける預言者と使徒の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

## 大会で話された実話や物語

### 長持ちするような土台を作る

**若**いころ、わたしは新築住宅の土台や基礎を作る土建業者と一緒に働いていました。地面を整え、型枠にセメントを流し込んで土台を作る作業は、暑い夏には大変な仕事でした。機械はなく、つるはしとシャベルを使いました。長持ちするような土台を作ることは当時、大変な作業でした。

忍耐力も必要でした。土台にセメントを流し込んだ後、固まるまで待ちました。仕事を先に進めたいと思いましたが、型枠を外す前に、待たなくてはなりませんでした。

新米の建設作業員にとってさらに印象的だったのは、仕上がった土台に強度を加えるために、型枠の中に金属の棒を注意深く入れる、退屈で時間のかかる工程でした。

このように、わたしたちの信仰の土台を築くためには、だれの人生にも訪れる嵐に耐えるよう、基礎を注意深く整えなくてはなりません。そうした、信仰の土台となる堅固な基礎は高潔な人格です。

選択するときは、常に正しいことを選択することにより、自分の信仰に堅固な基礎が築かれます。人はだれでも生まれたときから、キリストの御霊という賜物を無料で頂いています。神の前に正しいことを行ったかどうか、神の目に間違ったことをしたかどうか、その御霊の力で知ることができます。

こうした選択は、ほとんど毎日何度もしますが、それが積み重なって、信仰という建物を建てるための堅固な土台が築かれる

のです。信仰を注ぎ込む金属の枠組みは、聖約と儀式と原則を含むイエス・キリストの福音です。

長続きする信仰にとって非常に重要なものの一つは、成熟して固まるのに必要な時間を正しく判断することです。……

信仰を固めることは、時間の経過により自動的にできることではありません。それはとても時間がかかることなのです。ただ年を取ればよいというものではありません。真理に対する証を揺るぎない霊的な強さにまで固める方法は、全身全霊で絶えず神と人に奉仕することです。

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長  
「登るべき山」『リアホナ』2012年5月号, 24

#### 考えるための質問——

- 高潔さが試されたときのことを覚えていますか。どのように対応しましたか。
- 信仰をもって神と人に奉仕することで、どのように霊的な土台が強められるでしょうか。

あなたの考えを日記に書くか、ほかの人と話し合ってみてください。

このテーマの追加資料——LDS.orgのテーマ別に学ぶの「信仰」の項。リチャード・G・スコット、「本質を変える信仰の力と人格」『リアホナ』2010年11月号, 43-46





# 空欄を埋めましょう



1. 「\_\_\_\_\_の教えに心を向けることによって、わたしたちは悪の道から救い出していただくことができます。」

(L・トム・ペリー「解放する力」『リアホナ』2012年5月号, 97)

2. 「人に\_\_\_\_\_られても、自分のものが取り去られるわけではありません。」

(ジェフリー・R・ホランド「ぶどう園の労働者たち」『リアホナ』2012年5月号, 31)



4. 「この世の生涯は永遠の昇栄のための訓練であって、途中には\_\_\_\_\_があることを意味しています。」

(ロナルド・A・ラスバンド「特別な教え」『リアホナ』2012年5月号, 80)

3. 「これまでに受けた真理と教義は神の\_\_\_\_\_によってもたらされたのであり、これからも受け続ける[の]です。」

(D・トッド・クリストファーソン「キリストの教義」『リアホナ』2012年5月号, 86)



## 簡潔な教え

あなたは——

1. 悪意を持っていませんか。
2. うわさ話をしていませんか。
3. 人を無視していませんか。
4. 人をねたんでいませんか。
5. 傷つけたいと思いませんか。

代わりに——

1. 親切になりましょう。
2. 赦しましょう。
3. 穏やかに語り合しましょう。
4. 神の愛を心に満たしましょう。
5. 人に善を行きましょう。

ディーター・F・ウクトドルフ「憐れみ深い人たちは憐れみを受ける」『リアホナ』2012年5月号, 75-76より編集



「この大会で教えられた真理は聖霊により確認され、皆さんが聖霊を求めて耳を傾け、主に承認された私たちのメッセージを後で研究するとき、再び確認されることでしょう。」

## 預言者の約束



「この大会で教えられた真理は聖霊により確認され、皆さんが聖霊を求めて耳を傾け、主に承認された

私たちのメッセージを後で研究するとき、再び確認されることでしょう。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング管長「登るべき山」『リアホナ』2012年5月号, 26

総大会の説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、[conference.lds.org](http://conference.lds.org) にアクセスしてください。

# せい い さ ん 聖餐——救い主を覚える

**聖**餐は毎週日曜日に執り行われる神聖な神権の儀式です。この儀式はイエス・キリストが地上におられたときに定められ、わたしたちの時代に預言者ジョセフ・スミスを通して回復されました。十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように述べています。「聖餐会は、聖餐の儀式が行われる場であることから、教会における最も神聖で重要な集会です。」<sup>1</sup>

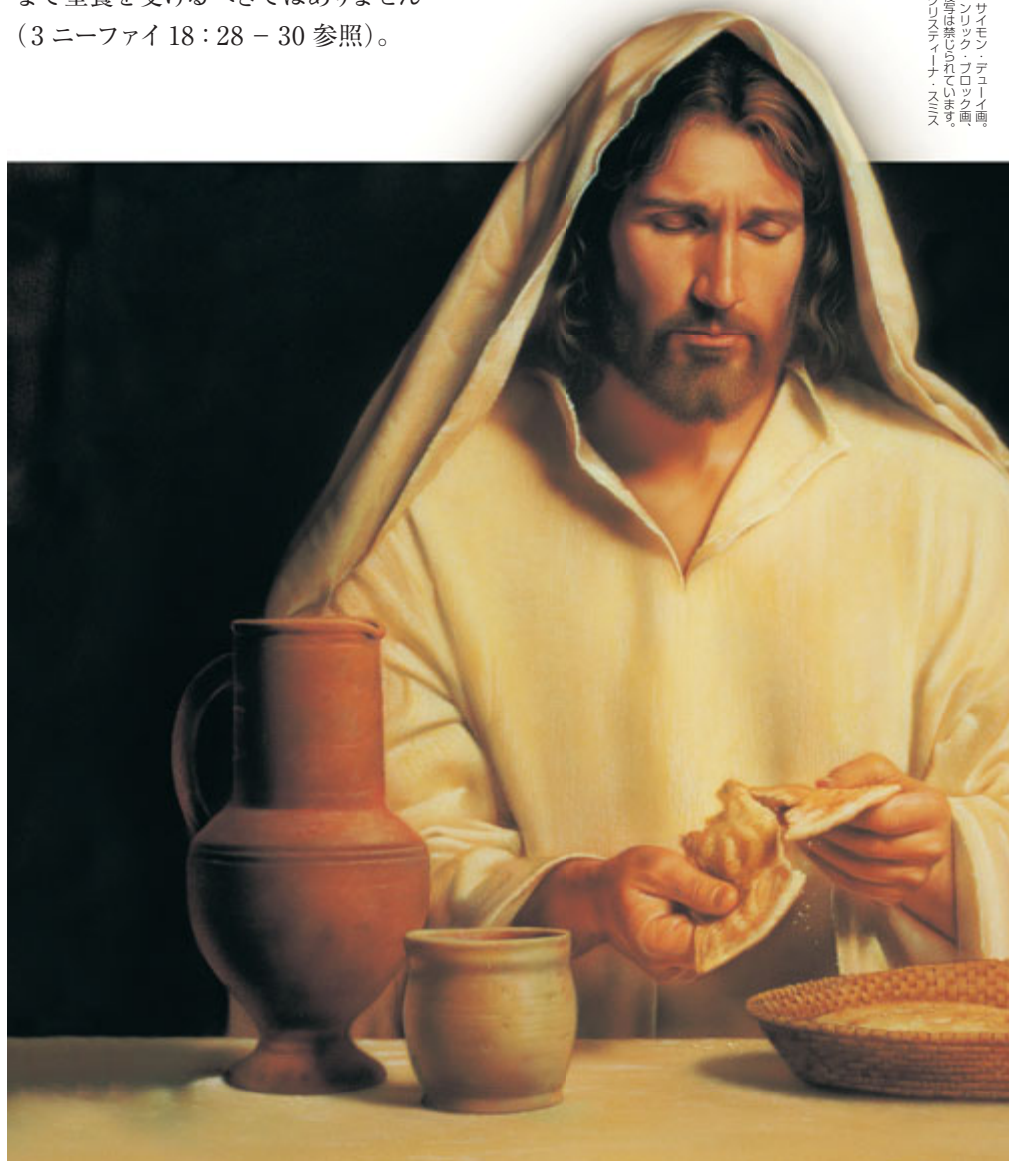
主はわたしたちに、毎週日曜日に集まって聖餐を受けるように命じておられます(教義と聖約 20:75 参照)。アロン神権者がパンと水を祝福して集まった会員に配り、会員はイエス・キリストの体と血の記念に聖餐を受けます。そうすることによって、会員はバプテスマを受けたときに神と交わした聖約を守る決意を新たにします。具体的に言うと、いつもイエス・キリストを覚え、主の御名を受け、主の戒めを守ることを約束するのです(教義と聖約 20:77 参照)。

聖餐を受けるための適切な準備には、悔い改めること、救い主に従いたいと願うこと、そして「打ち砕かれた

心と悔いる霊」を持つことが含まれます(3 ニーファイ 9:20)。聖餐は、毎週自分について思い巡らし、主への献身を新たにできる機会です。敬虔に、祈りをもって臨むとき、その経験はより有意義なものとなります。重大な罪を犯した人は、ビショップや支部会長に告白することを含めて、悔い改めるまで聖餐を受けるべきではありません(3 ニーファイ 18:28 - 30 参照)。

ふさわしい状態で聖餐を受けるとき、罪が赦される、聖霊がともにいてくださる、贖罪による聖めを受ける、すなわち聖くされるなどのすばらしい祝福がもたらされます。■

注  
1. ダリン・H・オークス「聖餐会と聖餐」『リアホナ』  
2008年11月号, 17



下——「最後の晩餐(ばんさん)」「サイモン・デュイ画  
右——「最後の晩餐」カール・ヘンリック・ブロッグ画  
左——「最後の晩餐」の複製(複製の許可を得て掲載。複製は禁じられています。  
絵: デル・バロン。フォトイラスト: エドウィン・レドリン。ロバート・ミルン、クリスティーナ・スミス

詳しくは、1 コリント 11:23 - 30; 教義と聖約 27:2 を参照。



1. イエス・キリストは十字架につけられる前の晩に十二使徒の間で聖餐を定められました(ルカ22:19-20参照)。



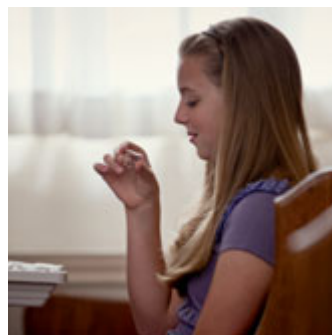
2. 救い主は復活後、アメリカ大陸で聖餐を定められました(3ニーファイ18:1-11参照)。



3. アロン神権者がビショップまたは支部会長の指示の下で聖餐を準備し、祝福し、配ります。



4. 聖餐の間、わたしたちは礼拝に集中し、周りの人の注意をそらすような行いを控えます。



5. わたしたちは敬虔に聖餐を受けながら、救い主の生涯と模範、教え、贖罪を思い起こします。

「わたしたちはだれでも間違いを犯します。天の御父や傷つけたかもしれない相手に対して、罪や過ちを告白し、それらを捨てる必要があります。安息日はこれらの自分の聖式を主にささげる絶好の機会となります。」

十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老  
「安息日と聖餐」  
『リアホナ』2011年5月号, 8

### 質問に答える

わたしたちの日曜日の集会についてよく知らない人は、ほかの宗教の人も礼拝行事に出席して聖餐を受けられるのだろうかと思うかもしれません。だれでもわたしたちとともに教会に出席することができます。聖餐は会員が聖約を新たにするためのものですが、聖餐を受けることが礼拝の助けとなるのであれば、訪問者も自由に受けることができます。

# 自分の義務を学びなさい

義務はわたしたちに、  
自分が創造主から託された  
すべてのものの管理人であることを  
思い起こさせてくれます。



十二使徒定員会  
ジョセフ・B・  
ワースリン長老  
(1917 - 2008年)

ジョセフ・B・ワースリン長老は1917年6月11日、ユタ州ソルトレーク・シティーで生まれました。1986年に十二使徒定員会の会員として支持されました。以下の記事は、1980年10月5日に当時七十人第一定員会の会員であったワースリン長老が総大会で行った説教からの抜粋です。全文を英語で読むには、[ensign.lds.org](http://ensign.lds.org)から、『エンサイン』Ensign, 1980年11月号〔英文〕を御覧ください。

一般にわたしたちは、自分がしたいこと  
—— ことの妨げとならないときには、自分がなすべきことを行うのをいと  
いません。しかし、自分の望みにかかわらずなすべきことを行うには、自制と成熟した人格が求められます。義務というと、他人には期待し、自分を行わないということが往々にしてあります。何を考え、信じ、計画するかはどれも非常に大切ですが、最も重要なのは何を  
行うかです。義務とは、利己心を捨てて、すべての人の益について考えるようにという招きなのです。

いつも次のことを覚えておく必要があります。すなわち、義務はわたしたちに、自分が創造主から託されたすべてのものの管理人であることを思い起こさせてくれるということです。義務を進んで受け入れて忠実に果たすとき、わたしたちは幸福を見いだします。幸福を得ることを人生の主要な目標とする人は必ず失敗します。

幸福はそれ自体が目的となるものではなく、むしろ副産物だからです。幸福は、自分の義務を果たし、自分の生活が神とその戒めに従ったものであると知ることによってもたらされます。……

世界の歴史において成功を収めた人は皆、自分の義務を知り、それを果たしたいという確固とした望みを抱いてきました。救い主は、義務について完全に理解しておられました。御自分に求められたことが人間の能力の限界を超えたことであっても、主は御父の御心みこころに従い、人類の罪を贖あがなうことによって御自分の神聖な義務を果たされました。

ジョセフ・スミスは、自分の召しに忠実であって、激しい迫害にあっても大きな犠牲を払って義務を果たしました。途中であきらめず、堪え忍び、イエス・キリストのまことの福音を回復する業を成し遂げました。……

スペンサー・W・キンボール大管長〔1895 - 1985年〕は、福音を地の果てまで広めるという務めを受け入れました。キンボール大管長は自分の義務を忠実に果たし続けており、愛の福音を広めるために行うすべての働きにおいて、わたしたちのすばらしい模範となっています。その結果、教会は世界規模で発展し、末日の預言が成就しています。

これらの偉大な人々……は、義務を果たす道よりも、もっと容易な道を選ぶことができたかもしれません。しかし、彼らはそうしませんでした。義務を果たした結果、必ずしも個人的に安楽な状態や好都合な状況となったわけではないことは明らかです。義務を果たすことは、しばしば大きな犠牲を払い、苦難に遭うことを意味しました。それでも、彼らは義務を





選び、果たしました。

人生において、わたしたちは多くの義務を果たすように求められます。日常的に繰り返されるものもあれば、もっと大きな意味を持つ重要なものもあります。義務の一部として欠かせないのが、正しい模範を示し、この人生の険しい坂道にあってあらゆる機会をとらえて人々を元気づけることです。これは、励ましの言葉や賛辞、握手など、相手を思いやる態度によって実践できます。また、この世で自分の義務をよく学ぶとき、同時に永遠の義務を果たす備えをしているということを心に留めておく必要があります。……

家庭において、教会において、日々の仕事において、そして……愛する国のために、自分の義務を果たすことは絶対に必要なことです。偉大な教師であるイエス・キリストは、このことをはっきりと見事に述べておられます。主は次のように言われました。

「悪い実のなる良い木はないし、また良い実のなる悪い木もない。木はそれぞれ、その実でわかる。いばらからいちじくを取ることはないし、野ばらからぶどうを摘むこともない。

善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出

義務の一部として  
欠かせないのが、  
正しい模範を示し、  
この人生の  
険しい坂道にあって  
あらゆる  
機会をとらえて  
人々を元気づける  
ことです。

ることを、口が語るものである。

わたしを主よ、主よ、と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。

わたしのもとにきて、わたしの言葉を聞いて行う者が、何に似ているか、あなたがたに教えよう。

それは、地を深く掘り、岩の上に土台をすえて家を建てる人に似ている。洪水が出て激流がその家に押し寄せてきても、それを揺り動かすことはできない。よく建ててあるからである。

しかし聞いても行わない人は、土台なしで、土の上に家を建てた人に似ている。激流がその家に押し寄せてきたら、たちまち倒れてしまい、その被害は大きいのである。」(ルカ 6:43 - 49)

兄弟姉妹の皆さん、「善を行うことに疲れ果てては〔いけません〕。(教義と聖約 64:33) 自分の義務に忠実であることは、主のまことの弟子であり神の子供であることしるしです。自分の義務に雄々しくあってください。なすべき務めを果たしてください。第二の位を守るといふ、自分の最も重要な務めを怠ってはいけません。自分の義務に忠実であってください。義務は皆さんを神のもとに導いてくれるからです。

この道こそ、幸福を得て、王国の発展と繁栄を手助けする唯一の道であることを、わたしは心から証します。■

原文〔英語〕では、大文字と段落分けはほかの記事と統一させるために変更しています。





左—写真クレグ・タイムズ。右—上から—写真シエラ・A・クラーク © 聖シエラ・オールリス © DESERT NEWS © DESERT NEWS クリスマス・キス



# トーマス・S・モンソン—— 義務に応じる

何年も前にトーマス・S・モンソン大管長は、  
主の業を行うという義務を果たし、  
イエス・キリストの模範に従おうと決意しました。

## ハイディ・S・スウィントン

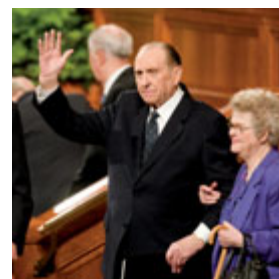
トーマス・S・モンソン大管長は度々「わたしは『義務』という言葉が好きです」と言い、その言葉には「何か神聖な響き」<sup>1</sup>があると考えています。また、末日聖徒イエス・キリスト教会の第16代大管長としてその義務を果たすことについて、こう言いました。「わたしは自分の命と力、差し出すことのできるすべてをもって、主に仕え、主の御心と靈感に従って教会の諸事を導くことを約束します。」<sup>2</sup>

人に奉仕することでよく知られているモンソン大管長は、かつて海外の割り当てを受けて赴いた先で、スーツや靴をあげてしまい、普段着のズボンとスリッパだけの姿で帰宅したことがあります。また、励ましを必要としている友人や知人を訪ねることを習慣にしています。これまで、病院や老人ホームで無数の人々に祝福をもたらし、促しに従って電話をし、数え切れないほど多くの葬儀で話をしてきました。また、夕食を届けたり、ローストを待つばかりのチキンを届けたり、優しい言葉を添えた本を贈ってきました。大管長としての毎日のスケジュールは、集会和約束の連続ですが、それ

でもいつも人々のために時間を作り出しています。多くの場合、1回に一人ずつのためです。将来、教会歴史をひもとくとき、モンソン大管長は、人々を愛し、その愛を自分の時間をささげることで表現した人物として語られることでしょう。

## 義務に応じるイエス・キリストの模範

モンソン大管長を行動へ駆り立てるもの、それは主イエス・キリストに対する証<sup>あかし</sup>です。大管長はこう言っています。「神の御子として地上に来られたにもかかわらず、主は謙遜<sup>けんそん</sup>に周囲の人々にお仕えになりました。主は死すべき人間として地上に住み、神の王国を確立するために、天からやって来られました。主の栄えある福音は世の考えを新たにしました。」<sup>3</sup> 救い主は御自分の義務感を言い表すに当たって、次のように宣言されました。「わたしは父の御心を行うために世に来た。」(3 ニーファイ 27:13) 永遠の見方から生まれる決意と優しい愛とによって、救い主は「神が共におられるので、よい働きをしながら……巡回されました。」(使徒 10:38)



上から——  
モンソン大管長は、  
ボーイスカウトたちと握手をし、  
(妻のフランシスと一緒に)  
プレゼントを受け取り、  
録入れ式<sup>くわい</sup>で若い女性に手を貸し、  
総大会で(妻と一緒に)  
聴衆に手を振りながら、  
人々に対する愛を伝えている。



イエス・キリストは  
会堂や井戸端でお教えになりました。  
幼い子供たちに祝福を授け、  
ヤイロの娘を死からよみがえらせられました。

モンソン大管長は、義務に  
応じることがゲツセマネの園  
でイエス・キリストにもたらさ  
れたとき、イエスが次のよう  
にお答えになったことに注目し  
ています。「わが父よ、もしでき  
ることでしたらどうか、この杯  
をわたしから過ぎ去らせてくだ  
さい。しかし、わたしの思いの  
ままではなく、みこころのま  
まになさって下さい。」(マタイ  
26:39) 救い主は、御父の子  
供たちをすべて導き、教化し、  
励ますという御自分の義務を  
知っておられ、幾度となくそれ  
にこたえられました。この点に  
ついてモンソン大管長はこう  
言っています。「救い主はいつ  
も人を教え、証し、救うこと  
に熱心であられました。それが  
会員であるわたしたち個人の  
義務です。」<sup>4</sup>

### 主の義務を果たすことを学ぶ

モンソン大管長は、ユタ州  
 temple ビューステークの第6・第7  
ワードで育ちました。そこで  
思慮深い神権指導者の手に  
導かれて、自分に課せられた  
神権の義務を果たすことにつ  
いて学びました。そして、  
靈感あふれる教師たちから  
イエス・キリストの福音につ  
いての知識と証を得たので  
した。

1950年、トーマス・スベン  
サー・モンソンは22歳という  
年齢で、第6・第7ワードの  
ビショップとして支持を受け  
ました。そして、義務につ  
いてそれまで学んできたこ  
とを、それまでその意味を  
教えてくれた人々に対して  
実践しました。ワードの父  
であり、アロン神権の会長  
であり、貧しい人や助けを  
必要とする人を支援する者  
であり、適切な記録の監督  
者であり、イスラエルの一  
般判士でもありと、その  
義務は多岐にわたっていま  
したが、

「救い主はいつも  
人を教え、証し、  
救うことに  
熱心であられました。  
それが会員である  
わたしたち個人の  
義務です。」

モンソンビショップは、持ち  
前の楽観主義でそうしたこ  
とに対応しました。

ビショップの義務の一つ  
は、すべての軍人が『チャー  
チニュース』(Church News)  
と『インブループメント・エ  
ラ』(Improvement Era)を  
購読できるよう手続きをし、  
軍人一人一人に毎月個人的  
に手紙を書くことでした。  
モンソン大管長自身が第  
二次大戦中に海軍に従軍し  
ていたので、故郷から届く  
手紙の大切さはよく理解し  
ていました。

ワードからは23人の会員  
が軍務に就いていました。こ  
こで、ワードの一人の姉妹  
を召して、こうした手紙の  
郵送の詳細を担当してもら  
うことにしました。ある日  
の晩、彼は月例となった23  
通の手紙を彼女に手渡し  
ました。

彼女は尋ねました。「ビ  
ショップ、わかりませんの  
ですか。またプライソン兄  
弟に出すのですか。彼に送  
るのはこれで17通目です  
が、一度も返事が来ていま  
せん。」

「ええ、でも今月は来る  
かもしれませんよ」と大  
管長は答えましたが、事実  
そうだったのです。プライ  
ソン兄弟からの返信には  
こうありました。「愛する  
ビショップ、わたしは手紙  
を書くことが苦手です。『  
チャーチニュース』と機  
関誌をありがとうございました。  
でも何より、わたしに向  
けて書いてくださる手紙  
に感謝しています。わたし  
は生活を一新しました。ア  
ロン神権の祭司に聖任さ  
れたのです。胸がいっぱい  
で、幸せです。」

モンソン大管長はこの手  
紙を読んで、「最善の道は、  
自分の義務を果たすこと  
です。後は主にゆだねな  
さい」という言葉を実践  
できたことを実感したの  
でした。数年後、あるス  
テーク大会に出席したとき、



軍務に就いている会員に手紙を書いていた経験を話しました。すると、集会後、一人の青年が近づいてきて、こう尋ねたのです。「ビショップ、わたしを覚えていらっしゃいますか。」

すぐにモンソン大管長は答えました。「ブライソン兄弟ですね。お元気ですか。教会ではどんなことをしているのですか。」

この退役した軍人は、実にうれしそうに、自分が元気であること、そして長老定員会の会長会で奉仕していることを教えてくれたのです。「わたしのことを気にかけて、個人的に手紙を書いてくださってほんとうにありがとうございます。頂いた手紙は今も大切にしています。」<sup>5</sup>

こうした出来事について、モンソン大管長は次のように言っています。「人を高め、祝福するためには、ほんの小さな奉仕で十分なことがよくあります。相手の家族について聞く、ちょっとした励ましの言葉をかける、心から褒める、短い感謝の手紙、簡単な電話などです。よく観察し、気づき、御霊の促しに従って行動するなら、大いに善を行うことができます。」<sup>6</sup>

### 自分の義務を果たすことを学ぶ

モンソン大管長はこう言っています。「今日、<sup>こんにち</sup>〔イエス・キリストの〕足跡に従うとき、わたしたちにも人々の人生に祝福をもたらす機会があります。イエスはわたしたちに、自分自身をささげるように求めておられます。『見よ、主は心と進んで行く精神とを求め。』」<sup>7</sup>

義務とは、わたしたちの預言者の考えによれば、個人的な野心や成功、都合や満足を超えて、さらに大いなる善に目を向け、それにこたえることを求めるものです。モンソン大管長はこう言いました。「真の幸福を見つけるには、わたしたちは自分自身の外に焦点を合わせて探し求める必要があります。人が生きていることの意味を知るためには、まず自我を捨て同胞に奉仕をする必要があります。人に奉仕をすることは、義務と同じです。その義務を果たしてこそ真の喜びがもたらされるのです。」<sup>8</sup>

大管長は、友情があれば人に対する奉仕も容易になると考えており、このように言っています。「友は、……自分の成績よりも人助け

モンソン大管長が、そのステーク会長から人生に影響を受けた人がいれば起立するよう求めたところ、聴衆は一人二人と立ち上がり、やがて全員が立ち上がりました。



に関心を持ちます。友は親切で、愛を示し、耳を傾け、手を差し伸べます。」<sup>9</sup>

何年も前に、モンソン大管長は、ステーキ会長会の再組織の割り当てを受けて、アメリカ合衆国ワイオミング州スターバレーでのステーキ大会に出席しました。しかし大管長は、再組織の義務を果たす以上のことをそこで行いました。大管長は、23年にわたって奉仕してきたE・フランシス・ウィンターズ兄弟をステーキ会長から解任するに当たり、分かりやすい形で愛を示し、そこに集っていたすべての人の心を動かしました。

ステーキ大会のその日、会場は教会員でいっぱいでした。この気高い指導者に対して、一人一人が心の中で「ありがとう」と言っているように感じられました。この指導者は明らかに全身全霊を込めて義務を果たしてきたのです。モンソン大管長は立ち上がって話し始めると、ウィンターズ会長がどれほど長くステーキを管理してきたかについて述べ、「スターバレーのすべての人々にとって、常に心のよりどころ」となっていたことを話しました。そして、大管長はそれまで一度も経験がなく、またその後も二度としなかったことをするよう、御霊の促しを受けたのです。ウィンターズ会長の生涯から影響を受けた人は皆立ち上がってほしいと大管長が言ったところ、その結果は衝撃的でした。聴衆の全員が立ち上がったのです。

モンソン大管長は涙でその目をぬらす聴衆に向かってこう言いました。「これだけ大勢の人が立ったということは、個人的な思いにとどまらず、すばらしい人生を歩んでこられたことに対する神への感謝を表しています。」<sup>10</sup>

### 義務に関するわたしたちの預言者の証

モンソン大管長は、義務に関して、次のような励ましの教えを伝えています。

「どのような召しであれ、恐れや不安を感じたとしても、次のように約束された主イエス・キリストの御言葉<sup>みことば</sup>を思い起こし、祈り、そして行動しましょう。『わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいるのである。』」<sup>11</sup>

「わたしたちは互いに強め合い、気づかれていない人に気づく能力があります。わたしたちに見る目と、聞く耳と、人の気持ちを理解する心があれば、自分に責任のある人々に手を差し伸べて、助けることができます。」<sup>12</sup>

「わたしたちはどこに住んでいようとも、決して自分一人

「人を高め、  
祝福するためには、  
ほんの小さな奉仕で  
十分なことが  
よくあります。」

だけで生きていくことはできません。自分自身は恵まれた生活をしていながら、貧しい暮らしをしている隣人に対して冷淡であってよいはずがありません。」<sup>13</sup>

「皆さんの確信、助け、励まし、靈感を必要としている人がいます。皆さんが救うべき人がいるのです。」<sup>14</sup>

「恐らく造り主にお会いするときに問われるのは、『幾つの肩書を持っていたか』ではなく、『何人の人を助けたか』ということでしょう。」<sup>15</sup>

「日々の生活の中には、主の模範に従う機会が数限りなくあることに気づきます。わたしたち

が主の教えに従おうという気持ちになると、主は必ず助けの御手を差し伸べてくださることに気づきます。それはあたかもわたしたちが主の用向きを受けているようなもので、わたしたちは、主の用向きを受けているときには、主の助けを得る特権があることを悟るのです。」<sup>16</sup>

「主について学び、主を信じ、主に従うことにより、主のようになる力が得られます。表情が変わり、心が和らぎ、成長が速まり、視野が広がります。生活は、本来あるべき状態に高められます。」<sup>17</sup>

わたしたちも預言者トーマス・S・モンソン大管長のように、主の業を行うことで義務を果たし、イエス・キリストの模範に従おうと決意をすることができるのです。■

### 注

1. トーマス・S・モンソン「障害と信仰と奇跡」『聖徒の道』1996年6月号, 19
2. トーマス・S・モンソン「過去を振り返り、前進する」『リアホナ』2008年5月号, 90
3. トーマス・S・モンソン「橋を架ける者」『リアホナ』2003年11月号, 68
4. トーマス・S・モンソン「熱心に携わる」『リアホナ』2004年11月号, 56
5. トーマス・S・モンソン「義務の召し」『聖徒の道』1986年7月号, 38-41 参照
6. トーマス・S・モンソン「あなたを導く3つの目標」『リアホナ』2007年11月号, 120
7. トーマス・S・モンソン「クリスマスの贈り物」『リアホナ』2003年12月号, 2
8. トーマス・S・モンソン「The Lord's Way,」*Ensign*, 1990年5月号, 93
9. トーマス・S・モンソン「救助に向かう」『リアホナ』2001年7月号, 59
10. トーマス・S・モンソン「永遠の家庭」『リアホナ』2000年7月号, 70 参照
11. トーマス・S・モンソン「彼らは祈り、出て行くのです」『リアホナ』2002年7月号, 57
12. トーマス・S・モンソン「主に仕える召し」『リアホナ』2001年1月号, 58
13. トーマス・S・モンソン「幸福な人生の探求」『聖徒の道』1988年8月号, 6
14. トーマス・S・モンソン「堅固な土台」『リアホナ』2006年11月号, 68
15. トーマス・S・モンソン「Faces and Attitudes,」*New Era*, 1977年9月号, 50
16. トーマス・S・モンソン「窓」『聖徒の道』1990年1月号, 67
17. トーマス・S・モンソン「主の道」『リアホナ』2003年1月号, 4



# 一人のために 奉仕する

アル・バンルーウェン

**大**学1年生になりたてのころ、すぐに同年の友人ができました。一人は牧場、もう一人は農家の出身でした。二人は合衆国西部から来た朴訥な田舎の青年、もう一人は東海岸から来た口の達者な都会の青年という珍しい3人組ができました。大学を卒業した後、二人の友人はそれぞれ牧場と農場に戻り、わたしはビジネスの世界に入りました。

年に1度のクリスマスカードとたまにかける電話で互いの近況を知らせながら、それぞれの人生を歩んでいきました。30代半ばになるまでに、わたしはボーイスカウトの指導者として2度奉仕しました。その後、わたしが託児指導者補佐として2度目の「服務期間」を終えたとき、二人の友人はビショップリックで奉仕していました。時がたつにつれ、わたしは自分と友人たちの召しを比較するという罨にはまり込んでしまいました。必要とされず、無視されているという気持ちを感じ始めたのです。

40代半ばになり、指導者の召しがほかの人々に与えられると、わたしは何日も思い悩みました。だれかがワードあるいはステーキで指導的な責任に就く度に、サタンの声が聞こえて『おまえはふさわしくない』とか、『そのような召しに必要な信仰が足りない』とささやくのでした。祈りと研究を通して、頭では、そのような思いを抑えることができましたが、自分自身の価値ということについては依然としてつらい思いをしました。友人がステーキ会長会で奉仕しているのとは対照的に、わたしは、50歳になっても「ただの長老」で、青少年のバスケットボール試合の審判をしていました。それは自分が以前に思い描いていたその年齢での責任とは違っていました。

そんなとき、福音に関するわたしの理解を変える出来事が起こりました。ある日曜日のこと、わたしは初等協会のクラスを担当する妻を助けていました。妻のクラスは元気な7歳の子供たちであふれています。分かち合いの時間が始まったとき、



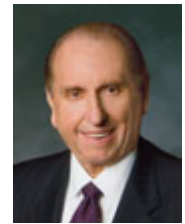
一人の女の子の姿が目にとまりました。椅子の上で縮こまり、見るからに元気がありませんでした。この子は慰めを必要としていると御霊がささやきました。そこでわたしは彼女の横に座り、どうしたのかと小さな声で尋ねました。返事はありませんでしたが、ほんとうにつらそうな顔をしていたので、わたしは小さな声で歌い始めました。

初等協会では新しい歌を学んでいました。そして「心で聞くと救い主の声が聞こえます」<sup>1</sup>と皆で歌ったとき、わたしは自分の心が信じられないほどの光とぬくもりで満たされるのを感じました。主の愛の腕に包まれるのを感じました。天の御父がこの少女の祈りを聞かれたこと、御父が与えたいと願っておられる慰めを与えるために、わたしがそこにいることが分かりました。霊の目が開かれ、救い主がその女の子、御自身の一人一人の子供たち、そしてわたしを愛しておられるという個人的な証を得ることができました。主がわたしを信頼して助けの必要な人に奉仕できるようにしてくださっていること、そして主が望んでおられる場所に自分がいることが分かりました。一人の人に仕えるとき、人は主の手となることをわたしは学びました。

わたしはどのような奉仕の機会にも喜びを感じます。いつもふさわしくあり御霊の導きを感じることができるよう、また、御父の子供の一人が奉仕を必要としているとき、御父が望んでおられる場所にいることができるように努めています。■

## 注

1. サリー・ディフォード「心で聞くと」『2011年度分かち合いの時間のための概要』28



## 何人の人を 助けましたか

「造り主と向かい合うときに、恐らく『幾つの肩書きを持っていましたか』と聞かれることはないでしょう。むしろ『何人の人を助けましたか』と聞かれるでしょう。実際、主の民に仕えることで主に仕えるまで、主を愛することはできないのです。」

トーマス・S・モンソン大管長  
“Faces and Attitudes,”  
New Era, 1977年9月号,  
50



イギリス, ロンドン



インド, バンガロール



# 奉仕の日

福祉部  
キャスリン・H・オルソン

**建**物を清掃し、床にモップをかけ、生徒を教え、食糧を集め、移民を助け、夫を亡くした女性を訪問し、敷地の草刈りをし、学校のペンキ塗りをする。これは教会員が昨年実施した奉仕プロジェクトのほんの数例です。これらのプロジェクトは、福祉プログラム75周年を記念して奉仕の日を実施するようにとの大管長会の呼びかけにこたえて行われ、奉仕した人々と奉仕を受けた人々の双方に大きな影響を及ぼしました。そのおかげで、世界中の多くの地域がよりよい場所となりました。

## イギリス, ロンドン

ロンドンの教会員は、2011年8月に暴動が起こった町、トットナムの清掃を支援することで記念日を祝いました。地域の公園で、ボランティアは草刈りをし、花壇を作り、ごみを除去しました。

また、会員は子供ホスピスでも奉仕しました。

そこで庭の通路を清掃し、ホスピスの敷地内を子供たちとその家族にとって使いやすくしました。シャーロット・イレラ姉妹は、このプロジェクトの調整を助けてくれました。彼女はこう語っています。「ほんとうに骨の折れる仕事でしたが、実に、何とというか、楽しい仕事でもありました。掃き掃除のような、小さなことでも大きく貢献することができます。特別な技術がなくてもかまわないのです。ほんの小さなことがほかの人にはプラスとなることがあるのです。」

ルディ・シャンパニー兄弟は、奉仕するようという大管長会の呼びかけに込められた靈感について次のような見方を述べています。「この啓示は、わたしたちが一つとなるため、つまり、わたしたちが地域社会に溶け込み、新たな出会いをするために与えられたのだと思います。」彼はこう続けています。「教会が地域社会にかかわるのを見るのはすばらしいことです。地域社会の一員となるのは、もっとすばらしいことです。今回のプロジェクトを

作業写真の写真 © DANI WINCKER, 2011年 SHUTTERSTOCK.COM からライセンスの承諾を受けて掲載  
N.G.ほかの写真 © シャーロット・イレラ、レニ・シムディー、クラークおよびテール・エバンス





ブルンジ、ブジュンブラ

# を祝う

通じて、わたしの証<sup>あかし</sup>は強くなり、もっと奉仕したいという気持ちになりました。」

## 中国、香港<sup>ホンコン</sup>

中国香港ステークで若人を担当する成人指導者は、青少年評議会に独自の奉仕プロジェクトを立ち上げるよう要請しました。若人は地域社会の必要を検討した結果、低所得の家族に焦点を当て、地元の学校で子供たちを教えることにしました。およそ125名の青少年が、才能を伸ばす、健康的な食事を作る、家族の集いを開く、真の友情を築くといったテーマで、80名以上の学童を教えました。

「この活動が及ぼす影響は1回きりで終わるというものではありませんでした。」若い女性会長のアニタ・シャム姉妹はそう語っています。「青少年が行った活動は、いつまでも子供たちに影響し続けることでしょう。」今回、青少年は永遠に祝福をもたらす良い思い出と経験を得た、と彼女は付け加えています。

## ガーナ、アクラ

ガーナ、アクラの会員は、学校のペンキ塗りをし、街路と排水路を清掃し、病院と診療所周辺の敷地を掃除することで、奉仕の日に参加しました。

ガーナ、アクラ・クリスチャンスポーグステークのエマ・オウス・アンサ姉妹は、奉仕の日の計画に携わりました。「教会員として一体となることで、奉仕のような原則も従いやすくなります。」彼女はそう言っています。プロジェクト終了後、会員は集まって証を分かち合いました。アンサ姉妹はこう述べています。「一人一人の証を聞いた後で、周りの人に奉仕しないとどれほど多くの祝福を逃すことになるかが分かりました。」

大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は奉仕の日に参加するよう呼びかけたとき、このプロジェクトに伴う一致の効力について語りました。「福祉の業においてわたしの指針となった原則……は、一致がもたらす力と祝福です。困っている人に仕えるために手を携えて



合衆国バージニア州, フォールズチャーチ



### 慈愛を感じる

「皆さんが約束を守るならば、主は皆さんと交わした約束を守られます。主のために人に奉仕するならば、主は皆さんに主の愛を感じさせてくださいます。そして、慈愛を感じることは、やがて皆さんの人格の一部となるのです。人への奉仕をたゆまず続ける人は幸いを得る、というモルモンの約束を心に感じるようになるでしょう。」

ヘンリー・B・アイリング 管長  
「証人」  
「リアホナ」2011年11月号, 68

協力するとき、主はわたしたちの心を一つにしてくださいませ。」<sup>1</sup>

### アルゼンチン, コルドバ

10月のある日、雨天にもかかわらず、アルゼンチン、コルドバの5つのステーキから集まった1,601名の末日聖徒が合計1万234時間、介護施設で奉仕しました。会員は事前に集めた衣類、食物、衛生用品を届けました。また、庭の手入れをし、壁やベンチのペンキ塗りをし、タレントショーを行いました。また、多くの姉妹が、髪、足、手の手入れをボランティアで行いました。

「このプロジェクトが施設の入居者だけでなくわたし自身のためにも役立ったことを知っています」とプロジェクトを終えた後に14歳のロシオ・B兄弟は語りました。「自分が正しいことをしていること、そして天の御父が喜んでくださっていることが分かりました。」

### ブラジル, サンパウロ

ブラジル、サンパウロステーキの会員は、砂糖、油、米、豆を集めて、二つの慈善団体に寄付するようにとの靈感を受けました。同時にそれらの慈善団体の代表に食糧貯蔵の基本を教えました。また、会員はボランティアで、ステーキの会員および地域住民を対象に、

教育、財政、雇用に関する訓練を行い、職を得るために必要な技術を伸ばすことができるよう助けました。

「招待された地域住民は、教会の業を喜んでいました。わたしたちのことを知らない人が大勢いましたが、良い印象を受けて帰ってもらうことができました。」ステーキの会員、カチア・リベイロ姉妹はそう語っています。「会員たちは一致と奉仕の精神を感じ、奉仕を受けた人々は深い感謝を覚えました。」

### 合衆国バージニア州, フォールズチャーチ

アメリカ合衆国バージニア州フォールズチャーチの会員は二つのホームレス保護施設でともに奉仕する喜びを感じました。壁を磨きながら、アデアナ・アルバレス姉妹は同じワードの会員にこう言いました。「いらいらする1週間だったけど、そのいらいらをこの壁にぶつけると気持ちいいわ！ 人生には奉仕が必要な時があって、人のためにそれができるっていいね。」

もう一人の会員、アン・ソレンセン姉妹はこう述べています。「奉仕は地域とのつながりを作るすばらしい機会です。あの組織がどんな活動をしているのか、今はよく分かった気がします。これからは車で通り過ぎる度に、ここで職業訓練を受ける人のことをふと考えると思います。生活をより良くしようと努力する人たちが、わたしたちの働きを通して、自分は一人じゃないという実感を持てたらいいですね。」

### 日本, 所沢

所沢のある小学校で、教会員が50名の親や教育者を対象に食糧貯蔵に関するセミナーを開きました。2011年3月に震災があったことで、地域住民は熱心に、自然災害に備える方法、特に、長期間生き延びるための食糧貯蔵法について学びました。

「東日本大震災が起こったにもかかわらず、その後、何の準備もしていませんでした。」一人の参加者はそう語っています。「こういうことについて学べてうれしいです。食糧を保存する



場所を見つけたいと思います。自分の愛する家族を守るためにそうしたいと思います。」

日本武蔵野ステーキの会員、須田昭仁<sup>すだ あきひと</sup>兄弟は、教会員が危機に備えて様々に準備していることを見せたとき、キリストの光が地域に住む人々の心に触れたと述べています。彼はこう言っています。「キリストは世の光です。その教えは地域に住む人々の心を照らします。」

### エストニア、タリン

タリンの教会員は、ある一日を使って、地域社会の貧しい人々が家を手入れするのを助けました。参加者の中には、まきを割ったり、石炭をショベルですくったりする人もいれば、カーペットを掃除したり、カーテンを取り替えたり、窓や壁を洗ったりする人もいました。

マイラ・チャン姉妹は家族と一緒に年配の女性を訪問し、彼女のためにまき割りをしました。「母親として、家族でそのようなすばらしい経験ができてうれしいです。」彼女はそう言っています。「人に奉仕すると自分の悩みをすっかり忘れるなんて、何とすばらしいことでしょう。人に仕えるとき、わたしたちはただ神に仕えているのだということを知っています。」

また、マルギット・ティマコフ姉妹はこう述

べています。「自分のことはわきに置いて、人を助けることに全身全霊を注ぐとき、犠牲にどれほどの力があるか分かります。なぜ奉仕するのかとか、ほかに何ができたかなどと問う必要はありません。とにかく手を差し伸べ、助けるのです。関心があるから助ける、キリストの模範に従いたいから助けるのです。」

### 労苦の実

世界中で地域社会に奉仕した人々の証から、奉仕を通して証がはぐくまれ、自尊心が高まるということが分かります。わたしたちは奉仕することによって祝福を受けるとアイリング管長は断言しています。「救い主に代わって、天の御父の子供たちに仕えている皆さんの働きに感謝します。主は皆さんを御存じであり、皆さんの努力、勤勉そして犠牲を見ておられます。皆さんが主の代わりに助けた人々や、ともに働いた人々の幸福な姿を見て、皆さんの労苦の実が結ぶのを実感できますよう、主が皆さんを祝福してくださいますように祈ります。」<sup>2</sup> ■

注

1. ヘンリー・B・アイリング「善を行う機会」『リアホナ』2011年5月号, 25
2. ヘンリー・B・アイリング『リアホナ』2011年5月号, 26 参照

質問に答える

**地**域社会でモルモン・ヘルピングハンズを見かけた人は、教会員は末日聖徒だけでなくほかの宗教の人々も助けるのだろうかや疑問に思うかもしれません。もちろん、わたしたちはどちらも助けています。隣人の庭で落ち葉を掃くのであれ、自然災害に対処するために何トンもの物資を配送するのであれ、わたしたちは救い主の模範に従って奉仕します。宗教や文化の違いに関係なく、わたしたちは周りの人を助けようとしているのです。

### 地域社会における認知

**世**界規模で実施された奉仕の日プロジェクトには共通の特質がありました。その一つは、地域社会に影響を与えたことです。通りかかった多くの人々がプロジェクトの参加者に教会について尋ね、教会員は証を分かち合いました。

世界の幾つかの国では、政府高官が教会員の働きを認めました。例えば、奉仕の日に関するラジオのインタビューで、コンゴ民主共和国ルブンバシ・キサンガ地区の区長は、ほかの宗教を奉じる人々に「モルモン教徒」の模範に従って地域社会に奉仕するよう呼びかけました。

大ロンドンの教会員 300 名が行った奉仕について、市長のボリ

ス・ジョンソン氏はこう述べました。「今や、これまで以上に、地域に関心を寄せるロンドン人の姿を、すなわち群れを成してボランティア活動に携わる人々の姿を見るのはすばらしいことです。」

合衆国のコネチカット州知事ダネル・マロイ氏およびバージニア州知事ロバート・マクコネル氏はそれぞれの州における奉仕の日に敬意を表して声明を出しました。マロイ知事は声明で次のように語っています。「末日聖徒イエス・キリスト教会が行った奉仕、そして奉仕の年の記念行事に参加するようあらゆる宗教や背景を持つ市民にも呼びかけてくださったことに感謝申し上げます。」





十二使徒定員会  
ジェフリー・R・  
ホランド長老

# キリストの大義のために 団結する

この記事は、2011年3月10日にソルトレーク・シティにおいて、米国キリスト教界の指導者たちに向けて話された講演の抜粋です。

**友**人の皆さん、皆さんも御存じだと思いますが、現代の世の中では罪がはびこり道徳が廃退しています。これはあらゆる人、特に若者たちに影響を及ぼしている、状況は日ごとに悪くなっているようです。ポルノグラフィや貧困、虐待、墮胎、(同性、異性間の)不道徳な性的背き、暴力、不品行、残酷な行為、誘惑が至る所で見られ、娘の携帯電話や息子のiPadといった身近なところで猛威を振るっていることに強い懸念を抱いているのは、皆さんもわたしも同じです。

神を愛し、キリストの名を受けている善良な人々がキリストの大義のため、罪の力に対抗して団結する方法は確かにあります。わたしたちが大胆に信念をもって立ち上がるのは当然のことです。「神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵[する]」ことができるでしょうか(ローマ8:31)。

皆さんはこの確信をもって説教し、教え、働いています。わたしもそうです。こうして働く中で、ローマ人への手紙のこの言葉に続く節も説得力があるとわたしは思います。「ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子の

## 質問に答える

**末日聖徒はクリスチャンなのですか。もちろんそうです。ホランド長老が説明しているように、「わたしたちはイエスのことを、聖地のほこりの舞う道を歩き、自らを旧約聖書に登場する唯一の神、聖なるエホバであると名乗られた、歴史上の人物であられると信じています。」**

みならず万物をも賜<sup>たま</sup>わらないことがあるか。」「キリストの愛」から離れないように互いに助け合う努力をわたしたちが世界中で行うならば、「わたしたちを愛して下さったかたによって、」わたしたちは「勝ち得て余りがある」ようになるとわたしは心から信じているのです(ローマ8:32, 35, 37)。

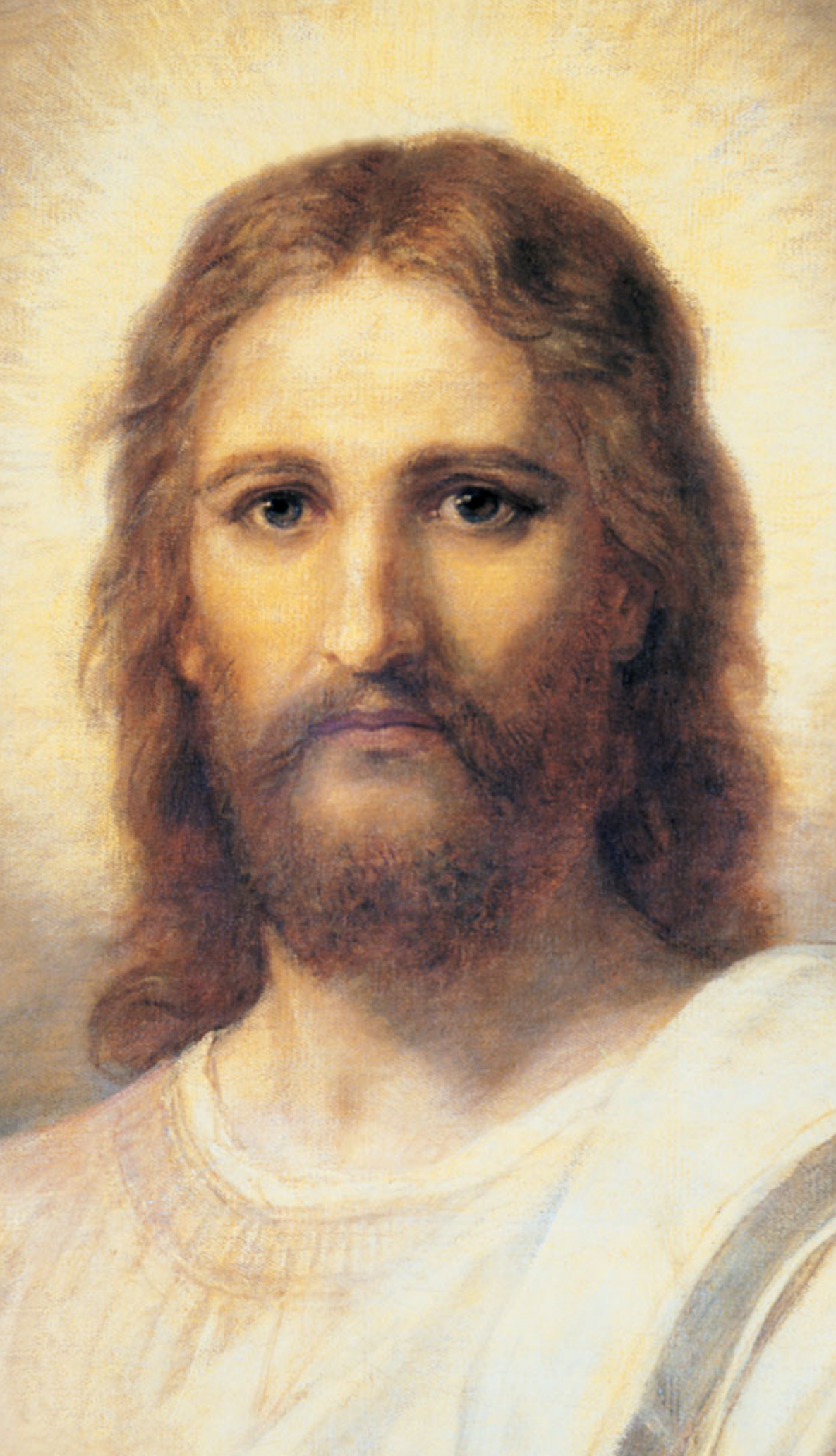
## 教義に関する対話

福音主義派と末日聖徒はいつでも折り合いが良かったというわけではありません。19世紀初頭に少年ジョセフ・スミスが示現を受け、それについて大胆に公言して以来、両者のやり取りは非常に多くの場合、友好的と言うには程遠いものでした。

しかし、非常に奇妙なことに、これは混乱する現代に起こっている神聖な出来事の一つだと考えざるを得ないのですが、1990年代後半から、末日聖徒とキリスト教の神学者と名高い聖職者たちが、いわゆる刺激的かつ建設的な神学上の対話を通して近づき始め、互いに理解し合えるよう誠実な努力を重ねてきました。これは誤った通説や偽りを排斥する**双方の側**の努力であり、普通の教派間の交流よりも深いところを流れる深遠な静かな力に突き動かされて、自発的に行われてきました。

このような対話は2000年春、ブリガム・ヤン





神を愛し、  
キリストの名を  
受けている  
善良な人々が  
キリストの  
大義のため、  
罪の力に対抗して  
団結する方法は  
確かにあります。

グ大学において初めて正式に行われました。対話が成立するようになると、当事者は何らかの理論的枠組み、モデル、判断の基準を探し求めるようになりました。これは対決にするべきでしょうか。議論にするべきでしょうか。それとも討論にするべきなのでしょう。勝者と敗者を決めるべきなのでしょう。そもそも、どこまで率直に、どれほど真剣に取り組むべきなのでしょう。末日聖徒の中には、次のような疑問を持つ者もいました。「相手方」はこの対話を、末日聖徒が「キリスト教徒」の仲間入りをするための「試験的な試み」と見ているのではないだろうか。これは「モルモニズム」を「修正」して、もっと伝統的なキリスト教、疑いの目を向ける傍観者たちに受け入れられやすい宗教に変えようという大々的な運動なのではないだろうか。

逆に、伝統的なキリスト教徒たちはこんな疑問を抱きました。「相手方」は本気で対話しようとしているのだろうか。それともこれは、単なる布教の一形態なのだろうか。新約聖書を信じるキリスト教徒が、伝統的なキリスト教のほとんどの宗派が採択した信条に同意しないことなどあり得るのだろうか。双方にわき上がった疑問は、神の恵みは「悪い神学」をどこまで補えるのかということでした。程なくしてこのような問題が対話の中で話し合われるようになり、その過程で両者の緊張は和らいでいきました。

当初の堅苦しさがほぐれて、もっと気楽に話せるようになり、ほんとうの意味での兄弟愛や姉妹愛が生まれました。異なる意見にも理解を示し、対立する見解を尊重し、ほかの宗教を（必ずしも賛同しなくても）正しく理解する責任があると感じるようになったのです。自分の宗教の教義と儀式を正確に説明し、ほかの宗教についても同様に正確に理解する責任を感じるようになりました。対話には、「他の人が固く信じることを尊重する」という好ましい傾向が生まれました。<sup>1</sup>

広いキリスト教界の中でも、末日聖徒は他と



**キリスト教界の友と手を携えて家族と夫婦のきずなを強め、メディアに道徳的な清さを求め、自然災害の際には人道支援を行い、常に存在する貧困者の苦境に手を差し伸べたいと願っています。また、宗教の自由を保障する努力も、ともに行っていきたいと強く願っています。わたしたちすべてがキリスト教徒の良心に基づいて堂々と意見を述べるということができるといふ自由です。**

まったく異なる聖職者の階層と組織を持っているため、教会の正式な代表者がこのような議論に参加したことはなく、そうした話し合いには何の宗教色もありませんでした。皆さんと同様、わたしたちは独特の教義を曲げるつもりも、わたしたちの教会の真髄である信条を放棄するつもりもありません。しかし、誤解されたくないのです。わたしたちが信奉していない信条のことで非難されたくもありません。また、キリストとその福音に対する献身を頭ごなしに否定されたくもありません。その過程で悪者扱いされたくないことは言うまでもありません。

さらに申し上げますと、わたしたちは実際に奉仕の業を果たす際に、共通の地盤と共通のパートナーを常に探しています。キリスト教界の友と手を携えて家族と夫婦のきずなを強め、メディアに道徳的な清さを求め、自然災害の際には人道支援を行い、常に存在する貧困者の苦境に手を差し伸べたいと願っています。また、宗教の自由を保障する努力も、ともに行っていきたいと強く願っています。すなわち現代の社会問題に関し、わたしたちすべてがキリスト教徒の良心に基づいて堂々と意見を述べるということができるといふ自由です。この宗教の自由について申し上げます。皆さんやわたし、またこの国の高位聖職者が、自ら奉じる教義を教壇から説くことを禁じられる日が来るようなことがあってはなりません。しかし、最近起こっている社会政治的な出来事やそれから派生する法的な問題、特に結婚の神聖さを脅かす問題を考えれば、わたしたちが断固として阻止しないかぎり、そのような日が来てしまうかもしれません。<sup>2</sup>

多くのキリスト教徒の声を集約するならば、そのような日が来ないように阻止する力は強くなります。この点については、「家が分れ争えば」という救い主の警告を思い起こすべきです。内部で分かれ争う家は、邪悪な目的の下に結束する敵に打ち勝つことができません（ルカ 11: 17 参照）。





末日聖徒が  
クリスチャンであることに関する  
詳しい情報は、Mormon.orgで  
Frequently Asked Questionsの  
“About Mormons”；  
MormonNewsroom.orgで  
News Releasesの  
“Christianity: Following Jesus  
in Word and Deed”；  
ゴードン・B・ヒンクレー  
「『予言者の証』」  
『聖徒の道』1993年7月号、  
96を参照

### わたしたちがあがめるキリスト

このような歴史を踏まえ、互いに反対する必要のない部分では反対しないように望みつつ、わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会があがめているキリストについて、友人の皆さんに証したいと思えます。わたしたちはイエスのことを、聖地のほこりの舞う道を歩き、自らを旧約聖書の唯一の神、聖なるエホバであると名乗られた、歴史上の人物であられると信じています。わたしたちは、イエスが聖なる神であると同時に地上で生活した人間でもあられたと宣言します。イエスは神である御子、御子である神、モルモン書の言葉を借りれば、「永遠の神」であられるのです（モルモン書のタイトルページ）。

わたしたちは、イエスが御父と聖霊と一つであられることを証します。この御三方はその精神において一つであり、力、目的、声、栄光、御心、善良さ、恵みにおいても一つであります。別個の存在であることを**除けば**（3ニーファイ 11：36 参照）、考え得るあらゆる形、側面において一つであられるのです。キリストは父なる神とおとめである母から生まれ、それゆえに罪のない完璧な生涯を送って、救われるためにキリストのもとに来るすべての人に対する模範とされました。このことをわたしたちは証します。

キリストが語られたすべての説教、キリストがささげられたすべての祈り、キリストが天に呼び求めて起こされたすべての奇跡、キリストが行われたすべての贖いの業についてわたしたちは証します。この贖いについて申し上げます。キリストは神の救いの計画を成し遂げるために、世のすべての人々の罪と悲しみと病を負い、そのすべての苦しみのため

にあらゆる毛穴から血を流されました。そして、これらすべての罪と、わたしたち一人一人を含む罪人に代わって、まずゲツセマネで苦しみ、カルバリで十字架にかかって亡くされました。このことをわたしたちは証します。

モルモン書の最初の部分には、ニーファイ人の預言者が「〔キリスト〕が世の罪のために十字架につけられて殺されたのを見た」という記述があります（1ニーファイ 11：33）。同書の後半では同じ主による次の言葉が載っています。「見よ、わたしはあなたがたに、わたしの福音について告げた。わたしがあなたがたに告げた福音とは、次のとおりである。すなわち、父がわたしを遣わされたので、わたしは父の御心を行うために世に来た。父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。」（3ニーファイ 27：13 - 14。教義と聖約 76：40 - 42も参照）確かに、「イエス・キリストが神の子であり、世の罪のために十字架につけられたことを知る」のは御霊の賜物です（教義と聖約 46：13）。

キリストは十字架上の死から3日後に、栄光ある不死不滅の体で、復活の最初の実として墓からよみがえられました。それによって、肉体の死の縄目と、霊と地獄とのつながりを断ち切り、肉体と霊に不朽の未来を与えてくださったのです。しかし、そのような未来が完全な栄光と尊厳をもって実現するのは、わたしたちがキリストを受け入れ、「わたしたちを救いうる名」として唯一「天下」に「与えられて」いるキリストの名を受け入れた場合のみです。「この人による以外に救いは」あり得ません（使徒 4：12）。

キリストが再び地上に来られることと、そのときには力と尊厳と栄光をもって王の王、主の主として統治されることを

「イエス・キリストが  
神の子であり、  
世の罪のために  
十字架につけられたことを  
知る」のは、  
御霊の賜物です。



わたしたちは宣言します。この御方こそがわたしたちがた  
たえる主であり、わたしたちが陰に日向にその恵みに頼る  
「たましいの牧者であり監督であるかた」なのです（1ペテ  
ロ 2：25）。

預言者ジョセフ・スミスはかつて「あなたの宗教の基本  
原則は何ですか」と尋ねられて、こう答えました。「わたし  
たちの宗教の基本原則は、使徒と預言者たちがイエス・  
キリストについて立てた証です。すなわち主が亡くなり、葬  
られ、3日目に再びよみがえって、天に昇られたことです。  
わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は、それに  
付随するものにすぎません。」<sup>3</sup>

一般に、末日聖徒は勤勉な民、仕事を大切にす民とし  
て知られています。わたしたちにとって、義にかなった業、  
つまりわたしたちが「忠実な弟子としての働き」と呼ぶもの  
は、信仰の実態を間違いなく測る物差しなのです。イエス  
の兄弟ヤコブの言うとおり、真の信仰は必ず忠実に表れ  
るとわたしたちは信じています（ヤコブの手紙 2 章参照）。  
このように厳格にキリストに従った人たちは、聖約を交わ  
した者には「信仰深い歩み」が求められることを悟っており  
（教義と聖約 20：69）、自分が思う以上に真理に近づいて  
いたとわたしたちは教えています。

救いも永遠の命も無料です（2ニーファイ 2：4 参照）。  
実にこれは神のあらゆる賜物の中で最も大なるものです  
（教義と聖約 6：13；14：7 参照）。ただし、これらの賜物  
を受けるためには備えなければならないとわたしたちは  
教えています。つまり、「主イエス・キリストを信じる信仰」  
を表明してそれを行いで示し（信仰箇条 1：4）、「聖なるメシ

ヤの功德と憐れみと恵み」を信頼してそれに頼らなければ  
ならないのです（2ニーファイ 2：8。2ニーファイ 31：19；  
モロナイ 6：4 も参照）。わたしたちにとって信仰の実とは、  
悔い改め、福音の聖約と儀式（バプテスマなど）を受けるこ  
とであり、感謝の気持ちを抱くことです。感謝の心があると  
神の御心に添わないものをすべて拒み、「日々自分の十字  
架を負うて」（ルカ 9：23）、主の戒めを守るようになります。  
主のすべての戒めを守るようになるのです（ヨハネ 14：15  
参照）。わたしたちは次のように言った使徒パウロと同じ  
ような喜びを感じています。「感謝すべきことには、神は  
わたしたちの主イエス・キリストによって、わたしたちに勝利  
を賜ったのである。」（1コリント 15：57） これと同じ  
精神で、モルモン書に登場する預言者も次のように書いて  
います。「わたしたちはキリストのことを話し、キリストの  
ことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言  
〔する。〕……〔それは、〕どこに罪の赦しを求めればよいか  
を、わたしたちの子孫に知らせるため〔であり、〕また彼らが  
……キリストの内にある命を待ち望〔む〕ことができるよう  
にするためである。」（2ニーファイ 25：26 - 27）

わたしが皆さんと世の人々に述べるこの証を聞いて、末日  
聖徒イエス・キリスト教会の会員たちが世の救い主に対し  
て感じている言い尽くせぬ愛について、幾らかでも皆さんに  
理解していただけたらと思います。

### キリスト教徒の良心に呼びかける

わたしたちは同じ主イエス・キリストに仕え、現代社会の  
問題に同じように立ち向かっているのですから、全国規模



または全世界規模で力を結集して、キリスト教徒の良心に呼びかけることができるはずで、数年前にティム・ラハイエは次のように書いています。

「信仰深いアメリカ人が、同じように抱いている道徳に関する懸念の名の下に協力するならば、[合衆国] 憲法で保障されていると先人たちが考えた世間の道徳的な標準を立て直すことができるかもしれません。……

……我が国の信仰深い市民は、ほかの宗教を奉じる人々とその宗教に対して敬意を払えるようになる必要があります。その宗教を受け入れる必要はありませんが、異なる宗教を信じる人々を尊重し、彼らがこの国の無神論者よりはるかにわたしたちと共通する点を多く持つ人々であると認めることはできます。信仰を持つすべての市民が結束して、共通の敵に対抗する時が来ているのです。」<sup>4</sup>

確かに、ほかの人について何か新しいことを知るには危険が伴います。新しい考え方は必ず古い物の見方に影響を与えますから、自分の世界観を見直し、もう一度整理して構築し直すことは避けられません。人々の肌の色とか民族、交友範囲、教会、シナゴグ、モスク、信念、信条を超え、最善の努力を払って同じ神の子供という彼らの真の姿を見ようとするならば、わたしたちの心には好ましい変化、価値ある変化が訪れるでしょう。それによって、わたしたちは全人類の御父である神にさらに近づくのです。

この不穏で混乱した世の中であって、キリスト教の信念、キリスト教の慈悲、キリスト教の思いやりほど必要とされるものはほかにあまりありません。ジョセフ・スミスは亡くなる1年近く前に次のように言っています。「もし人類が間違いを犯していると思ったら、わたしは彼らを責めるでしょうか。いいえ。彼らを高めようとするでしょう。もしわたしの道の方が良いことを納得してもらえなければ、彼らの道に従って高めようとするでしょう。強制的に自分と同じように信じさせようとはせず、ただ理を説くだけです。いずれ



**「あなたはイエス・キリストと、イエスが明らかにされた救いの福音を信じますか」とジョセフ・スミスは問いかけ、こう答えています。「わたしは信じます。キリスト教徒は互いに言い争ったり敵対したりすることをやめて結束と友情の原則を互いの間にはぐくむべきです。福千年が始まり、キリストが神の王国を統治されるようになる前にこれができるようになるでしょう。」**

にしても真理は自らの道を切り開いて進むからです。あなたはイエス・キリストと、イエスが明らかにされた救いの福音を信じますか。わたしは信じます。キリスト教徒は互いに言い争ったり敵対したりすることをやめて結束と友情の原則を互いの間にはぐくむべきです。福千年が始まり、キリストが神の王国を統治されるようになる前にこれができるようになるでしょう。」<sup>5</sup>

この話を閉じるに当たり、わたしたちの教会の聖文から別れの言葉を二つ読んで、皆さんへの愛をお伝えします。最初は、新約聖書のヘブル人への手紙の言葉です。

「永遠の契約の血による羊の大牧者、わたしたちの主イエスを、死人の中から引き上げられた平和の神が、

イエス・キリストによって、みこころにかなうことをわたしたちにして下さり、あなたがたが御旨<sup>みむね</sup>を行うために、すべての良きものを備えて下さるようにこい願う。栄光が、世々限りなく神にあるように、アメン。」(ヘブル 13:20 - 21)

次にこれは、モルモン書に出てくる、父から息子にあてて書かれた言葉です。

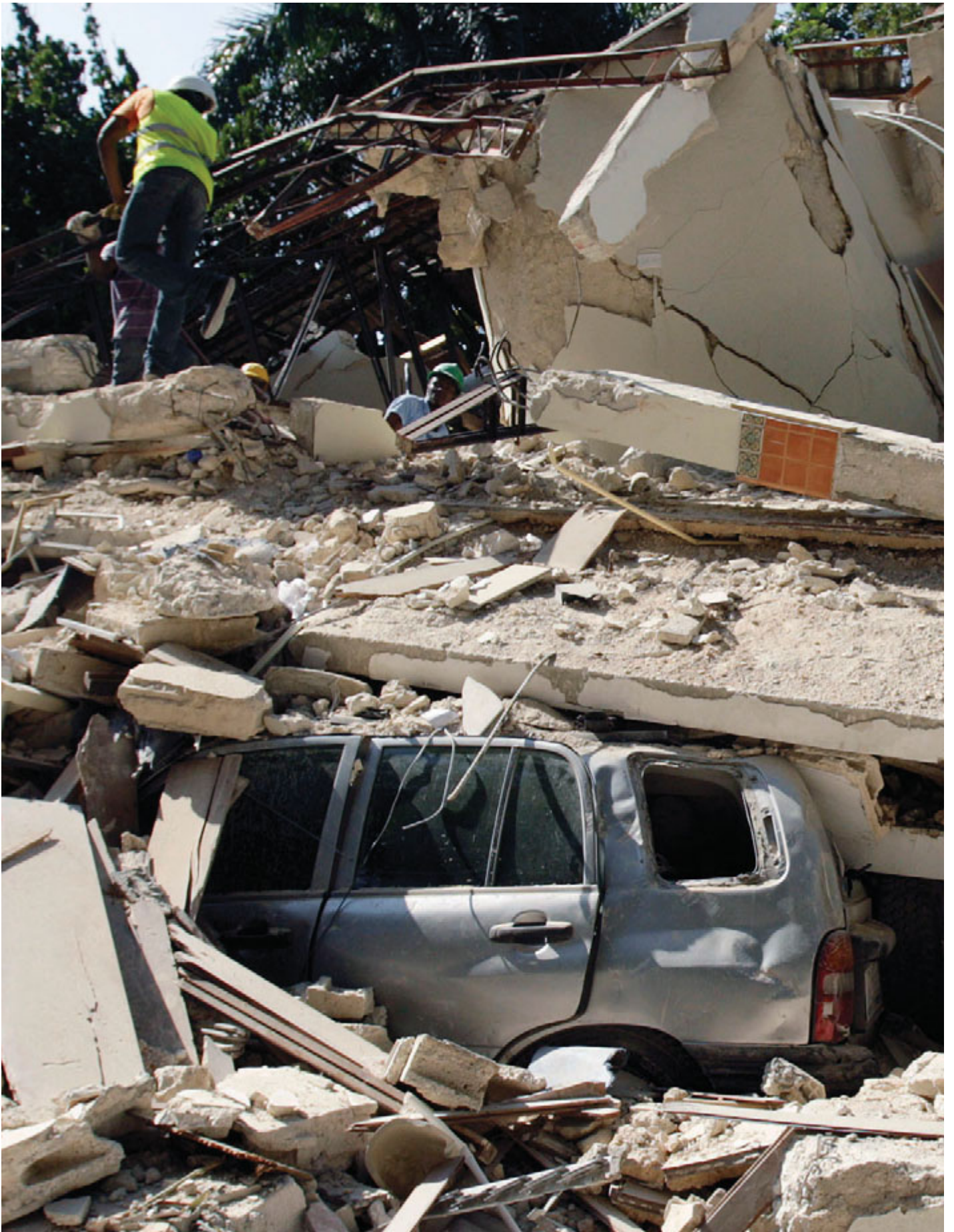
「キリストに忠実でありなさい。……キリストに支えられて、キリストの苦しみと死と、……キリストの憐れみと寛容と、キリストの栄光と永遠の命とを願う望みが、とこしえにあなたの心の中にとどまるように。

天の高い所にある王座に着いておられる父なる神の恵みと、また万物が従うまで神の右に座する主イエス・キリストの恵みが、とこしえにあなたとともにあるように。アーメン。」(モロナイ 9:25 - 26) ■

注

1. リチャード・J・モウ, *Uncommon Decency: Christian Civility in an Uncivil World* (1992年) で初めて使われた言葉
2. ダリン・H・オークス, "Preserving Religious Freedom" (2011年 2月4日, チャップマン大学法学部で行われたスピーチ) [newsroom.lds.org/article/elder-oaks-religious-freedom-Chapman-University](http://newsroom.lds.org/article/elder-oaks-religious-freedom-Chapman-University) 参照
3. 『歴代大管長の教え: ジョセフ・スミス』(2007年) 49, 50
4. ティム・ラハイエ, *The Race for the 21st Century* (1986年) 109
5. ジョセフ・スミス, *History of the Church*, 第5巻, 499







七十人  
スタンレー・G・  
エリス長老

# 自然災害

## 恐れる必要はありません

**末**の日の特徴として、多くの災いがあり、世の悪が増加するということが挙げられます。これらの脅威に対して、主と主の預言者たちは、義にかなった生活をし、霊的な落とし穴や悪を避ける方法について勧告を与えてこられました。しかしながら、竜巻や地震、津波などの災いが様々な地を襲い、正しくない者だけでなく正しい者にも打撃を与えているように思われます。多くの人がこれらの災いを恐れています。しかし、わたしは、災害を恐れる必要はないことを学びました。わたしたちは、福音を基として生活するとき、そして備えをするとき、どのような嵐をも切り抜けることができるのです。

### 嵐の前に—— 備えを家族の優先事項とする

2005年9月に、わたしは北アメリカ南西地域で地域七十人として奉仕していました。その地域には、テキサス州ヒューストンなど合衆国の一部が含まれています。わたしたちはハリケーン・リタがわたしたちの方に向かってまっすぐに向かって来ていることを知りました。このハリケーンは、メキシコ湾内で過去に観測された暴風雨としては記録上最強のものでした。わたしはその地域における教会の緊急対応を

わたしたちが  
天の御父の導きを  
求めるとき、  
聖霊は、  
わたしたちが  
自然災害に  
備え、耐え、  
立ち直れるように  
助けてくださいます。

管理するように要請されました。わたしたちは神権指導者、ステーク会長、伝道部会長、教会福祉と人道支援の代表者、緊急対応リーダーたちと毎日電話会議を行いました。ビショップの倉の準備状況はどうか、人々はどこに避難できるか、嵐が去った後の復旧作業の手配を行う最善の方法など、あらゆる事項について話しました。教会の対応は手際よく行われ、霊的な経験となりました。

地域内のステーク会長の一人は、その嵐が来る8、9か月前に、備えをすることをステークの会員に勧めるようにという強い気持ちを感しました。彼は、自分は預言者ではないが御霊の促しは明らかであると述べました。

ステークの会員たちは、教会から提案された基本的な備えの計画に従いました。ハリケーンが襲来したとき、ステークの会員で亡くなった人はだれもいませんでした。さらに、会員たちは必要な物資を集めており、適切な計画があったので、備えや計画がない場合よりもはるかに良い対応ができました。彼らは御霊から与えられたその警告に注意を払っていたのです。

同じようなことがわたしの家族にもありました。嵐が来るおよそ3か月前に、発電機を点検しておいた方がよいと

災害時に慰めを与えたり  
受けたりすることについて、  
子供たちに伝えたいときは、  
本書の60-61ページに  
紹介されている  
二人の若い生存者が述べた  
感動的な証<sup>あかし</sup>を  
参照してください。

前のページ——  
2010年1月に  
ハイチで発生した  
地震によって  
倒壊したアパートの  
がれきを片付ける  
作業員たち。

ハリケーン・リタの襲来前に  
アメリカ合衆国テキサス州  
ヒューストンから  
避難する人々。

いう強い気持ちを感じたのです。地域内の多くの人が小型発電機を持っています。嵐が来て停電したときに、冷蔵庫と冷凍庫の食べ物が悪くならないように電気を確保するためです。我が家の発電機を点検してもらったところ、故障していることが分かり、嵐が来る前に修理してもらうことができました。その結果、ハリケーンに襲われた後、家族も、ワードの会員も、近所の人々も、皆が我が家の発電機を使うことができたのです。修理しておいたことが大きな祝福となったのでした。

この備えの原則は、家族だけでなく個人にも当てはまります。両親の皆さんは、子供たちを備えに参加させ、また主の導きを求める家族の祈りにも参加させることによって、家族に大きな影響を与えることができます。言い換えれば、家族の備えについて家族で考えるとき、「わたしたちは何をすべきでしょうか」という問いかけを、家族の祈りの主要な部分としなければなりません。家庭の夕べでこれらのテーマについて話し、アイデアを分かち合うこともできます。その後、それらの計画を実行してください。

さらに、両親が行える最も大切なことは、これらの教えに従って生活することです。ある人がかつて語ったように、価値観は「教えられる」ものではなく、「つかみ取る」ものです。わたしはそれが真実であることを知りました。子供は、両親が御霊の導きを求め、導きに従う姿を見るとき、啓示がどのような過程を踏んで与えられるかを学ぶことでしょう。

### 嵐の間——家族のために受ける啓示に従う

嵐が近づいたとき、わたしたちは特に、人々をその地域から避難させるべきかどうかについて尋ね求めました。わたしが御霊から受けた指示は、地域全体に一律の勧告を与えるのではなく、むしろ、各ステーク指導者、各ビショップリック、また各家族に、よく祈って状況を考慮し、何をすべきか各自で靈感を受けるようにしてもらおうというものでした。状況が明らかになったとき、個々の家族のために何が最善か御霊は御存じであったということがよく分かりました。

例えば、あるステークの指導者は、自分たちがまさにハリケーンの進路上にいることを知り、避難するように会員たちに勧告しました。ステーク会長夫妻は彼の姉の家に避難しました。ところがその後、ハリケーンは進路を変えて、再び彼らの方に向かったのです。彼らはまさに嵐に向かって避難していたのです。

皆さんは、「いったいどんな啓示を受けたのか」と尋ねるかもしれません。しかし、実際に起こったことを考えてみてください。このステーク会長夫妻はハリケーンに対して家を備える方法を知っていましたが、彼の姉は知りませんでした。彼らは、親族が嵐に備えるのを助けることができたのです。そして実際嵐が来たとき、その備えをしなかったときに比べて、損害を最小限に抑えることができました。最善のことは行えるように、主は彼らを導かれたのです。

わたしたちの家族の場合は、避難するべきではないと感じ、とどまりました。そして、嵐を安全に切り抜けただけでなく、地域の







2011年5月の竜巻の襲来後にアメリカ合衆国ミズーリ州ジョブリンでがれきを片付けるモルモン・ヘルピングハンズのボランティア。

ほかの人々を助けることができました。我が家の結婚している子供の何人かは、避難するようという気持ちを強く感じて、家を出ました。御霊に聞き従うことで、それぞれの家族、ワード、ステークが祝福されたのです。

#### 嵐の後に——福音によって苦痛を取り除く

時々、善良な人々が、災いの中で苦しみます。主は苦しみを取り去られません。それは計画の一部なのです。例えば最近、合衆国中部のあるステークセンターが竜巻によって破壊されました。その竜巻によってステーク会長の家も倒壊しました。彼と家族はこの世の財産をすべて失いました。しかし、それはこの世の財産だけです。失ったのは悲しいことですが、災害によって永遠にわたる損害を受けたわけではありません。わたしたちが重要だと考えているものが、ほんとうはまったく重要ではないということが時折あります。この考えを受け入れることは必ずしも容易ではありません。しかし、それは真実であり、これを理解すると安心感が得られます。

このような災害で起こり得る最悪のシナリオは、人の命が失われるというものです。それはとても悲しいことです。しかし、わたしたちは真理を知っているのです、人の死でさえも天の御父の計画の一部であると分かっています。人生とは実にどのようなものかを知っているのです。わたしたちは

なぜこの世におり、どこへ行くのかを知っています。この永遠の観点があるので、苦痛は和らげられます。救いの計画を知っていると死のとげは取り去られます（1コリント15：55参照）。

昔、シャデラク、メシヤク、アベデネゴは、偽りの神を拜むことを拒んで火の燃える炉の中に投げ込まれたとき、どのようなことが起こるかは知りませんでした。彼らは王にこう言いました。「わたしたちの……神は、……わたしたちを救い出されます。たといそうでなくても、……わたしたちはあなたの神々に仕え〔ません〕。」（ダニエル3：17－18）

同様に、回復された教会の多くの開拓者は、途中で死ぬ可能性があったにもかかわらず、1800年代半ばに北アメリカの平原を横断することをいといませんでした。モルモン書は、善良でありながら殺された人々について述べ、「これらの人々は神とともに住むために……幸いである」と教えています（アルマ24：22）。

いずれの場合も、人々は信仰をもって死に臨みました。福音のもたらす平安があったので、彼らに対する死のとげは取り去られました。愛する人を失うのはつらいことであり、ほとんどの人は多くのすばらしい事柄をやり残したまま死にたくないと思うでしょう。しかし、現実には、すべての人がいつかは死ぬのです。福音の計画を知ると、死が世の終わりではないということが分かります。人の存在は続きます。そして、わたしたちの死すべき体が墓に横たえられた後も、家族の関係を継続することができるのです。全体の計画の中で、死は永遠に滅びをもたらすものではないのです。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、次のように教えています。「人は死ぬために生きており、再び生きるために死ぬのです。永遠の観点から見ると、ほんとうに早すぎる死はただ一つ、神にお会いする用意ができていない人の死です。」<sup>1</sup> 永遠の観点は、福音から与えられる平安に不可欠な要素です。

主はわたしたちを御存じです。わたしたちを愛しておられます。そして、わたしたちを助けたいと思っておられます。災いは起こるでしょう。しかし、それを恐れる必要はありません。わたしたちが進んで導きに従い、主の指示を求めるとき、主は、わたしたちが自然災害に備え、耐え、立ち直れるように、聖霊を通して助けてくださいます。■

#### 注

1. ラッセル・M・ネルソン「信仰をもって将来に臨む」『リアホナ』2011年5月号, 34

# 地の果てで 信仰を見つける

教会機関誌

マイケル・R・モリス

**エ**クレルール灯台は、寒々としたビーグル海峡の小島の高台に見張り人のように立っています。フランス語で「斥候」あるいは「道を示す者」を意味するエクレルールという名を冠した灯台は、人里離れたその場所から10秒ごとに光を放ちます。

そこから北方8キロのところに、アルゼンチンの最南端の都市ウシュアイアがあります。この都市は、ティエラ・デル・フエゴ諸島の先端に位置しています。南方145キロにはホーン岬があり、その先は極寒の南極です。

地元の住民が「地の果て」と呼ぶこの地で末日聖徒イエス・キリスト教会を受け入れた人々にとって、エクレルールは回復された福音を象徴しています。福音は、灯台のように彼らを世の霊的な暗闇から連れ出し、信仰と友情の海岸に安全に導いてくれた光なのです。



神はモルモン書を通して「わたしがこれまでささげてきた中で最も大切な祈りにこたえてくださいました」と語るギジェルモ・レイバ。現在彼はウシュアイアで支部会長を務めています(上の写真の中央)。右上——エクレルール灯台とウシュアイアの写真。

## わたしは答えを見つけました

ギジェルモ・ハビエル・レイバは、2007年の離婚の苦しみを忘れません。彼は自分のアパートを見つけなければならず、もはや毎晩幼い息子フリアンがいる家に帰ることはできませんでした。彼はむなしさと孤独を感じました。

「とても不幸でした。そして、その苦しい時期に神を求めました」と彼は語ります。

ギジェルモは答えと助けを求めて祈り始めました。「『お父さま、家に来ていただくにはわたしはふさわしくありません。でも、お言葉を頂ければ、それでわたしは十分に癒されます』と言いました。」

その後程なくして、その祈りに対する答えが与えられました。新しいアパートの外で息子と遊んでいたとき、ワイシャツにネクタイ姿の二人の若者が立ち止まり、話しかけてきたのです。

彼はこう回想します。「一人がわたしにあいさつを





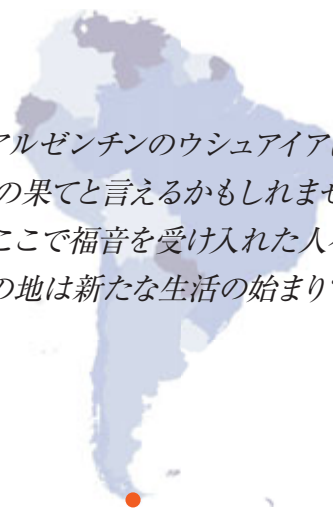
し、信仰を持っていますかと尋ねました。持っているけれどもあまり善いクリスチャンとは言えないと話しました。すると彼は、本を置いていくので読んでもらえますかと尋ねてきたので、はいと答えました。」

ギジェルモは、自分のために宣教師が印を付けてくれたアルマ書第 32 章を読み始めたときのことを、こう語っています。「読み始めるとすぐに、それまで長い間感じたことのない大きな喜びを心に感じました。その本に感動しました。わたしは読むのをやめられませんでした。」

そのときギジェルモは以前行っていた教会には通っていませんでしたが、もう一度バプテスマを受ける気はないことを宣教師に告げました。それでも、彼らの訪問やモルモン書を読む課題は喜んで受け入れました。

彼はモルモン書を読み、預言者ニーファイが「わたしは、非常にたやすくまとわりつく誘惑と罪に取り囲まれている」と悲しんだのを知ったとき、その悲しみを自分の心にも感じました(2 ニーファイ 4:18)。「自分も罪を犯してきたこと

アルゼンチンのウシュアイアは、  
地の果てと言えるかもしれません。  
しかし、ここで福音を受け入れた人々にとって、  
この地は新たな生活の始まりです。



を知り、罪悪感を覚えました」とギジェルモは語ります。

彼はモルモン書を読んだとき、自分が暗闇と絶望から救い出され、「神の栄光の光」に導かれているのを感じました(アルマ 19:6)。

また、モルモンの泉で示されたバプテスマの聖約について読んだとき、適切な神権の権能によるバプテスマの重要性に気づきました。「その種が良いものであると分かったのなら、『主の御名<sup>みな</sup>によってバプテスマを受けるのに何の差し支えが』あるだろうか」と自問しました(モーサヤ 18:10)。

「読む度に平安を感じ、答えを見つけました。モルモン書はわたしが祈り求めた神の言葉であることがよく分かりました」とギジェルモは語ります。

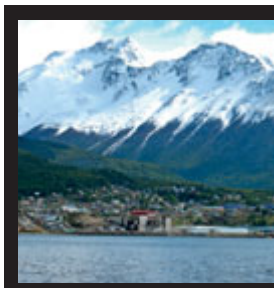
2009年3月にバプテスマを受けたとき、彼は霊的に生ま

「家族にとって難しい時期でした。わたしたちを助けてくれる教会が必要だと分かりました」とアマンダは回想します。

1990年代の初めに、ロブレド家族はアルゼンチン北西部のメンドーサから4人の子供を連れてウシュアイアに引っ越ししました。それから2年後に教会を紹介されたとき、専任宣教師の人となりとその教えの両方に何か特別なものがあることにすぐに気づきました。

アマンダは末日聖徒についてほとんど知りませんでした。「わたしが聞いていたことは良くないことでした」と彼女は語ります。しかし、彼女とリカルドと子供たちは、学んだことに共感を覚えました。

「宣教師が教えてくれたときに、御霊<sup>みなたま</sup>を感じました。家族として祈ることができる<sup>と</sup>教わったとき、そうしたいと思



右—アマンダ・ロブレドとリカルド・ロブレド(一緒にいるのは娘のバーバラとイレネ)にとって、家族が永遠に一緒にいられるという教えは、回復された福音を受け入れる助けとなったこの上ない教義でした。



れ変わり、将来に対する希望を新たにしました。「バプテスマは再スタートの機会でした。わたしは生活を変えました。今は非常に幸せです。この教会がイエス・キリストのまことの教会であり、神が祈りにこたえてくださることを知っています。わたしがこれまでささげてきた中で最も大切な祈りにこたえてくださったからです」とギジェルモは語ります。

### 教会が必要でした

アマンダ・ロブレドは、子供のころ、母親が亡くなった後に受けた身体的苦痛に対して霊的な癒しを受けないまま過ごしてきました。また、夫のリカルドは、兄の死後に心に強く感じるようになった宗教に関する疑問に何の答えも見いだせずにいました。

その疑問の一つは、「イエス・キリストの教えに従っている教会は地上にあるのだろうか」というものでした。その教会を探し、また疑問に対する答えを探し求めたことで、最終的に回復された福音を受け入れる準備ができました。

探しているときに、彼らはいろいろな宗派の教会に通い、様々な宗教信条を調べました。キリストの教会の教えに合致しているだけでなく、家族も強めてくれる教会を探しました。

ました」と、当時11歳だった娘のバーバラは語ります。

宣教師のレッスンを受け、モルモン書を読み、教会に通うことによって「わたしたちが求めていた答え、つまりバプテスマ、前世、キリストの神性、人の不死不滅、福音の儀式、結婚、家族の永遠性についての答えをすべて与えられました」とリカルドは語ります。

ロブレド家族にとって、家族が永遠に一緒にいられるという教えは、回復された福音のこの上ない教義でした。

「そのとき、わたしは改宗しました」とリカルドは語ります。「49歳で兄を失って悲嘆に暮れましたが、神殿の儀式を行うことによって兄を救い出せると分かりました。このことを確信して、平安と喜びを得ました。」最初のレッスンから3週間足らずでバプテスマを受けたリカルドは、現在地方部会長会の第二顧問を務めています。

その後少したってから息子の一人と一緒にバプテスマを受けたアマンダは、こう語ります。「ごく幼いころから母はいませんでした。母を失ってしまったといつも思っており、そのためにたくさん苦しみました。でも、家族は永遠に一緒にいられると宣教師から告げられたとき、ほんとうに心に感動を覚えました。再び母に会えると思うと、ほんとう





ウシュアイアは地の果てもありません。  
しかし、ここで福音を見つけた  
マルセリノ・トッセンのような人々にとって、  
「この地はすべての始まりです。」

にうれしいです。」

リカルドとアマンダがアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿で結婚した後、子供たちは二人に結び固められました。家族として結び固めを受け、亡くなった多くの家族のために儀式を済ませ、子供たちのうちの3人を専任宣教師として伝道に送り出したことは、リカルドとアマンダにとって、大きな喜びでした。

「わたしたちが教会員として受けている最大の祝福の一つは、子供たちが神に従っていることです」とアマンダは語ります。

### すべての始まり

マルセリノ・トッセンは神を信じ、聖書を読み、宗教について話すことに喜びを感じていました。そんな彼は、1992年1月のある暖かい日に、専任宣教師が彼のアパートのドアをたたいたとき、宣教師を招き入れました。その決断が彼の人生を変えました。

「ザンニ長老とホールズ長老は、御霊に感じるままに働いていました」とマルセリノは回想します。長老たちはその最初のレッスンを終わる前に、バプテスマを受けて教会に入るでしょうと彼に言い、バプテスマを受ける具体的な日付さえも告げたのです。

それに対してマルセリノは、「バプテスマを受けるつもりはありません。あなたたちと話したいだけなのです」と答えました。

宣教師たちは彼にモルモン書を渡し、数節読んでその夜

に自分たちのメッセージについて祈るようにと勧めました。彼は祈りましたが、何も感じませんでした。

しかし、次のレッスンのときに、ザンニ長老は彼に尋ねました。「わたしたちが教えてきたことが真実かどうか、あなたが天の御父に伺えるように、わたしたちがお祈りしてもよいでしょうか。」

マルセリノは、自分が祈ったときのことをこう語っています。「わたしの心が熱く燃え始めました。そのようなことは以前になかったことです。わたしは祈りを終わることさえできず、ひざまずいた状態から立ち上がりました。」

ザンニ長老はマルセリノに、祈っている間に何か感じたかどうか尋ねました。マルセリノが感じなかったと答えると、宣教師は言いました。「わたしは非常に強く御霊を感じました。あなたが何も感じなかったというのは不思議ですね。」

マルセリノは自分も御霊を感じたことを認めました。そのときのことをこう語っています。「長老たちは、教義と聖約の言葉を読み、そして主はある事柄が正しいかどうかをわたしたちに知らせたいと思われたら、主の平安を送るか、あるいはわたしたちの心を内に燃やしてくださると教えてくれました〔教義と聖約6:23;9:8参照〕。その日がわたしにとって分岐点でした。」

その時以来、御霊は彼に働きかけ、数多くの霊的な経験を通して真理を証していただきました。「わたしは一人でアパートにいたときに、再度燃える気持ちを感じました。窓を開けようとしたところ、長老たちが近くの街角で人々に教会について教えている姿を見ました。彼らが近くにいるとき、わたしはそれを感じることができました。そして、わたしは、彼らが教えてくれることを真剣に聞くようになりました」とマルセリノは語ります。

マルセリノは教会に出席し始め、温かい歓迎を受けました。その後程なくして、宣教師が3か月前に彼に告げたとおりの4月22日にバプテスマを受けたのです。彼はウシュアイア地方部の会長として9年間奉仕した後、現在はブエノスアイレス伝道部の会長会で第二顧問を務めています。

「わたしたちは、主は『地の果てまで〔主の〕言葉を送り出〔される〕』という言葉を読むとき、それはウシュアイアだと感じます〔教義と聖約112:4〕。ウシュアイアはほんとうに地の果てです。しかし、ここで福音を見いだしたわたしのよう人々にとって、この地はすべての始まりなのです。皆さんは世界の果てのこの地で灯台を見つけるでしょう。しかし、わたしはこの地で信仰と主の灯台を見つけたのです」とトッセン会長は語ります。■

## 最後のページを見なさい

**教**会に入ったとき、わたしは家族歴史活動を始めることにとても意欲的でした。わたしは公記録の中から先祖の情報を探すため、地元の図書館に通い始めました。

やりがいのある作業でしたが、必ずしも簡単ではありませんでした。古い手書きの文字はしばしば読むのが困難で、記録の中にはかび臭いものもあり、わたしは喘息の発作を引き起こそうでした。それでも、できるかぎり調べ続けました。

ある日、祖父の生年月日を探していました。手がかりとなりそうな、1,500ページの書物を見つけました。しかし、必要としている答えがそこになかったらどうすればよいでしょうか。大きくて埃まみれの本をこれ以上読みたくありませんでした。

わたしは知っている名前が目に留まるのを期待しながら、内容を拾い読みし始めました。すると、だれかが「最後のページ」と言うのが聞こえました。辺りを見回しましたが、話しかけてきた人はいないようでした。わたしはさらに数ページ読みました。すると、また同じ言葉が聞こえました。「最後のページ。」わたしはいくらか躊躇しながら、最後のページを確認することにしました。そこには通常記載されている文章がありました。出生した子供の要約とページ数です。最後のページの直前のページも確認しましたが、何も役立つ情報はなかったので、先ほど読んでいたページに戻りました。

わたしはまた、しつこく聞こえる小さな声に中断させられました。「最後のページ！」わたしはもう一度最後のページを開くことにし、先ほどの文章

を何度も読み返しました。

そのとき、今まで見落としていたものに気づきました。裏表紙にページがはり足されてあったのです。そのページの手書きの記述を読むと、12月の終わりに生まれた子供の名前がありました。わたしは祖父の名前を見つけ、彼がいつどこで生まれて、洗礼を受け

たかが記されているのを知りました。驚きながらも、必要な情報に導かれたことへの感謝で満たされました。

家族歴史活動は難しい時もありますが、神がわたしたちの努力を導き、助けてくださることを知っています。■

ウクライナのナタリヤ・シェルバコバが  
パブルナ・ウブイコに語った話

わたしは知っている名前が  
目に留まるのを期待しながら  
その書物を拾い読みし始めました。





## わたしは良い方を選んだ

**娘**の結婚の準備をしているとき、わたしの頭の中は結婚式の計画でいっぱい、やるべき項目リストのことばかりを考えていました。ある朝、やるべき事柄の長いリストを見ました。だいたい進んではいましたが、家の大掃除をする必要がありました。台所のブラインドの掃除をしばらく後回しにしていたので、それに取りかかろうと思いました。

ぞうきんとブラシ、洗剤を手にカウンターによじ登ると、汚れる作業になることが分かりました。掃除をしながら、わたしはマルタとマリヤの話を思い出しました。この姉妹は自分たちの家に救い主を招き入れました。マルタが「接待のことで忙がしくて心をとみだし〔て〕」いた一方で、マリヤは「主の足もとにすわって、御言みことばに聞き入って」いました。マルタはイエスに、妹に手伝いをするように言ってくださいと頼みましたが、救い主は「マリヤはその良い方を選んだのだ」と言われました（ルカ 10：38 - 42 参照）。

「今日はマルタになるしかないわ」とわたしは思いました。実際のところ、わたしは何週間もマルタになってつまらない用事や結婚の準備で「忙がしくて心をとみだし〔て〕」いました。

わたしはまたいろいろなことを思い巡らし、これほどしっかりと台所のブラインドを掃除したのはいつ以来だろうかと思いつきました。2年前に家で集会を開く際に準備を手伝いに来てくれた二人の少女について考えました。彼女たちはブラインドも含めて、床から天井まで、台所を一緒に掃除してくれました。その思い出からふと、少女たちの母親を思い出しました。



わたしは受話器を取り、娘の結婚式について知らせようと、何年も話していない古い友人の番号にかけました。

その母親は、何年も話していない古い友人でした。

その瞬間、わたしは受話器を取り、彼女に娘の結婚について伝えようと電話をかけることにしました。彼女は学校の教師なのでこの時間は電話に出ないだろうと思いましたが、ちょうど準備の時間に電話をしたようでした。それから1時間、笑ったり、泣いたり、いろんなことを話したりしました。彼女はとてつらい離婚をしたばかりで、孤独感と見捨てられた気持ちを抱えていました。二人で話しているうちに、霊が高められ、心が慰められました。

ブラインド掃除のように平凡な仕事をしているときにも、主がわたしを通して働きかけられることに驚嘆しました。

それ以上に、主がわたしたち一人一人を御存じで、ちょうど必要なときに助けを送ってくださるほど愛してくださっていることに驚嘆しました。

その夜、わたしはやるべき項目リストの「台所のブラインド掃除」の隣にチェックを書きながらほほえみました。それが終わったことの達成感はもちろんありましたが、それ以上に、主の御手みてに使われる道具となれたことで深い感謝の気持ちがありました。家事について「忙がしくて心をとみだし〔す〕」マルタでありながら、「良い方を選んだ」マリヤになる方法を主は示してくださったのです。■

ジャネット・マハフィー  
（アメリカ合衆国、ミズーリ州）

## ぴったりの時にぴったりの聖句

**あ**るとき、わたしは合衆国アリゾナ州のマリコパ郡刑務所で教戒師補佐をしていました。末日聖徒の教戒師を希望する収容者を訪ねて、一緒に聖句を読んで祈る仕事でした。ある日、一人の若い女性から依頼がありました。

わたしは刑務所内の彼女のいる場所へ行きました。鍵のかかったドアが何枚もありました。面会室には二つの長いテーブルと、その両側にベンチ、机があり、刑務官がその机のところにいました。わたしは刑務官に教戒師依頼書を手渡し、一つのベンチに腰を下ろして、その若い女性を待ちました。

女性が面会室に入って来たとき、わたしは立ち上がりあいさつをし、一緒にテーブルに着こうと提案しました。女性は悲しげな表情をしていて、身だしなみが乱れており、今にも泣きだしそうでした。彼女の話聞きながら、わたしはどの聖句を読もうか考えていました。女性の心配ごとに注意深く耳を傾けました。彼女は様々な強迫的な行動や悪い選択がもたらした苦難について打ち明けました。わたしは彼女に役立つぴったりの聖句を思いつきました。モーサヤ書第3章19節でした。

わたしはモルモン書のモーサヤ書第3章19節を開き、彼女の方へ差し出して、そこを読むように頼みました。女性は初めはげんそうで、早口で抑揚のない声で読み始めました。聖句を読まされていることへの嫌悪感を表しているようでした。最初の「生まれながらの人は神の敵であり」という部分を読み終わったとき、わたしは彼女を止めて、「生まれながらの人」の意味を説明しました。彼女はその意味を

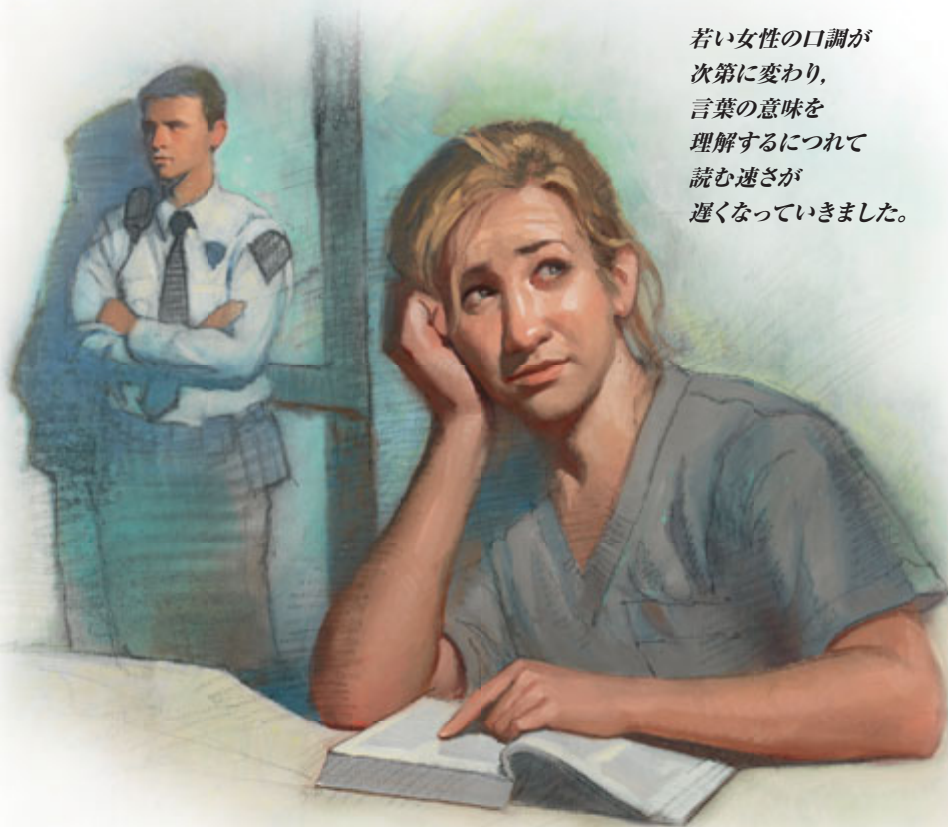
理解した後、続きを読みました。若い女性の口調が次第に変わり、言葉の意味を理解するにつれて読む速さが遅くなっていきました。

「聖徒」が持つ、子供のような属性について読み始めたとき、女性の読む速さはさらに遅くなりました。彼女が聖句に挙げられている一つ一つの属性の意味を吸収しているのが見て取れました。「従順で、柔和で、謙遜で、忍耐強く」と読んだとき、御霊がわたしたちを包み込むのを感じました。女性の中で変化が起きているのが分かりました。表情が明るくなり、彼女の態度や声の調子、全般的な言動に御霊の影響があるようでした。これらの言葉が自分にとってどのような意味がある

か、そしてどのようにすれば聖句で述べられている変化を起こせるか、御霊によって教えられていることで希望が芽生えるのが分かりました。

わたしは祈りをささげ、その若い女性と心のこもった握手をしました。霊的に高揚した気持ちで刑務所を後にしました。これほど即座に、力強く、すばらしい効果が聖句から得られるのを見たことはありませんでした。わたしはモーサヤ書第3章19節を知っていました。聖典を読むときに何度も目にしてきたからです。しかし、これほどだれかに深い影響を与えるとはいいませんでした。■

アレン・ハンセーカー  
(アメリカ合衆国、アリゾナ州)



若い女性の口調が  
次第に変わり、  
言葉の意味を  
理解するにつれて  
読む速さが  
遅くなっていきました。



## あなたは 断食していない

1998年、わたしは若い母親として子育てを楽しんでいました。ところがある日、生後6か月の息子が呼吸をするときに空気が漏れるような音を出し、何も飲み込めなくなっていることに気づき、とてもあわてました。医師はすぐに細気管支炎だと診断しました。細気管支炎とは、肺の細かい気管が腫れる病気で、たいていはウイルス感染が原因です。医師は投薬と理学療法の両方を処方しました。

理学療法士のもとに通うことは息子とわたしにとって試練でした。息子はあらゆる方向に体を動かされて不快そうでしたし、治療が痛いのではないかとわたしは心配しました。しかし、理学療法士が治療のもたらす効果を説明してくれたので、勇気を得ました。

投薬と治療の甲斐なく、息子の病状は良くなりませんでした。息子はミルクをほとんど飲まず、相変わらず空気の漏れる音がしました。理学療法をすでに10回受けていましたが、医師はさらに5回の治療を処方しました。

13回目の治療のとき、待合室で待っていると、診療所の壁に掲示されている、「細気管支炎は死に至る病気で」と題した記事を読みました。それを読んで、わたしは息子が死ぬ可能性があるかと悟りました。胸が締めつけられる思いでした。涙で視界がぼやける中、どうやって無事に帰宅したのか、自分でも分かりません。

わたしは夫に電話をかけてから、祈り始めました。天の御父に、もし息子を取り去ることが御心なら、それに堪える強さを頂く必要があると伝えました。

祈った後、わたしは今までの祈りや息子が受けてきた神権の祝福のほか



投薬と治療の甲斐なく、  
息子の病状は  
良くなりませんでした。

に、何かできることはないかと考えました。書棚に目をやると、『リアホナ』（当時は“L'Étoile”）が目に留まりました。助けを求めて無作為に開くと、「わたしの赤ちゃんのために断食しました」という記事を見つけました。すると、このように言う声ははっきりと聞こえました。「あなたは子供のために断食していない。」

そのとおりだったので、わたしは直ちに息子のために断食を始めました。翌日、治療を受けに行ったときもまだ断食していました。息子を診察した理学療法士は驚いた様子でした。

彼はこう言いました。「奥さん、息子さんは大丈夫です。よく分かりませんが、もう治療は必要ありません。」

わたしは喜びの涙を抑えることができませんでした。帰宅した後、わたしは神の憐れみと愛に対し、感謝の祈りをささげました。そして夫に電話をかけて、うれしい知らせを伝えました。わたしは平安を感じながら断食を終えて、主の助けがあったことをまったく疑いませんでした。

信仰と祈り、神権の祝福、そして断食のおかげで、息子は治りました。天の御父がわたしを愛しておられ、息子を愛してくださっていることに何の疑いもありません。これからわたしたちが困難を乗り越えるのを御父は助けてくださると確信しています。■

ケティ・コンスタント  
（グアドループ島）



管理ビショップリック  
第一顧問  
ジェラルド・コセー  
ビショップ

## 混乱の世にあって 信仰を守る

**わ** たしはフランス南西部で「善い両親から」生まれました(1ニーファイ1:1)。

両親はわたしがまだ幼いうちから、イエス・キリストを信じる信仰と回復された福音に対する証<sup>あかし</sup>をはぐくめるよう助けてくれました。しかし、学校では多くの教授があらゆる宗教的な信条に対して疑念を表し、時には敵対心さえあらわにすることがありました。わたしは、自分の信条を軽視する人々がコリホルの教えを口にするのをしばしば耳にしました。

「これらのことは、見よ、あなたがたの先祖の愚かな言い伝えである。あなたがたはどのようにしてそれが確かであると分かるのか。」

見よ、あなたがたはまだ見ていない物事を知ることはできない。」(アルマ30:14-15)

わたしは17歳のときに、高校で哲学の授業を取り始めました。ある日、教師がこのように言いました。「アダムが実在したなどと信じている人がまさかここにいないでしょうね。」教師はこう言うと、取調官のような目で教室を見回しました。そのような信条を

証<sup>あかし</sup>を強め誤りから自分自身を守るには、  
絶えず信仰をはぐくみ、  
強めなければなりません。

持っていることをだれかがあえて認めようものなら、すぐにも責め立てようと待ち構えているようでした。わたしは身がすくむ思いがしました。しかし、自分の信条に忠実でありたいという望みが恐れをしのぎました。見回すと、40人の生徒の中で手を挙げているのは自分だけでした。教師は不意をつかれ、話題を変えました。

すべての教会員は、自分の証の誠実さと強さが試される瞬間をいつか経験します。このような信仰の試しに果敢に立ち向かうことにより、ますます混乱が深まるこの世にあって堅く立つことができるようになります。この混乱は、わたしたちを取り巻くさまざまなメッセージの嵐<sup>あらし</sup>に顕著に表れています。たとえば、インターネットの普及により、わたしたちの信条と異

なる意見や情報が絶え間なくわたしたちの日常生活を襲います。このような食い違いによりわたしたちは混乱したりまひしてしまうことがあります。

真理と誤りをどのように見分けることができるのでしょうか。「見いだす場所を知らないということだけで真理を得られずにいる」人のようにならないようにするにはどうすればよいのでしょうか(教義と聖約123:12)。

自分の証を守り続けられるかどうかは自分次第です。過去を振り返ってみると、わたし自身の旅の成功は、自分をこの道にとどめてくれた幾つかの簡単な原則にかかっていたことに気づきます。これらの原則によりわたしは「暗黒の霧」(1ニーファイ12:17)や誘惑に取り巻かれていても自分の靈性を高めることができました。





**キリストの弟子は、  
霊的な知識を  
日々渴望します。  
この霊的な  
知識への渴望により  
わたしたちは  
ジョセフ・スミスの模範に  
従うことができます。**

### 真理を絶えず求める

「あなたがたは……知ることはできない」と主張する人々に対して主はこのように答えておられます（アルマ 30：15）。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」（マタイ 7：7）これはすばらしい約束です。

キリストの弟子は、霊的な知識を日々渴望します。この霊的な知識への渴望は、聖文研究や熟考、日々の祈りを基としています。そうすることにより、わたしたちは「暗闇と混乱の中にとどまるか、それとも……神に願い求めるか、どちらかにしなければならないという結論を出すに至った」ジョセフ・スミスの模範に従うことができます（ジョセフ・スミス—歴史 1：13）。

神の言葉を研究することにより、わたしたちは誤った教義の影響から自分自身を守ることができます。主はこのように言われました。「わたしは受け入れる者にさらに多く与え、『もう十分である』と言う者からは、彼らが持っているものさえも取り上げる。」（2 ニーファイ 28：30）

### まだ答えを受けていない疑問を受け入れる

真理を探究する際、わたしたちはすぐにすべてを理解したいという衝動に駆られることがあります。しかし、神の知恵は無限であり「主の道を知り尽くすことは、とても人にできることではない」のです（モルモン書ヤコブ4：8）。わたしたちはすべての疑問の答えを知らないまま一定の期間過ぎさなければならないことを受け入れる必要があります。ニーファイのように、神が「その子供たちを愛しておられることは知ってい〔る〕が、すべてのことの意味を知っているわけでは〔ない〕」ことを真摯に受け止めるのです（1ニーファイ11：17）。

それでもなお、主は救いと昇栄に必要な知識をわたしたちに与えてくださいます。主は「あなたがたがわたしの名によって父に求めるもので、あなたがたにとって必要なものは何でも、与えられるであろう」と約束しておられます（教義と聖約88：64）。わたしたちは自分の必要や理解力に応じて、「ここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて」徐々に答えを受けていくのです（2ニーファイ28：30）。

わたしたちの永遠の進歩にとってほんとうに不可欠な疑問と、知的好奇心や証拠を求める気持ちや個人的な満足を得ようとする欲求からくる疑問とを見分けられるかどうかはわたしたち次第です。

### 御霊の証を求める

わたしたちは疑いを抱くという経験をすることがあるかもしれません。



わたしたちは  
行いに移す必要が  
あります。  
キリストの忠実な弟子  
として振る舞わずに、  
個人の啓示を受けたいと  
願うことはできません。



これらの疑念が、合理的な説明により軽減されることはまれです。たとえば、科学的または考古学的な発見により聖典に対する証が強められることはありますが、論理的または物理的な証拠により霊的な知識を証明することはできません。

真理の知識は御霊の証に基づくものです。使徒パウロが言ったとおり「神の思い〔は〕、神の御霊以外には、知るものはない」のです（1コリント2：11）。

わたしたちは「御霊は真実を語り、偽りを言われることがない」ことを確かに知っています（モルモン書ヤコブ4：13）。御霊は、生理学的な感覚よりも大きな影響をわたしたちに与える力を持っています。信仰を宣言したばかりの使徒ペテロに対してイエスはこのように答えられました。「バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。」（マタイ16：17）キリストの時代に生きた人々の中で、自分自身の目で主を見ながら主に気づかなかった人がなんと大勢いたことでしょう。

### 預言者と使徒の言葉を求める

わたしは最近他の教会の要人と話をしました。彼はわたしたちの教会がキリストの教会かどうかを見極めるために、互いの教会に属する、教義に精通した人同士で討論会を行うことを提案しました。

しかし、キリストの教義の持つ力と真理は、専門家同士の討論にではなく、キリストの選ばれた弟子が語る神聖な証に宿るものです。預言者ジョセ

フ・スミスはこのように宣言しました。「わたしたちの宗教の基本原則は、使徒と預言者たちがイエス・キリストについて立てた証です。すなわち、主が亡くなり、葬られ、3日目に再びよみがえって、天に昇られたことです。」<sup>1</sup>

何世紀にもわたる背教の間、この世は教義の専門家に事欠くことはありませんでした。しかし、キリストの証人は**確かに**失われていました。その結果、人の理論が神の啓示の力に取って代わってしまったのです。

わたしたちは問題に直面すると、まず最初に聖文と生ける預言者たちの言葉を調べるはずで、それらの言葉はわたしたちを欺くことのないかがり火です。「それゆえ、わたしたちは預言者の書を調べている。また、わたしたちには多くの啓示があり、また預言の霊がある。このように証するものが数々あるので、わたしたちは希望を抱いており、わたしたちの信仰は揺るぎないものになっている。」（モルモン書ヤコブ4：6）

### 自分の信仰をはぐくみなさい

わたしたちの「信仰が試されてからでなければ、証」は得られません（エテル12：6）。信仰には、永遠の真理に関する知識の扉を開く力があります。知識は完全に達すると、確固とした完全な確信となります。モロナイはヤレドの兄弟について次のように記しています。「この人は知識があったので、幕の内側を見るのを禁じられなかった。……彼が得ているものは、もはや信仰ではなかった。なぜなら、彼は何の疑いもなく知ったからである。」（エテル3：19）

ですから、証を強め、誤りから自分自身を守るには、絶えず信仰をはぐくみ、強めなければなりません。そのためには、まず清い心を持ち大いにへりくだらなければなりません。ヤコブはニーファイの民に対して「学識があると自分は賢いと思い、神の勧告に聞き従わない。そして自分独りで分かると思って神の勧告を無視する」人の高慢さについて警告しました（2ニーファイ9：28）。

次に、わたしたちは行いに移す必要があります。使徒ヤコブが教えたように、「信仰〔は〕行いと共に働<sup>まっ</sup>き、その行いによって信仰が全う<sup>まっ</sup>されるのです（ヤコブの手紙2：22）。キリストの忠実な弟子として振る舞わずに、個人の啓示を受けたいと願うことはできません。神と交わした聖約を尊ぶことにより、わたしたちに知識を与えわたしたちの霊性を活性化する聖霊を伴<sup>はんりよ</sup>侶とする資格を得るのです。

わたしはこれらの原則が真実であることを証します。これらの原則を生活に適用するならば、この混乱し方向性を見失った世の中であって確かに守りを得られることを経験から知っています。これらの原則には次のすばらしい約束が含まれています。「あなたがたは、御言葉が自分の中に根付くように、熱意と信仰を忍耐をもってそれを養うので、見よ、やがてその実を得るであろう。その実は最も価値があり、……また、あなたがたは満ち足りるまでその実を食べて、もう飢えることも、渴くこともないであろう。」（アルマ32：42）■

注

1. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』、49  
- 50

「ポルノグラフィーにおぼれています。

わたしはポルノグラフィーによって人生を台なしにしようとしています。  
どうすれば習慣性を断ち切ることができるのでしょうか。」

**ポ**ルノグラフィーは広くはびこっている深刻な問題です。ポルノグラフィーは霊を傷つけ、あなたの心に汚れた思いを植え付けます。また人々との関係を損ないます。ポルノグラフィーを見ることにより、御霊を受けられなくなります。

習慣性を断ち切るのは容易ではありませんが、単純なことです。ポルノグラフィーを見たり、それについて考えたりすることをやめると今決意するのです。すぐにビショップか支部会長に話しましょう。話しに行くのが恥ずかしいとは思わないでください。ビショップはあなたが悔い改めて、救い主の贖いがあなたの思いと霊を清められるように助けてくれます。「人が罪を悔い改めたかどうかは、これによって分かる。すなわち、見よ、彼はそれを告白し、そしてそれを捨てる」(教義と聖約 58:43)。

今後もポルノグラフィーを避けるためにあらゆることをしてください。ほかの人がいない場所では携帯電話やインターネットは使わないようにし、強力なフィルタリング機能をインストールするのもしよいかもかもしれません。

祈りや聖文学習、奉仕などの、心を高める活動に焦点を当てた生活を送りましょう。主はこう教えられました。「すべてのみだらな欲望……をやめなさい」 また「絶えず徳でああなたの思いを飾るようにしなさい」(教義と聖約 88:121; 教義と聖約 121:45)。心からの悔い改めと、救い主と、主に選ばれた僕からの助けにより、あなたは習慣性に打ち勝つことができます。

## 聖文を読む



力を求めて祈ってください。エノスは自分の罪が赦されることを懇願しながら、一日中主に祈りました。そしてその信仰によってエノスは大きな平安を感じ、罪悪感は無くなりました。聖霊を受けるために聖文を読んでください。聖霊が伴侶となると、汚れたことを考えたり行ったりすることはないからです。詩篇第 24 篇 3 節-5 節(自らを清く保つこと)を読んでください。忙しくしましょう。スポーツをしたり、外に出て健全で楽しい活動を行ったりして、架空の友人たちに振り回されないようにしましょう。誘惑が来たときには、断固として拒絶して下さい。天の御父はあなたの思いと行いをすべて御存じであることを覚えておいてください。

アナ・G, 17 歳 (ベネズエラ, スリア)

## 決してあきらめない

わたしはポルノグラフィーによって人生を台なしにしました。しかし大変な苦しみの中に、わたしはついに習慣性を断ち切ることができました。悔い改めの過程は長くつらいものですが、このような試練の中でも毎日主に心からの祈りをささげて下さい。贖いは万人のためのものですから、自分は悔い改めるのにふさわしくないなどとは決して考えないでください。また、誘惑を受けたときにはいつも、サタンがあなたを罪に陥れようとしていることを思い出してください。しかし誘惑に屈するのか、無視するのかは、いつもあなたの選び次第です。自分自身や主に見切りをつけたりしないでください。主は決して堪えられない試練をお与えになることはないからです (1 ニーファイ 3:7 参照)。ある若い女性 (オーストラリア, ビクトリア州)

## ビショップと話す

できるだけ早くビショップのところに行って話してください。最初の一步を踏み出すことは難しいことですが、悔い改めるためにはビショップと話す必要があります。ビショップはあなたをからかったり見損なったりはしません。あなたのことを気にかけ、最善を願っています。あなたが長い間苦しんできた、押しつぶされそうな罪悪感と悲しみから解放されるために、イエスキリストはあなたの罪の苦しみを受けられました (アルマ 5:9 参照)。変わるのには手遅れではありません。再び真の喜びを感じられるのです。神が悔い改める勇気を与えてくださるようお願いして下さい。

テイラー・P, 18 歳  
(アメリカ合衆国, ノースカロライナ州)



## 賛美歌を歌う



ポルノグラフィーは神に属するものではありません。悔い改めの過程は長くて苦しいものですが、それは可能です！

変わりたいという望みを持ち、罪の重大さを感じ、とりわけ天の御父の助けを願い求めなければなりません。誘惑に陥るのを避けるために、わたしはコンピューターの横にイエス・キリストの絵を置いています。主がいつでも見ておられるのです！ わいせつな画像や音楽が心に入り込んで来るときには、わたしは賛美歌を歌います。するとこのような邪悪な物を忘れることができます。

ナタリア・Q, 18歳 (ブラジル, サンパウロ州)

## 祈りましょう

祈りの力については語り尽くすことができません。祈りは逆境に堪えて勝利者となるための強さを与えてくれます (教義と聖約 10:5 参照)。もし祈りによって天の御父に求めるならば、御父は誘惑から逃れるための力を与えてくださいます。毎日聖文を読むならば、あなたはさらに強められます。もしも自分自身の強さではなく主を信頼するならば、主は束縛する鎖からあなたを解き放ってください。贖いこそがあなたを癒してくれるのです。

ヒアン・G, 18歳 (ウルグアイ, リベラ)

## 告白する

わたしはこの問題を抱えており、今でも悩まされています。まず第1に、ポルノグラフィーを見るのをやめることです。そして天の御父のところに行ってください。わたしは赦しを受けられると思っていませんでしたが、御父が赦してくださったと感じました。そして自分は大丈夫だと思いました。わたしは自分の問題をだれにも知られたくありませんでした。とても恥ず

かしかつたからです。しかしこのことはビショップに話す必要があります。わたしはためらいましたが、「もしポルノグラフィーの問題があるならば、ビショップのところに行きなさい」という言葉を何度も何度も聞いていました。ある日、神殿の推薦状の面接で、そのことが口を突いて出てきたのです。その後とてもよい気持ちになりました。わたしは自由でした。重荷が取り上げられたのです。それから両親にも話しました。両親は悲しみました。事実を受け入れてくれました。問題について打ち明けることを恐れなくて下さい。

ある若い女性 (アメリカ合衆国, テネシー州)

## だれかに話す

わたしは長い間ポルノグラフィーのわなに捕らえられていました。両親の支えとビショップの助けなしには、解放されることはあり得ませんでした。インターネットを使う機会が減らされ、何回か聖餐を受けられなかったのですが、清くある喜びのためなら小さな代価です。専門のカウンセラーも助けてくれ、あなたを裁いたりはしません。この人たちも主が遣わされた助け手です。

ある若い男性  
(アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

## 次回の質問

「たとえば学校など、多くの清くないものに囲まれている中で、どうしたら『聖なる場所に立つ』ことができるのでしょうか。」



## どのように誘惑から身を守るか

「あなたを害する人や物や環境から遠ざかることから始めるのです。……

重度の依存症という鎖で縛られている人は、往々にして自助努力以上の助けが必要だということを認識してください。それはあなたのこともかもしれません。助けを求め、その勧告に従ってください。……

コンピューターにフィルターをかけたり、不適切なものへの愛着心に鍵をかけたりするとときと同様、人生を実際にコントロールできるのは自分自身しかいないということを心に留めてください。これに加えて、皆さんの目の前にある境界線上の事柄を、もっとコントロールできるよう努めてください。テレビ番組が下品なものだったら、テレビを消してください。……

主の御霊が宿る場所を整え、その中で過ごしてください。皆さん自身の家やアパートがそのような場所となるよう努め、ふさわしい芸術や音楽や書籍をそろえてください。」

十二使徒定員会 ジェフリー・R・ホルランド長老  
「わたしの敵に場所を与えてはならない」  
『リアホナ』2010年5月号, 45 - 46 参照

あなたの意見をお聞かせください。2012年9月15日必着で [liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) に投稿するか、[liahona@ldschurch.org](http://liahona@ldschurch.org) まで電子メールをお送りください。下記へ郵送することもできます。

Liahona, Questions & Answers 9/12  
50 E. North Temple St., Rm. 2420  
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。

投稿文、電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず含めてください。(1) 氏名、(2) 生年月日、(3) ワードまたは支部、(4) ステークまたは地方部、(5) 意見と写真の掲載に対する同意文 (18歳未満の場合は保護者が書いた同意文——保護者の同意文は電子メールでも受け付けます)。

七十人会長会  
タッド・R・  
カリストー長老



# どうしたら 赦ゆるされたと 分かるのでしょうか

**伝** 道部会長として働いていたころ、よく宣教師たちから次の二つの質問をされました。(1) どうしたら自分の罪を赦されたと分かるのでしょうか。(2) もし赦されたとすると、今でも罪悪感を感じるのはなぜでしょう。

このような質問をされたときには、たいてい次のように答えました。「もし祈ったり、聖文を読んだり、福音を教えたり、証あかしをしたり、その他のいかなる時にも聖霊を感じる必要があるならば、それはあなたが赦されているか、清めの過程の中にいるということです。なぜなら、御霊みたまは清くない宮には住まわれないからです。」(アルマ7:21 参照) ほとんどの場合、清めの過程には時間がかかります。人が改心するには時間がかかるからです。しかしそのただ中であっても、神の御霊を感じるにより、御父はわたしたちの成長を認めてくださっているという確信をもって前進することができます。

自分自身に対して、主よりも厳しい態度で当たってしまう人がいます。もちろん贖あがないによる赦しと清めの力に

ふさわしくなるには、悔い改めなければなりません。しかし、もし悔い改めたならば、神の王国にはいつまでも汚れたままの人などいません。「2008年の罪」と記す黒い印が右の足首に付いていたり、「2010年の過ち」と書いた茶色い染みが左耳の後ろに付いているようなことはありません。主は次のように言われたときに、贖いによる完全な清めの力を宣言されました。「たといあなたがたの罪は緋ひのようであっても、雪のように白くなるのだ。」(イザヤ1:18) これこそがイエスキリストの贖いの奇跡なのです。

ある場合には、罪悪感が消え去る前に、罪からの清めが起きることもあるでしょう。それはなぜでしょう。恐らく神の慈しみの中では、罪の記憶は警報や霊的な「止まれ」の標識であり、似たような誘惑に直面したときには「その道を進んではいけない。どんな痛い目に遭うのか知っているだろう」と呼びかけるのです。恐らく悔い改めの過程にいる人々にとって、この感覚は罰ではなく、防護の役割を果たしているのでしょう。

罪悪感が消え去ることはあるのでしょうか。主はこのことについて確かな約束をしておられます。主は義人に対して、次のような時が来ると言っておられます。「もはや……悲しみも、叫びも、痛みもない。先まのものが、すでに過ぎ去ったからである。」(黙示録21:4, 強調付加)

罪の記憶が消え去る日が来るかは分かりませんが、悔い改めた人が自分の罪について思い悩むことのなくなる日が来ます。このような例が「罪が……ぬぐい去られた」エノスであり(エノス1:6)、主が「……心から罪を取り除いてくださった」のを目の当たりにして改心したレーマン人であり(アルマ24:10)、「わたしは二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった」と感嘆したアルマでした(アルマ36:19, 強調付加)。彼らは皆、自分が犯した罪を確かに覚えていたでしょうが、その記憶に悩まされることはありませんでした。贖いによる無窮いっせいの力がすべての傷を奇跡的に癒し、「人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安」によって良心の苦痛が和らげ





罪悪感が消え去ることはあるのでしょうか。主はこのことについて確かな約束をしておられます。主は義人に対して、次のような時が来ると言っておられます。「もはや…悲しみも、叫びも、痛みもない。」



もしキリストの贖い<sup>あがな</sup>についてもっと学び、  
キリストの癒し<sup>いや</sup>の力への信仰を  
もっと働かせるならば、  
わたしたちが赦<sup>ゆる</sup>される力と自分を赦す力が  
さらに強められます。



られたのです(ピリピ4:7)。

罪悪感や苦痛から解放されるには、二つの条件があると思います。第1に、イエス・キリストと主の贖いへの揺らぐことのない信仰です。エノスはどのようにして自分の罪が「ぬぐい去られた」のかを主に尋ねたとき(エノス1:6-7参照)、主はお答えになりました。「あなたが……キリストを信じているからである。」(エノス1:8)従って、もしキリストの贖いについてもっと学び、キリストの癒しの力への信仰をもっと働かせるならば、わたしたちが赦される力と自分を赦す力がさらに強められます。第2は、「悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望みを持つ」特質を築き上げることです(モーサヤ5:2)。これが実現するとき、わたしたちはもはや自分自身を「この世的な状態」と見なすことはなく(モーサヤ4:2)、霊による神の息子や娘であると理解します。そして以前罪を犯した自分とは違う者であると認識するのです。チャールズ・ディケンズの『クリスマス・カール』の有名な登場人物スクルージは、自分の人生にそのような変化を遂げて、このようにきっぱりと言いました。「わたしは今までのわたしと違います。」<sup>1</sup>

悔い改めるときに、わたしたちは今までとは違う人になるのです。わたしたちが新しい自分への変化を遂げ、さらにキリストの清めの力が加えられることにより、わたしたちはアルマと同じように、次のように言える段階へ進みます。「わたしはもはや苦痛を忘れることができた。まことに、わたしは二度と罪を思い出して苦しむことが

なくなった。」(アルマ36:19) 従って、神は最後には、わたしたちの過去の姿ではなく、現在の姿により裁かれるという事実は、わたしたちの慰めとなります。

使徒パウロは罪を犯したけれども悔い改めようと努力するすべての人に向けて、建設的な勧告を与えました。つまり「後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ば(す)」べきであると述べています(ピリピ3:13)。言い換えると、過去のことは後ろに残し、神の贖いの力を信じて前進しなければなりません。わたしたちのそのような努力こそが、信仰の表れなのです。さらにパウロは次のように勧告しました。「自ら……について、やましいと思わない人は、さいわいである。」(ローマ14:22)

しばらくの間、罪の意識の最後のかげらが取り除かれるまでの間に、もし主の御霊を感じられたならば、わたしたちは自分が清められている、また清めの過程が人生に神の奇跡をもたらししているという確信をもって、前進することができます。確かに約束されたように、もし悔い改めようと最善を尽くすならば、わたしたちは罪から清められ、ついには罪悪感もぬぐい去られます。なぜなら救い主の贖いはわたしたちの罪だけではなく、罪の意識にさえも影響を及ぼすからです。そしてわたしたちは、自分自身に対して、また神に対して、完全な平安を得られるのです。■

注

1. チャールズ・ディケンズ『クリスマス・カール』村岡花子訳、新潮社、123。



# わたしたちのスペース

## なぜ試練があるのか

**戒**めを守り、福音に添った生活をしているのに、なぜ様々な問題があるのかとわたしたちは度々不思議に思います。しかし、試されるためにこの地上に来たことを忘れてはいけません。試練を克服し、選択を通してわたしたちが天のお父様を愛していることを示すとき、天のお父様はわたしたちを祝福してください、主の御霊が家庭に宿ります。

カエリン・V  
(ベネズエラ) (下)

## 神への務め

**ベ**ネズエラに住んでいたときも、家族と中国に引っ越したときも、神への務め達成賞を得られるように頑張りました。

神への務めプログラムはほんとうに靈感を受けたものです。プログラムの目標を達成することによって、若い男性はすばらしい事柄を学び、生涯を通して学んだことを活かすことができます。霊的な事柄、この世の事柄、物質的な事柄をはじめ、多くの事柄を学びます。

これらの目標は、達成するために努力するだけの価値が十分あります。わたしはより善い人になることを学び、イエス・キリストの福音に對するわたしの証は強まりました。また、メルキゼデク神権を受け、伝道に出るためのより良い備えにもなりました。いつか、自分の将来の子供たちの良い模範になれると思うととてもうれしいです。

ジョナサン・A (中国)



## わたしの好きな聖句

### 1 ニーファイ 3 : 7

この聖句はわたしの信仰を強めてくれます。なぜなら、試練の間も主に従い、主が求められることを成し遂げることをニーファイが示しているからです。そのために、天の御父は彼を祝福されました。  
カイル・T (フィリピン) (上)

## 個人の証を見いだす

**わ**たしは教会員として生まれましたが、真心を込めて聖典を読み始めるまで、あまり証がありませんでした。そこで紙の上の言葉をただ読むのではなく、その言葉の意味を深く調べるようにしました。わたしは第三ニーファイ第 11 章 3 節を読み、そこに登場する人々の気持ちを考えてみました。その聖句とそれに続く幾つかの聖句を読んでわたしは衝撃を受けました。その時から誠意をもって聖典を読み、祈ることを続けた結果、わたしの証は強まりました。

イアン・R  
(アメリカ合衆国、ワシントン州)

## 「成長するわたし」

**20**11年2月27日に、わたしは若い女性達成賞を受けました。「成長するわたし」プログラムを終え、自分自身を純粋で清く保ち、誇りを持ってメダルを身につけることができることをうれしく思います。わたしたちが成長し、聖なる神殿で結婚する備えをするうえで、若い女性の組織が助けとなることを知っています。メダルを獲得することによって、わたしは目標の一つを達成し、そして主の業において多くの良い行いをし続けることができることを知っています。

キャサリン・M (ベネズエラ)



# 犠牲, しかし

# 喜び



働いてお金を得ることに喜びを見いだすようになったわたしは伝道に出たいという望みを失いかけていました。

エドワード・M・アコサ

**わ**たしが6歳のとき、母が宣教師と出会い、アフリカのガーナで教会に入りました。父は母とわたしたち5人の子供を残して家を出て行きましたが、教会の教えがわたしたち家族を強めてくれました。わたしたちは互いに愛し合い、家庭の中に平安がありました。母と一緒に教会に行き、プライマリーのクラスやセミナーに出席するのが大好きでした。

若い男性のとき、わたしはワード宣教師として召され、宣教師たちと一緒に伝道することに喜びを見いだしました。また、ワードから何人かの若い男性が伝道に出るのを見ました。彼らが帰還したとき、何か違っていました。肉体的にも霊的にも彼らはより学び、成熟していました。わたしの兄も伝道に

出ました。彼が帰還したとき、わたしは彼の振る舞いが多くの点で改善されているのを見ました。わたしは自問し続けました。「いったい伝道の何が彼らをここまで変え、成長させているのか。」わたし自身、伝道に行くのが楽しみで仕方ありませんでした。

高校を卒業した後、伝道の資金をためるために働きました。程なくして、働いてお金を得ることに喜びを見いだすようになったわたしは伝道に出たいという望みを失いかけていました。わたしは働いて得たお金で家族を支えていたので、伝道に出るのは大きな犠牲でした。伝道に出るための書類を書き始める度に、犠牲にするお金について考えてしまい、書類を書くのを断念して働き続けました。

わたしの友達が伝道に出るとき、良い気持ちがありませんでした。なぜならわたし自身も行く準備をすべきだと分かっていたからです。わたしは自分の今までの言動について深く考えてみました。「預言者と指導者を支持するということは、ただ右手を

挙げるということではない。彼らが言ったことを行い、天の御父の戒めに従うことだ。」そう思いました。

今が伝道に出るとき、そう感じたのでわたしはビショップに伝道に出るための書類を持っていきました。わたしの人生で2番目に幸せな日でした。いちばん幸せだった日は、ビショップが彼のビショップ室にわたしを呼び、ナイジェリア・イバダン伝道部へのわたしの伝道の召しが入った白い封筒をくれた日でした。わたしの心は喜びで満たされました。

宣教師訓練センターでわたしは福音の教義についてもっと知り、素晴らしいことを学びました。また神殿でエンダウメントを受けることもできました。伝道に出る決断ができたことにとっても感謝しています。その決断を後悔したことは一度もありません。わたしも伝道に出て霊的に成長しました。そうできているのは、わたしと家族に大きな幸福をもたらした同じ福音の祝福を人々も受けられるように助けているからだと確信しています。■



# 神殿の中の 自分を思い描く

職場でハンサムな人からデートに誘われましたが、  
彼は教会員ではなく、わたしには神殿で結婚するという目標がありました。

アドリアネ・フランカ・レオン

**わ**たしは少女のときから、永遠の家族の一員となることを夢見てきました。わたしの家族がブラジル・サンパウロ神殿で結び固められたのは、わたしが12歳のときでした。家族と神殿の祭壇でひざまずき、この世と永遠にわたって、きょうだいとともに両親に結び固められたときのことを今でもはっきりと覚えています。そのとき、わたしが望んでいるのはこういう家族だと分かりました。わたしはベッドの隣にサンパウロ神殿の写真飾りを飾り、それを毎晩見ては、永遠の家族のみを求めようと、決意を新たにしていました。

数年後、わたしは大企業の商業部門で働いていました。ある日、部長がわたしを一人の新入社員に紹介しました。彼は背の高い青年で、すてきな青い目と、穏やかなほほえみ、そしてすばらしいファッションセンスを持っていました。

彼がわたしに気のあるそぶりを見せてきたときはほんとうに信じられない気持ちでした。わたしは有頂天になりました。最初のデートの日、彼がある程度活躍しているバンドのドラマーだと知り、わたしは興奮しました。



彼はたばこを吸い、お酒も飲むことが分かりましたが、教会員ではないのだから、彼にとって間違いではないと自分に言い聞かせました。

その夜家に帰ったとき、わたしの頭の中はあのすてきな青年のことでいっぱいでした。しかし、祈ろうとひざまずいたとき、神殿の写真が見え、わたしは変な気持ちを感じました。わたしはそれを無視して眠りました。

その翌日彼と出かけたときに、彼がお酒を飲み、たばこを吸うということに対して、わたしはいやな気持ちになりました。わたしは触れていないとしても、お酒が置かれたテーブルに着いていることが恥ずかしくなりました。

彼がわたしにキスをしようとしたとき、最初は興奮しましたが、すぐにいら立ちを覚えました。彼の息からたばこお酒のおいがしたとき、どうしてもキスをすることができませんでした。

その夜わたしは祈るためにベッドのわきでひざまずき、神殿の写真を見ていました。そして、この青年は永遠の結婚のためにわたしを神殿に連れて行ってくれる人ではないと思いました。

ともに永遠の家族を築けるふさわしい青年と結婚する目標について考えると良い気持ちが出て、ようやく横になって眠りに就くことができました。

そのドラマーは依然として魅力的でしたが、恋心を誘う彼の見た目には惹かれることはもうありませんでした。わたしは自分が望む結婚の形を知ったからです。

1年後、わたしは愛するふさわしい神権者とサンパウロ神殿で結婚しました。主から与えられるすばらしい祝福をともに受けられる忠実な青年を待つ価値はありました。■

神殿の写真を購入するには、[store.lds.org](http://store.lds.org) に行き、「Music, Media, and Art」のタブをクリックし、次いで「Temple Pictures」をクリックしてください。



# 『若人の強さのために』

## こんにち いかり 今日の錨



中央若い男性会長  
デビッド・L・ベック



中央若い女性会長  
イレイン・S・ダルトン

大管長会は、『若人の強さのために』にある標準は「皆さんが今大切な選択をするとき、また将来大切な選択をしようとするときに助けとなるでしょう<sup>1</sup>」と書いています。この小冊子の改訂版を発行するに当たって、教会機関誌は中央若い女性会長のイレイン・S・ダルトン姉妹と中央若い男性会長のデビッド・L・ベック兄弟に少し時間を取ってもらい、改訂版について話を聞くことができました。

### なぜ今、『若人の強さのために』の改訂が行われたのですか？

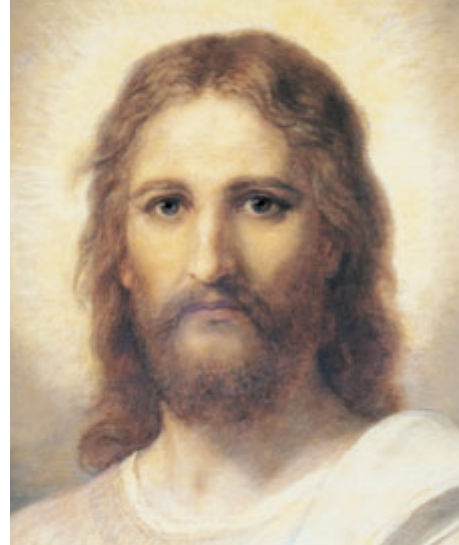
ベック兄弟——主の標準は変わることがありませんが、サタン攻撃は

ますます頻繁になり、激しさも増えています。『若人の強さのために』は、青少年がこのような攻撃に打ち勝つことができるように改訂されました。

ダルトン姉妹——預言者は青少年に対してとても分かりやすい言葉で語り続けていますので、現在の預言者の言葉を載せたいと思いました。青少年は預言者にしっかりと従う必要がありますので、最近の教えがこの小冊子にまとめられています。

ベック兄弟——トーマス・S・モンソン大管長が言うように、今日の青少年は主の標準と世の中の標準のギャップがどんどん大きくなっている時代に成長しています。<sup>2</sup> 誘惑はさらに強まり、邪悪な行いが以前よりも





社会的に受け入れられるようになって  
います。改訂版に盛り込まれた靈感  
あふれる勧告は、青少年に対する  
天の御父の愛の表れです。天父は  
すべての若い人々に福音の生活から  
祝福を受けてほしいと望んでおられ、  
その助けとなるように標準をお与えに  
なりました。天父が今の時代に、青  
少年を通してしようとお考えになっ  
ている大切な業があるのです。『若人  
の強さのために』の標準に従うと、  
青少年は天父の業に携わるにふさわ  
しい者になることができます。

「心身の健康」にも深いかわりが  
あります。健康に気をつけて肉体を  
健やかに保つことは大切ですが、同  
じように心の健康にも気を配る必要  
があります。

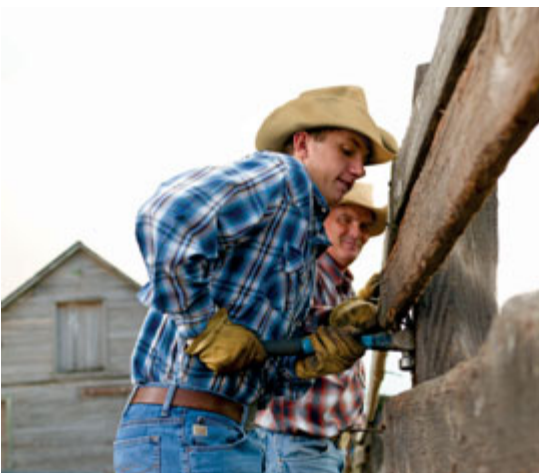
ベック兄弟——御<sup>みたま</sup>霊に従うことと、  
神殿に参入するにふさわしく生活する  
ことについてもさらに強調されてい  
ます。

**青少年が『若人の強さのために』を  
自分の生活に取り入れるには、  
どうしたらよいでしょうか？**

ダルトン姉妹——青少年の皆さん  
には、この小冊子に書かれている祝  
福を求め、その祝福が自分の目標の  
達成へとどのように導いてくれるかを  
考えてほしいと思います。わたしは今  
の若人が主の再臨に向けて世の中を  
備える世代であるということを確認し  
ています。主が来られるときに主の  
前に自信をもって立ちたいという望み  
を忘れないよう、若人の皆さんに強く  
お勧めします。

ベック兄弟——『神への務め』と  
若い女性の『成長する私』の小冊子  
の中にも良い提案が載っています。  
例えば、『神への務め』の「ふさわしく  
生活する」という項目の中には、若い  
男性は『若人の強さのために』の標  
準について学び、それに従って生活す  
る計画を立て、ほかの人々にその経験  
を分かち合うという提案があります。  
これを行うことによって若い男性は自  
分自身の証<sup>あかし</sup>を強めるだけでなく、ほか  
の人々の証を強めることもできます。

ダルトン姉妹——もう一つ、青少  
年にぜひやってみていただきたい興  
味深いことがあります。『若人の強さ  
のために』の中で御霊について書か  
れている箇所をすべて丸で囲んでくだ



**この改訂版では  
何が新しくなったのでしょうか？**

ダルトン姉妹——「労働と自立」と  
いう項目が追加されました。多くの青  
少年が実際に働くことを学ばずに、ソー  
シャルネットワークやインターネットの  
閲覧、ビデオゲームなど、新しいテクノ  
ロジーに多くの時間を費やしています。  
これは心配なことです。というのは、  
伝道に出たときに、肉体的にも霊的  
にも過酷なその業を果たす準備ができて  
いない若者が時折見受けられるから  
です。これはもう一つの新しい項目、



さい。囲んだ標準に従って生活すれば、聖霊を常に伴侶とすることができるようになります。青少年が人生で難しい選択をするときには、この聖霊の導きが必要です。

ベック兄弟——この小冊子はまた、福音を分かち合うときに偉大な力となります。わたしたちがなぜこのような標準を守って生活しているのかを友達に理解してもらうために使うことができますのです。また、青少年が家庭の夕べのレッスンの準備、聖餐会のお話の準備、教会のクラスでのレッスンの準備をするときに使うことができますし、主の標準に関する疑問の答えを探すためだけに使うこともできます。青少年がこのようにこの小冊子を使うなら、『若人の強さのために』の教義と原則は心に深く刻み込まれ、その人格の一部となることでしょ。

**この標準を今の世の中で守るのは難しいと考える青少年にはどんな言葉をかけますか？**

ダルトン姉妹——「そのとおり、難しいのです」と言うでしょう。しかし



同時に、その標準に従わないともっと大変なことになりますよと言いたいですね。罪を犯すと生きることが難しくなり、やりたくもないことをしなければなりません。『若人の強さのために』は幸福への鍵であり、だれもが幸福を望んでいるのです。

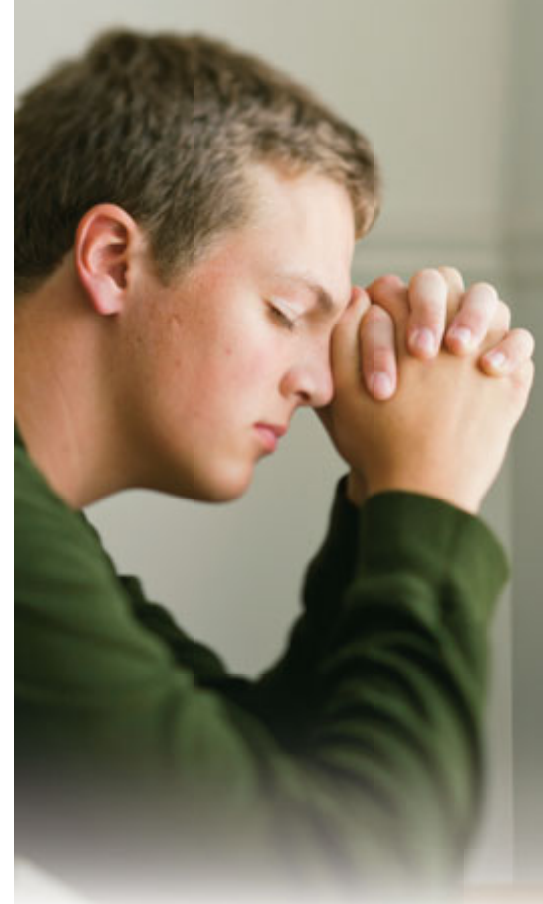
ベック兄弟——この世が与えてくれるどんなものも、聖霊が与えてくださる慰めや、天父が今の自分を喜んでくださっているという満足感、あるいは神殿の聖約が持つ力とは比較になりません。これらは主の標準を守る者に約束された祝福なのです。

ダルトン姉妹——「わたしは悪いことをしたのもう教会へは行けません」と言う若い女性がたくさんいます。そして、さらに罪深い行いに陥ってしまうのです。けれども、わたしはこう言います。「あなたは悔い改めることができます。あなたは変わることができます。今日がその日、今がその時なのです。」

**主の標準を守って生活するための助けを家庭であまり受けられない青少年には、どんなアドバイスを送りますか？**

ベック兄弟——主はわたしたちを、それぞれが受けている霊的な賜物を最大限に発揮することができる環境に置かれているとわたしは信じています。たとえ家族と主の標準に従った生活をする決意を分かち合うことができなくても、あきらめないでください。自分の信じる標準に従って生活し続けてください。なぜなら、家族のだれかがあなたの生活を見て、その模範からひそかに力を得ているかもしれないからです。

ダルトン姉妹——そして、自分が



何者であるのかを常に忘れないでください。あなたは主への強い証を持っていましたので、今の時代に地上に来るために取っておかれました。あなたは前世でそのことを証明しているのです。ベック兄弟が言ったように、あなたが主の標準に従った生活をするのが、ひいては家族を祝福することにつながるかもしれません。妥協しないでください。負けないでください。この標準に従って生活するならば、わたしたちは光となることができます。主の光を反映させることができますのです。

**主の標準に従って生活するならば、どんな祝福を受けることができますか？**

ベック兄弟——主が与えられた標準に忠実に従う人々に、主は様々な素晴らしい祝福を約束しておられます。聖霊を伴侶とすること、良心の平安、信仰と自信が増すなど、すぐに与えられる祝福もあります。戒めを守るときに、戒めを守る力がさらに強く育つのです。



ダルトン姉妹——世の中の人はいこう言います。「何でもやってみなさい。若いからできるのです。」この言葉のように生きると、じょうごのようになってしまいます。最初は広いけれども先に行くほどすぼまってしまうのです。試してみるだけのつもりが中毒になってしまうこともあります。一時的な楽しみに身を任せると、後で未婚のまま妊娠してしまったり、人生設計が狂ってしまったりすることがあります。狭い道を歩んで、つまりじょうごを逆さまにして、主の標準に



従うならば、あなたの前に世界は開け、戒めに従うかぎり道は広がっていきます。罪の結果に縛られることなく、幸せな生き方を選べるようになるのです。

ベック兄弟——このような祝福の大切さを理解し、その祝福にあずかるにはどうしたらいいかを理解している若者を、世の人は必要としています。皆さんの友達や仲間の中には、真理の原則を生活の土台にしたいと望ん

でいる人、世の道とは異なる道を探している人々がたくさんいます。このような人にはあなたの模範と証が必要なのです。

### 何かほかに青少年に伝えたいことがありますか？

ダルトン姉妹——わたしは悔い改めが悪いことではないということを青少年の皆さんに伝えます。悔い改めは祝福なのです。主は私たちに悔い改めることができる強さを与えてくださいました。悔い改めを引き延ばさないでください。私たちは変われるのです。そして、主の標準に従った生活を送れるようになるのです。主の御霊に導かれている義にかなった若い女性、若い男性は世界を変えることができます。あなたはその一人になることができるのです。

ベック兄弟——わたしたちは皆さんを愛しています。皆さんの善良さに喜びを感じています。皆さんの忠実さに感動を覚え、霊は鼓舞されます。自分が孤独だと感じたら、世界には自分と同じように主の標準に従って生活しようと決心を固めている何千人もの青少年がいることを思い出してください。聖霊が常にあなたの伴侶になることがおできになることを思い出してください。主の前にふさわしく生活し、御霊のささやきに従い、必要なときには主から慰めを受けてください。天父は皆さんを愛し、信頼しておられます。皆さんのためにたくさんのすばらしいことを用意しておられるのです。■

#### 注

1. 「若人の強さのために」
2. トーマス・S・モンソン大管長「一人でも気高く立ち」『リアホナ』2011年11月号、61-62参照

わたしたちの標準が拘束するものではないという理由をどのように友達に説明することができるでしょうか？

**ダ**ルトン姉妹の話していたじょうごのたとえを使うことができるでしょう。世の中の提案に乗ってしまうなら、好ましくない結果を生じ、わたしたちの将来は狭められてしまうのです。じょうごを逆さにして主の標準に従い、戒めを守って生活するなら、わたしたちには、今も未来にも多くの機会が開かれるのです。

標準を守るとこうなります——

- 聖霊を常に伴侶とし、特に重要な選別をするときに聖霊の助けを受けることができる。
- 中毒や罪の結果に苦しむことなく、幸福と自由を享受することができるようになる。
- 神殿の祝福、また、わたしたちの究極の目標である永遠の命の祝福にあずかるにふさわしくなる。



# 母の模範

エリン・バーカー

**い**らいらするあまり、わたしは皿を食洗器に荒っぽくつつ込んで泣き出してしまいました。

「エリン、そのプールパーティーに行ってきたらどうだい。たまには遊んできたらいいよ」と父が言いました。

「そんなことじゃないの!」と怒鳴りながらわたしは部屋を飛び出しました。

わたしがかんしゃくを起こしたのはエードリアンの家で開かれるプールパーティーが原因ではありませんでした。母と末の妹のアビーが肺炎で寝込んでいたので、父とわたしは先週ずっと二人の看病をしながら、いつもと変わらないように家の用事をたしていたのです。食事の支度、掃除、買い物、洗濯、ほかの二人の妹の送り迎えなどのすべてをしていました。

こうしたことがわたしが絶えず抱いていた不安をかき立てていきました。家族のことを気にかけていましたし、もうすぐ大学に行くために家を離れることを心配していたのです。だからいつも忙しくしていることで、自分の心配事に目を向けないようにしていました。エードリアンのパーティーにも行かないつもりでした。でも、疲れていたのと、煩い事を忘れて友達とのプールの周りで楽しいひとときを過ごすことを考えたとき、せきを切ったように感情があふれ出してきたのです。そして、ついに

我慢し切れなくなったわたしは爆発してしまい、父に八つ当たりをしてしまったのです。

自分の部屋でしばらく泣いた後、わたしは自己嫌悪に陥り、2階へ行って母とアビーが何かしてほしいことがあるかどうか様子を見に行きました。すると、母が高熱で浮かされている妹に薬を与えているではありませんか。母自身、呼吸もままならず、何日も寝たきりだったのです。父とわたしは母にベッドに戻るよう何度か説得しました。わたしたちがアビーの世話をするからと言っても、母は聞き入れようとしません。

「わたしは大丈夫よ。二人とも少し寝なさい。アビーにはわたしが必要なの」と、母が言いました。

母が10才の妹を介抱する姿を見て、わたしは泣きそうになるのを必死にこらえました。母は妹の熱を測り、ベッドに寝かせてから、自分もベッドに横になって震える妹を抱き締めていました。熱に浮かされている声が止まり、アビーは母の腕の中で静かに眠りに就きました。

母の症状はさらに悪化しました。その肺炎のせいで、ついには何日もの間入院したほどでした。それでもなお苦難の中であって、母は自分のことは二の次にし、自分の病状について泣き言を言うどころか、娘の痛みを和らげることを優先したのです。

あの晩、家にいて家族の世話をすることは自分を犠牲にすることだと考えていました。ところが、感情を爆発させてしまったことで自分を恥ずかしく思うと同時に、母の行いを見て謙遜な気持ちにさせられました。母を見ているうちに、母はわたしや妹を助けるためならどんなことでもしてくれるのだと知りました。

わたしはあの晩、母の愛を感じ、母の模範に従いたいと思いました。そして、自分がどのような犠牲を払うことになっても、自分の愛する人々に必要とされるときにはそばにいて助けてあげようと決意したのです。■





じゅうに しとていんかい  
十二使徒定員会の  
クエンティン・L・クック長老は  
このテーマについて次のように話しています。

きょうかい なか  
**教会の中で**  
じょせい  
**女性は**  
たいせつ せんざい  
**大切な存在です！**

じょせい てんのおんちのあいする  
**女**性は天のおん父の愛する  
むすめです。  
かみ じょせい つよ とく あい  
神は、女性に強さ、徳、愛  
という神聖な特質を植え付けられま  
した。  
つま おっと かんけい たいとう おっと つま  
妻と夫の関係は対等です。夫と妻  
は家族の必要を満たすためにともに  
働きます。

こんにち きょうかい じょせい つよ ちゆう  
今日の教会の女性たちは、強く、忠  
実です。  
きょうかい な おお  
教会で成しとげられることの多く  
は、女性の無私の奉仕によるものです。  
まつじつせい と じょせい  
末日聖徒の女性はすばらしいで  
す！■  
まつじつせい と じょせい  
「末日聖徒の女性はすばらしい」『リアホナ』2011年  
5月号、18 - 21 から。

イラスト：アマンダ・バー





# いのり, 感謝状, 自然災害

きょうかい きかんし  
教会機関誌

マリッサ・ウィディソン

ふたり おんな  
二人の女  
こ  
の子はちがう  
ことば はな  
言葉を話し、

6,000 マイル (9,600  
キロ) 以上もはなれ  
て暮らしています  
が、特別な共通点  
があります。二人と  
も地元で自然災害  
に見まわれたとき  
に、前向きな気持ち  
でいる方法を見いだ  
したのです。日本に  
住むほのかと、アメリ  
カのカミズーリ州に住む  
マギーの実話をしょう  
かします。悲しく  
おそろしい経験をし  
たとき、二人が忠実  
で楽観的でしたら  
れたのはなぜでしょうか。



ほのか

わたしの名前はほのかです。日本の千葉県に住んでいます。  
遊んだりなわとびをしたり絵をかいたりするのが好きです。  
わたしの夢はいつかイラストレーターになることです。



マギー

こんにちは！わたしはミズーリ州ジョプリンのマギーです。  
ある晩、母がニュースでたつ巻注意報を見たので、  
わたしたちは全員地下に行きました。  
大きくヒューヒューと鳴る風音がとてもこわかったです。  
友達のことや飼っている動物のことが心配でした。  
あらしの後、家族が無事で家もほとんどこわれなかったので  
感謝の気持ちでいっぱいでした。





# ほのか



好きな聖典の物語はリーハイの示現のところでです(1ニーファイ8章を見ましょう) 初等協会はとても大切

だと思います。神様やイエス様についてたくさん学ぶことができるからです。聖餐会が大好きです。聖餐を受ける

ときに自分が清められていると感じて、とても幸せな気持ちになるからです。

大きな地震が来たとき、わたしは学校にいました。最初に思ったのは「ごわい!」ということ。「家族のみんなは大丈夫だろうか」ということでした。わたしは心の中で、家族が無事であるように、

また人々の命が守られるようにといのりしました。後になって、わたしの友達にけがをした人は一人もいなかったことが分かりました。そのとき、神様がわたしたちを守ってくださったのだと感じました。神様とイエス様が生きておられることを知っています。



# マギー



町を通りぬけたたつ巻のせいでたくさんの家や商店などが破壊されました。愛する人を失った人たちが気の毒でした。両親と兄や姉が町の片付けを手伝うことにしました。そのとき、次のような聖句が

思いうかびました。「あなたがたが同胞のために務める

のは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである……。」(モーサヤ2:17)

わたしも片付けを手伝いたかったのですが、子供には危険だと母から言われました。すると、人々を幸せにするすばらしい方法があることを、聖霊がわたしに教えてくれました。

わたしはボランティアの人たちにわたす20枚の感謝状を作ることにしたのです。

人々が聖霊を感じ、かれらがわたしたちの町にとってとても大切な人たちであることを分かってもらえるように、たくさんの時間を使って、一枚一枚のカードを作りました。

自分にできないことがあったとしても、ほかの方法で奉仕ができることを学びました。神様や仲間のために奉仕するとき、天のおん父はわたしたちを祝福してくださいませ。





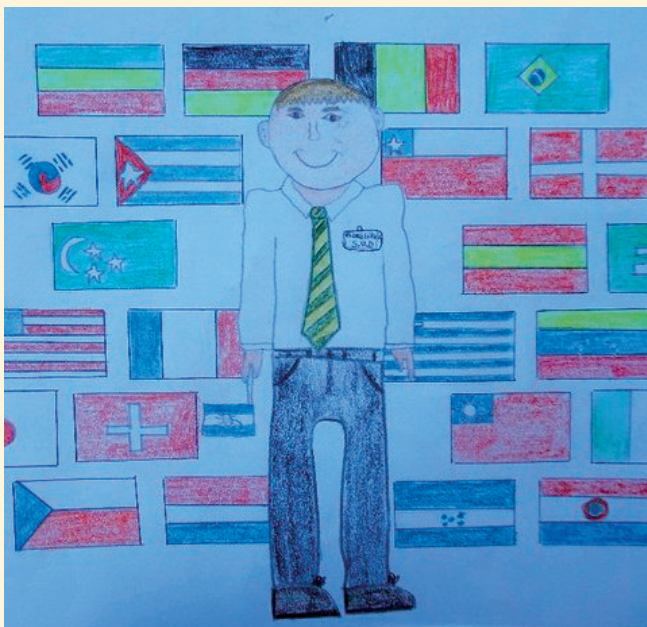
「家庭が<sup>かてい</sup>愛<sup>あい</sup>と親切<sup>しんせつ</sup>と  
主<sup>しゅ</sup>の御<sup>み</sup>霊<sup>たま</sup>で  
満<sup>み</sup>たされますように。」

トーマス・S・モンソン<sup>だいかんしやう</sup>大管長  
2012年4月総大会から





# わたしたちのページ



ルーカス・L, 9才 (アルゼンチン)

## 神への信仰を養う



神への信仰の「小冊子」を通して、天のお父様のいましめをもっと守ることができるようになりました。子供たちみんながこの本に書かれていることを行い、教会の中で奉仕し、才能をのばすようにしたいと思います。わたしは目標を立てて、教会で兄と一緒にバイオリンの二重奏をしました。わたしには伝道している兄がいます。わたしの家族は、兄もふくめてみなわたしにとってとても良い模範です。

シャーロット・デ・B, 10才 (フランス)



ブラジルにすむ4才のレベッカ・Bは、教会に行くのが大好きです。毎週かていの夕べで「かみの子です」と「かぞくはえいえんに」を歌いたいと言います。レベッカはこの二つの歌のかしをぜんぶおぼえています。まだわずか3才と数か月のときに、レベッカは信仰かじょうをだい3じょうまでおぼえていました。レベッカは日曜日をしゆのひだと言っています。レベッカがいることはかぞくにとってしゆくふくです。



インドネシアにすむ5才のジェイ・Rはかぞくが大好きです。りょうしんはほかの人人をあいするようになんを教えてくれました。ジェイにはたくさんの友だちがいます。そして、友だちと何でも分け合うのが好きです。しょくぶつや、どうぶつなど、かみさまのつくられたものが大好きです。こんちゅうがとても好きで、クモも好きです。クモのすを作るからです。ジェイはかみさまがつくってくださったすべてのものにかんしゃしています。



ティモシー・K, 3才 (ウクライナ)

「わたしたちのページ」に絵やしゃしん、けいけんだんを [liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) にていしゅつしてください。電子メールでおくるときは、「Our Page」(わたしたちのページ)と書いて、[liahoha@ldschurch.org](mailto:liahoha@ldschurch.org) におくってください。てがみのおくり先は、

Liahona, Our Page  
50 E. North Temple St., Rm. 2420  
Salt Lake City, UT, 84150-0024, USA

応募の際には、必ず子供の氏名、性別、年齢(3歳から11歳に限る)、それに親の名前、ステーク/地方部、ワード/支部名を明記し、親の許可書(電子メールでも可)を添えてください。お送りいただいた原稿は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために、編集されることがあります。

今月の しょうきょうかいの テーマについて もっと 学ぶために  
この レッスンと かつどうを つかうと よいでしよう。

# わたしは **みたまを** **まねくもので 生活を** **みたすことを えらびます**

**聖**書の中に シヤデラク、メシャク、アベデネゴについての おどろくべき 話があります。なかのよい この 3人は 火が もえさかる ろの 中に なげこまれて しまいました。ネブカデネザル王が めいじて 作った 金の ぞうを おがむ ことを こぼんだからです。この イスラエル人の わかものたちは、自分たちの しんじる かみさましか れいはいしないと 王さまに 言いました。この わかものたちが ちゅうじつだったので、かみさまは かれらを ろの 中から すくい出して いのちを たすけて くださいました(ダニエルだい3しょうを 見ましょう)。これは、かみさまを しんじ、ちゅうじつで ゆうきを もつことの 大切さを 教えている 話です。また、せいぎを えらべるように おたがいに たすけ合う よい 友だちについての 話でもあります。

シヤデラク、メシャク、アベデネゴは そろって、かみさまだけを れいはいする という やくそくを まもることを えらびました。そして かみさまは かならず 自分たちを すくって くださる という しんこうを もつことを えらんだのです。また、王さまを おそれず、かみさまを しんじることを えらびました。ヘンリー・B・アイリングかんちょうは、つぎのように 言っています。「わたしたちは みな、……だれもが、……あ いし、耳を かたむけ、道を しめし、しんりを あかして くれる しんの 友

人を ひつようと しているのです。」(「しんの友」『リアホナ』2002年7月号, 32)

せいぎを えらべるように たすけて くれる 友だちが いると、あなたの 生活が かわることを わすれないで ください。シヤデラクや メシャク、アベデネゴの ような 人を さがして、この 3人の ような よい 友だちになりましょう! ■

## うた 歌と せいく

- 「イエスさまのように」[子どものかしゅう] 40
- しんこうじょう1:13

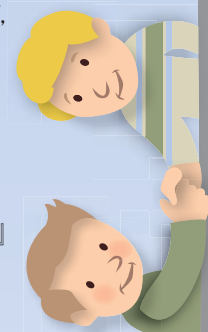
## よい 友だちに なるう

よい 友だちに なるための ほうほうを しょうかいします。

- だれかの よい 友だちに なるように あなたが 1週間 がんばったことを 土曜日 に 日記に 書く。
- 友だちに あいを しめす ほうほうについて 考える。
- どうすれば 自分や 友だちが かみさまに たいする しんこうを 強めることができるかを 書き出してみる。
- よい 友だちに なるように 今 自分が どりよくしていることを りょうしんや しょうきょうかいの しどうしゃに 話す。



あそび場で けがをした 女の子を たすけて あげた。こまを 一つ すずめる。

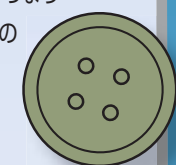


通学バスの 中で、となりに すわるように てんこうせいに 声を かけた。こまを 一つ すずめる。

## CTRゲーム——ゆうじょう

ゲームを通して よい 友だちに なる ほうほうについて もっと 学んでみましょう。こまの かわりになる まめか ボタンを 人数分 よういして ください。また、小さな 紙を 3まい よういして、それぞれに「1」「2」「3」と 書き、それを ふうとうか 小さな ふくろに 入れてください。

まず、一人の 人が ふくろの 中から 数字を 書いた 紙を 一まい えらび、その 数だけ こまの かわりになる まめか ボタンを すずめます。そして こまが 止まったところに 書かれている しじに したがってください。ぜんいんが ゴールに とうたつするまで ゲームを つづけます。





女の子が きゅうしょくの おぼんを  
おとして しまったのに、ひろって あげなかった。  
こまを 一つ もどす。

おべんとうを 持って来なかった 子に  
自分の おべんとうを 分けてあげた。  
こまを 一つすずめる。

休み時間に  
いっしょに あそぼうと  
だれかを さそった。  
こまを 一つ すずめる。

引っこしてきた  
人たちの ところに  
かぞく みんなで  
あいさつに 行った。  
こまを 一つ すずめる。



# ゴール

家の 手つだいを していた  
弟を たすけてあげた。  
こまを 一つ すずめる。

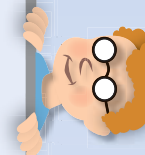
見た目が  
ほかの子と ちがう  
男の子を わらった。  
こまを 一つ もどす。

友だちに  
ふくいんを しょうかいした。  
こまを 一つ すずめる。



ほかの 人が  
せいぎを えらべるように、  
ゆうぎづけた。  
こまを 一つ すずめる。

友だちを からかって  
いやな 思いを させた。  
こまを 一つ もどす。



# 人々に奉仕することを学ぶ

ハイディ・S・スウィントン

**ト**ーマス・スペンサー・モンソンという名前は、おじいさんのトーマス・コンディーの名前を取って名付けられました。幼いトーマスは、すぐ近くに住んでいたおじいさんからたくさんのお話を聞きました。中でもいちばん心に残っているのは、人々にどう奉仕すればよいかという教えでした。

ある日、8才のトーマスはおじいさんと二人で玄関の近くにあるブランコにすわっていました。同じ通り沿いに、イギリスから来た一人の老人が住んでいました。ロバート・ディックスというその人を、近所の人々は「ボブじいさん」と呼んでいました。その人は貧しく、おくさんもなくなって独りぼっちでした。

そのボブじいさんがトーマスたちのところにやって来て、一緒にブランコにすわりました。そして今住んでいるれんが造りの小さな古い家を取りこわされることになっていると打ち明けました。家族も、お金も、行く当てもないということです。

ぼくのおじいさんはこの悲しい話にどうこたえるのだろうと、トーマスは思いました。するとおじいさんは、ポケット

から、かわ製の小さな小ぜに入れを取り出しました。そして一つのかぎを取ると、ボブじいさんの手にわたして、やさしく言ったのです。「ディックスさん、うちのとなり空き家があるから、そこに荷物を運び入れるといいですよ。家賃は一切はらわなくて結構ですから、好きなだけいてください。もう決してだれもあなたを追い出したりしませんから、安心してください。」ボブじいさんの目になみだがあふれました。

お母さんもトーマスに、人を愛し、奉仕する方法を教えてくださいました。毎週日曜日お母さんはボブじいさんのために、お皿にローストビーフと、グレービーソースをたっぷりかけたマッシュポテトを盛り付けました。それは、モンソン家族が夕食を食べる前のことでした。時にはピンク、緑、白の3層になったケーキにチョコレートをかけた、トーマスのお母さん特製の

リボンケーキがそえられることもありました。そのごちそうをボブじいさんのところに運ぶのがトーマスのやくめ役目でした。







## モンソン大管長の言葉

「愛は、みなさんがどのように生活し、どのように人に奉仕し、そしてどのように人に祝福をあてるかによって示されます。わたしはそう信じています。ほかの人のためにつくすとき、その人を愛しているのを示すことになります。それはまた、イエス・キリストに愛を示すことにもなるのです。」(「小さなお友だちへ」『聖徒の道』1997年11月号, 6)

最初のころ、自分が食べる前になぜボブじいさんに食べ物を届けるのか、トーマスには分かりませんでした。でもトーマスは一言も文句を言いませんでした。お皿いっぱい盛り付けられたごちそうをこぼさないように気をつけながら、トーマスは大きく急いでボブじいさんの家まで走って行きました。そしてボブじいさんがドアの所までゆっくり歩いて来るのを、まだかまだかと待ち構えていました。

ボブじいさんは前の週に届けてもらったお皿をきれいにしてお皿にしてトーマスにわたすと山盛りのごちそうが盛り込まれたお皿をトーマスから受け取るのでした。それからボブじいさんはお礼にと10セント(約8円)硬貨を一つ差し出しました。

そんなときトーマスはいつも決まってこう言います。「お金はもらえません。そんなことをしたら、ぼく、お母さんにしかられちゃうから。」

トーマスの金髪のかみをなでながら、年老いた紳士はこう言いました。「ぼうや、君のお母さんはすばらしい人だね。お母さんによろしく言うておくれ。」家にもどったトーマスが、ボブじいさんがお母さんのことをほめていたことを伝えると、お母さんは目になみだをうかべていました。

愛を示し、おしみにくく人々にあたえ、自分よりもまずほかの人を第一に考えること、そして良い友達、良い隣人になることを、モンソン家はとても大切にしていました。そうした生き方は、モンソン大管長の人生の指針となりました。■

## あなたはモンソン大管長とどのようなところが似ていますか？

あなたはモンソン大管長とどのような共通点がありますか。下に、モンソン大管長の小さいときのことがしょうかいされています。あなたと同じなら、四角の中に印を付けてください。

- お姉さんが一人いた。
- モンソン大管長は上から2番目の子供である。
- 日曜日に生まれた。
- モンソン大管長は長男である。
- モンソン大管長にはニックネームがあった(下を見てください)。
- モンソン大管長は5人きょうだいである。
- お父さんがよく朝食を作ってくれた。
- 小さいときに福音のあかしを得た。
- 自家製のアイスクリームが大好きだった。
- 図書カードを持っていた。
- いとこと遊ぶのが好きだった。
- おじいさんというのが好きだった。
- 線路のとなりに住んでいた。
- お母さんにたのまれてよくお使いをした。
- 8才のときにバプテスマを受けた。
- つりに行くのが好きだった。



## 名前とニックネーム

モンソン大管長の名前やニックネームと、それぞれが使われたときを結びつけて下さい。

| 状況  | 名前とニックネーム                           |
|---|-------------------------------------|
| 1. モンソン大管長が小さいときに教会や学校で人々が呼んでいた呼び方                      | a. お父さん                             |
| 2. 今日教会員が大管長を呼ぶ呼び方                                      | b. ナーバス・ウイリー<br>(いつもそわそわしている子という意味) |
| 3. 孫たちが呼ぶ呼び方  | c. トムまたはトーマス                        |
| 4. モンソン大管長のむすこやむすめたちが呼ぶ呼び方                              | d. トーマス・スペンサー・モンソン                  |
| 5. モンソン大管長はじっとしているよりもいつも動き回っているのが好きだったので、お母さんが付けたニックネーム | e. モンソン大管長                          |
| 6. バプテスマを受けたときの正式な名前                                    | f. おじいちゃん                           |

あなたには何か特別な意味を持つニックネームがありますか。

# ロイテの家

ミヨノイキカンシ  
教会機関誌

アダム・C・オルソン

**ロ**イテの家族は毎晩、ファレ（だ円形をした高ゆか式の住居）と呼ばれる伝統的なサモアの家に戻ります。ファレというその住まいは、奥行きが4.6メートル、はばが3メートルほどの広さで、かべはありません。人目をさげたいときにはシートをかけることもあります。

10才のロイテとその家族は、ゆかに円くなってすわり、家族そろって聖文を学びます。ねる前にはみんなで賛美歌を歌い、家族の問題について話し合います。

かれらは、「聖い」を意味するサーと呼ばれる夜を家族みんなで過ごします。サモアではほとんどの家族がこの時を家族そろって過ごすのです。

預言者は、家庭は神殿のように神聖でなければならないと教えています。家の外観はちがっても、家の中に聖霊を招き入れ、美しく手入れをして、平安と幸せが宿る学びの場とするために、わたしたちにはいろいろなことができます。■

布団をして、  
かや（かの侵入を防ぐためにかけるネット）をかけた後、  
ロイテは一人でおいりをします。

ロイテの家族はしばしば、  
おじいさんたちのファレに集まって  
家庭の夕べを開きます。

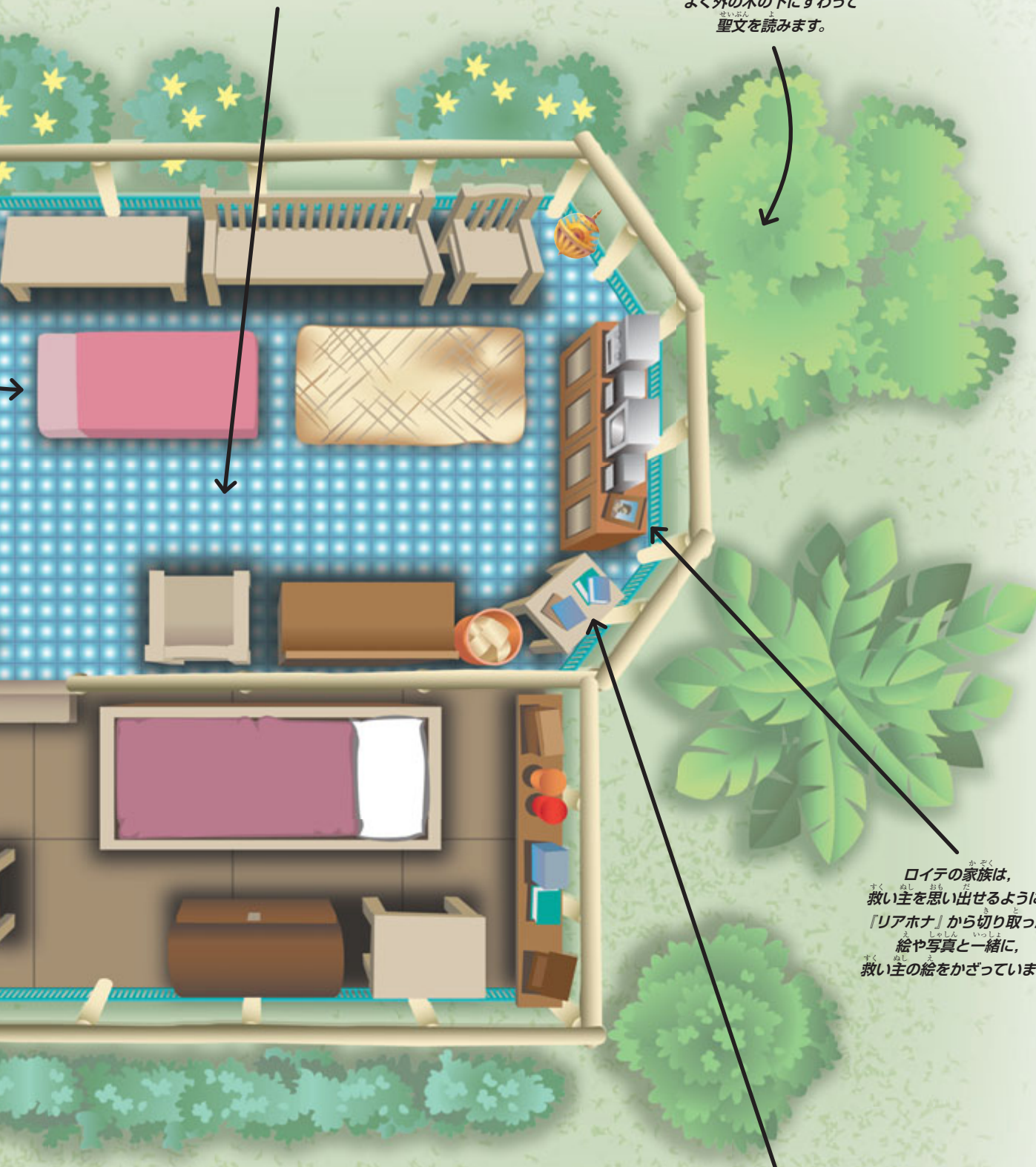
イラストレーション：キール、写真：ケラム・C・オルソン





ほとんど毎晩家族はファレに集まって、  
家族のいのりをささげ、聖文を学び、  
みんなで話し合います。

ロイテは一人で聖文を学びたいときは、  
よく外の木の下にすわって  
聖文を読みます。



ロイテの家族は、  
救い主を思い出せるように、  
『リアホナ』から切り取った  
絵や写真と一緒に、  
救い主の絵をかざっています。

家族は、聖典や、テキスト、『リアホナ』を  
テーブルの上に置いてあります。

食事は家族にとって大切な時間です。  
家族は外で火をたくか、  
熱した石をウムクカというかまどに入れて  
料理をします。



# てん とう 天のお父さまにつかえる

ジェーン・マクブライド・チョート

じつわを もとに 書かれました。

1.

おにいさんと おねえさんが ししゃの  
ための パプテスマを うけるために  
しんでんに 行く じゅんぴを して  
います。二人を じっと 見ていた  
ケ빈は、自分も 行きたいな と  
おもいました。

2.

お父さん、  
ぼくも 行けるかな？

ケ빈は まだ 小さいから  
しんでんには、入れないんだ。  
でも、行きたいって  
言ってくれて うれしいよ。  
12才に なったら、  
しんでんに入れるよ。

3.

そこで ケ빈は おねえさんが  
にもつを バッグに つめるのを  
手伝うことに しました。

それから おにいさんが ネクタイ  
を えらぶのを 手伝いました。

4.

ふたりで 出かけた後、ケ빈は お母さんと 赤ちゃんの  
エリンと いっしょに 家で るすばんを しました。



5.

エリンが なきだしたので、ケビンは くまのぬいぐるみを あげました。



6.

ケビンが 今日 天のお父さまにつかえていることを知って、天のお父さまは とても よろこんで おられると思うわよ。



でも ぼく 今日 しんでんに 行かなかったよ。

7.

そうね、でも おにいちゃんやおねえちゃんがしたくするのを 手つだったり、エリンの めんどうを見て お母さんを たすけてくれているでしょ。



8.

だれかを たすけることは 天のお父さまにつかえることになるのよ。





# たの 楽しい ほうし

よく 見ると <sup>した</sup>下の <sup>え</sup>絵は <sup>どれも</sup>どれも <sup>みな</sup>みな <sup>おなじ</sup>同じというわけでは <sup>ありません</sup>ありません。まったく <sup>おなじ</sup>同じ <sup>え</sup>絵を <sup>ふた</sup>二つ <sup>み</sup>見つけま  
しょう。





# 自分の <sup>じぶん</sup> すべきことを <sup>おこな</sup> 行う

トーマス・S・モンソンだいかんちょうは、わたしたちが <sup>じぶん</sup> 自分の <sup>おこな</sup> すべきことを <sup>おこな</sup> 行うのは とても <sup>たいせつ</sup> 大切だと <sup>おし</sup> 教えています。この <sup>ふた</sup> 二つの <sup>え</sup> 絵には <sup>ちがう</sup> ちがう ところが 5つあります。 <sup>み</sup> 見つけることが <sup>おこな</sup> できますか。 <sup>じぶん</sup> 自分が <sup>おこな</sup> すべきことを <sup>おこな</sup> 行っているのは <sup>どちら</sup> の <sup>こども</sup> 子どもでしょう。



# 教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は [news.lds.org](http://news.lds.org) にアクセスしてください。

## 新しい 地域会長会が 召される

**大** 管長会は地域会長会の割り当ての変更を発表した。この変更は2012年8月1日から実施される。地域会長会の長老は、すべて七十人第一定員会、または第二定員会に属している。■

### 七十人会長会



全地域を支援  
ロナルド・A・  
ラスバンド



1. 北アメリカ  
南東地域  
ウォルター・F・  
ゴンザレス



2. ユタ北地域  
3. ユタ・  
ソルトレーク・  
ジディー地域  
4. ユタ南地域  
L・  
ホイットニー・  
クレートン



5. 北アメリカ  
北東地域  
ドナルド・L・  
ホールストロム



6. 北アメリカ  
南西地域  
タッド・R・  
カリスター



7. 北アメリカ  
北西地域  
8. 北アメリカ  
西地域  
リチャード・J・  
メインズ



9. アイタホ地域  
10. 北アメリカ  
中央地域  
クレーク・C・  
クリステンセン



### 11. メキシコ地域



第一顧問  
ベンハミン・  
テ・オオス  
会長  
ダニエル・L・  
ジョンソン  
第二顧問  
ホセ・L・  
アロンソ

### 12. 中央アメリカ地域



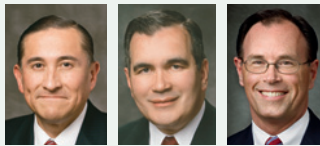
第一顧問  
カーロス・H・  
アマードー  
会長  
ジェームズ・B・  
マルティノ  
第二顧問  
ロバート・C・  
ゲイ

### 13. カリブ海地域



第一顧問  
J・デビン・  
コーニッシュ  
会長  
ウィルフォード・  
W・アンダーセン  
第二顧問  
クラウディオ・  
D・シピック

### 14. 南アメリカ北西地域



第一顧問  
フアン・A・  
ウセダ  
会長  
ラファエル・E・  
ピノ  
第二顧問  
W・クリストファー・  
ワデル

### 15. ブラジル地域



第一顧問  
カルロス・A・  
ゴドイ  
会長  
クラウディオ・  
R・M・コスタ  
第二顧問  
ジャイロ・  
マサガルティ

### 16. 南アメリカ南地域



第一顧問  
ホルヘ・F・  
ゼバヨス  
会長  
マービン・B・  
アーノルド  
第二顧問  
フランシスコ・J・  
ピーナス

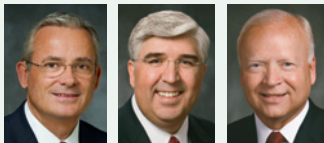
### 17. 中東／アフリカ北地域



教会本部が管理  
ブルース・D・  
ポーター  
ブルース・A・  
カールソン



18. ヨーロッパ地域



第一顧問  
バトリック・キアロン

会 長  
ジョセ・A・ティシエラ

第二顧問  
ケント・F・リチャーズ

19. ヨーロッパ東地域



第一顧問  
ランドール・K・ベネット

会 長  
ラリー・R・ローレンス

第二顧問  
ベア・G・マーム

20. アジア地域

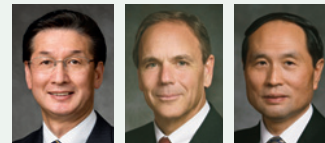


第一顧問  
ジェリット・W・ゴング

会 長  
ケント・D・ワトソン

第二顧問  
ラリー・Y・ウィルソン

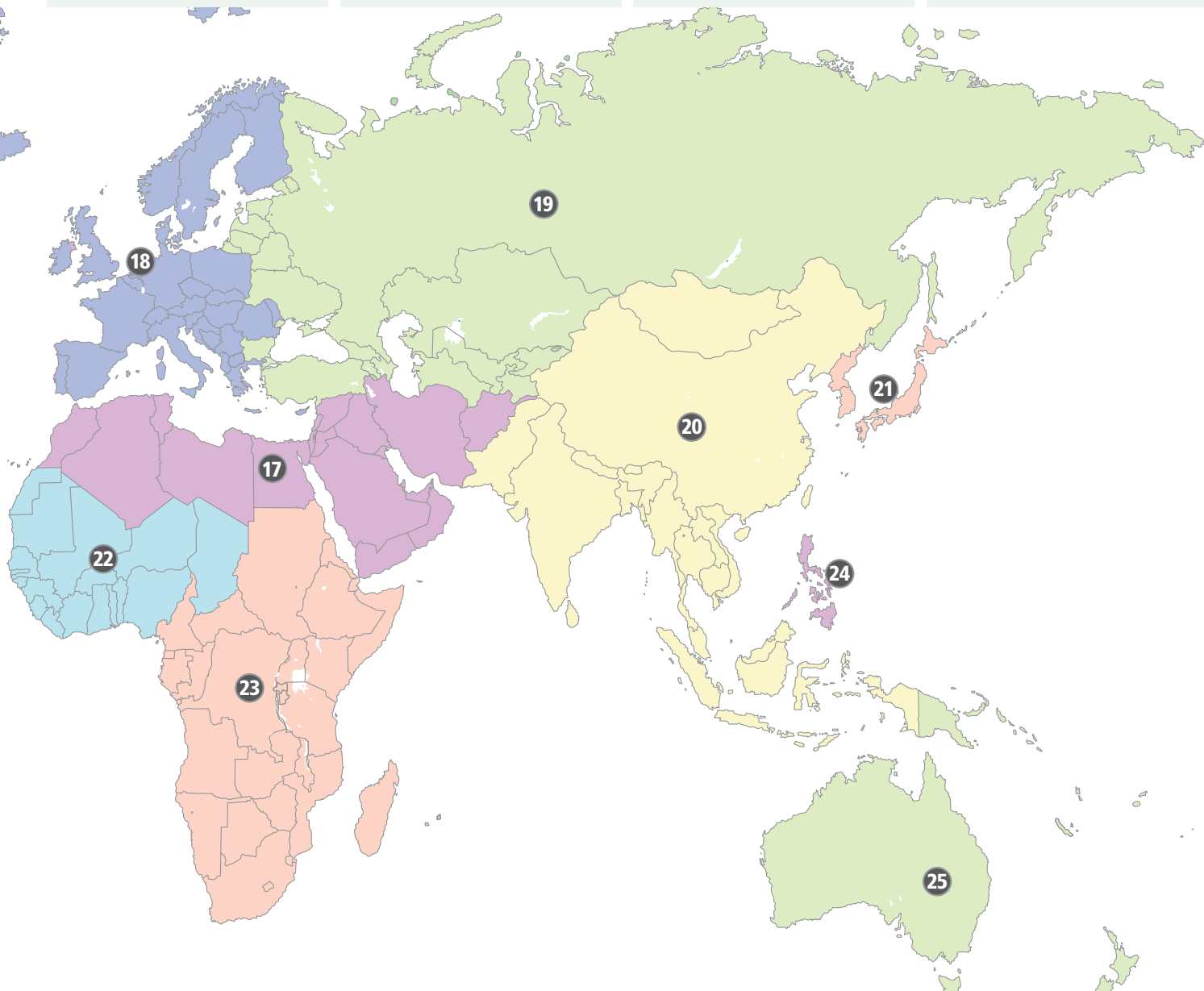
21. アジア北地域



第一顧問  
山下和彦

会 長  
マイケル・T・リングウッド

第二顧問  
青柳弘一



22. アフリカ西地域



第一顧問  
ジョセフ・W・シターティ

会 長  
ジョン・B・ディクソン

第二顧問  
リグランド・R・カーティス・ジュニア

23. アフリカ南東地域



第一顧問  
ユリシス・ソアレス

会 長  
デール・G・レンランド

第二顧問  
カール・B・クック

24. フィリピン地域



第一顧問  
ブレント・H・ニールソン

会 長  
マイケル・ジョン・U・テー

第二顧問  
イアン・S・アルデルン

25. 太平洋地域



第一顧問  
ケビン・W・ピアソン

会 長  
ジェームズ・J・ハムラ

第二顧問  
F・マイケル・ワトソン

### 『リアホナ』現在簡体字中国語で提供される

中国語を話す人は現在簡体字中国語の『リアホナ』を入手することができる。

二つの大会号(5月号と11月号)と4つの普通号(1月号, 4月号, 7月号, 10月号)を含めた6つの『リアホナ』が毎年簡体字中国語で製作される。2012年1月号と4月号はインターネット上でのみ発行される。印刷版が利用できるようになるのは5月号からである。

機関誌の各月号の購入や定期購読に関して知りたい場合は配送センターに連絡するか [store.lds.org](http://store.lds.org) にアクセスしてください。

### 『若人の強さのために』の標準を強調する教会機関誌

今月号から教会機関誌では新しく改訂された小冊子『若人の強さのために』で述べられている標準を強調する一連の記事を特集している。その連載記事は何か月にもわたって『ニューエラ』(New Era)や『リアホナ』の青少年のページに掲載される(大会号は除く)。各記事で強調される標準は異なっており、中央若い男性会長会や中央若い女性会長会、七十人の会員の承認を受ける。

両親がその月に採り上げられている標準を子供たちにどのように教えたらよいか成人向けコーナーを1ページを割いて『リアホナ』や『エンサイン』に記事が掲載される。『若人の強さのために』の



世界中の様々なところにいる中国語を話す人たちは現在簡体字中国語で『リアホナ』を読むことができる。

テーマと初等協会の子供たち向けのわたしの福音の標準のテーマが一致する場合は、『リアホナ』や『フレンド』の子供向け記事にも掲載される。

### ファミリーサーチ索引作成アプリ現在利用可能になる

現在 iPhone や iPad 利用者向けのファミリーサーチ索引作成アプリによって個人が携帯機器を使って世界中から貴重な系図記録を収集したり分かち合ったり

できるようになっている。

該当するアプリは1940年の合衆国国勢調査資料が索引できるようになったと同時にリリースされたもので、アップル・アプリストア(iOS 機器)あるいは Google Play (アンドロイド版) からダウンロードして利用できる。

英語とスペイン語で利用でき、そのアプリによって出生証明書や婚姻届、国勢調査記録のような手書きの歴史記録から名前、場所、他の関連情報が掲載されている画像の断片を見ることができる。個人は見える情報を書き取れば(索引化すれば)、ファミリーサーチ索引作成システムがその情報を [familysearch.org](http://familysearch.org) にアクセスして利用できる無料系図記録のデータ一覧に加える。■

新しいファミリーサーチ索引作成アプリによってより多くの人々が小規模にも大規模にも家族歴史探求に貢献できるようになる。





**神は隠れたことを示し続けられる**

13歳のころ、わたしは祖母と暮らしていました。ある日捨てられていた雑誌を見つけそれを読み始めました。そこには世界中の人々から寄せられた話が載っていて、そこには彼らの生活で起きた奇跡が語られていました。この雑誌が『リアホナ』だったので。おばが教会員で、わたしの祖母の家にその雑誌を置いていったのです。

その話に興味を持ったわたしは何か特別なものによってそれが真実であるとわたしに語られているように感じました。1年後わたしはバプテスマを受け、それ以来自分でリアホナを購読しています。その機関誌は指針であり祝福です。わたしにとってそれは神がわたしたちを愛し、そのしもべである預言者にその隠れた事を示し続けているという証拠なのです(アモス3:7参照)。

ルキリノ・メンドーサ(カーボ・ベルデ)

**この世での助けと霊的な助け**

わたしは『リアホナ』を読むのが大好きです。この世界的にも霊的にもわたしの助けとなっています。教会員や生ける預言者からの心を高める助言によって、信仰を強め、才能と能力を高め、心と思いを清められます。

デレック・パロロング(フィリピン)

ご意見、ご感想を [liahona@ldschurch.org](mailto:liahona@ldschurch.org) にお送りください。掲載されるお手紙は、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。■

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。



「自然災害——恐れる必要はありません」30ページ——あらかじめ記事を読み、住んでいる地域で自然災害に対してよりよく備えるために家族として何ができるか祈って考えます。その後でエリス長老が提案しているように、家庭の夕べを活用して計画を実行に移します。非常用袋を作ったり、家庭貯蔵を補充したり、霊的に備えるにはどうしたらよいか話し合うのもよいでしょう。エリス長老の「備えをするとき、どのような嵐あらしをも切り抜けることができます。」という心強いメッセージを強調してください。

「混乱の世にあって信仰を守る」42ページ——記事の冒頭にあるコセービショップの教室での経験を分かち合うのもよいでしょう。その後で、そのような状況に遭ったら、どうしていたか家族に尋ねてください。

コセービショップの証あかしの中でしっかりと守り続けた原則を復習するのもよいでしょう。

「どうしたら赦ゆるされたと分かるのでしょうか」48ページ——まず初めに「悔い改めた後で、いつ赦されたのかを知るにはどうしたらよいですか」と尋ねてください。その後で、記事の第2段落にあるカリストー長老の答えを読むとよいでしょう。家族にふさわしい追加項目の記事を分かち合ってください。

「人々に奉仕することを学ぶ」66ページ——モンソン大管長の子供時代の話が家族に読んでください。その後で、家族の中の幼い子供たちとテーマに合った活動をするのもよいでしょう。トーマス・S・モンソン大管長が生ける預言者であるというあなたの証を述べて閉会してください。■

.....

**絵に描いたような完璧な家庭の夕べ**

教会の写真で見たような家庭の夕べをすることをいつも夢見ていました。しかし夫とわたしがかわいひい小さな女の子を養子に迎えると、彼女は参加するのを嫌がりました。それでわたしたちは彼女に影響を与えられるように家庭の夕べを幾分変更しなければならないことを理解しました。

『リアホナ』に掲載されている家庭の夕べのためのアイデアにとっても感謝しています。現在家庭の夕べを開きたいと最初に切り出すのは娘の方で、毎日でも開きたいと望んでいます。

わたしたちが好きなレッスンの一つは御霊みたまがわたしたちをどのように導くかを学ぶレッスンです。わたしたちは娘に自分の部屋に入るよう頼みました。3つ数えたら彼女は居間に戻って救い主の絵を探することができます。わたしたちは、彼女が絵に近づけば温かくなると言い、絵から遠ざかると寒くなると言いました。彼女は絵を見つけるととても喜びました。彼女が主に近づくためには従順になって御霊に従うことが大切であることを理解したのは驚きでした。

教義と聖約第11章12節を読んで会を締めくくりました。わたしたちが「善を行うように導く…御霊を信頼」することによって、家庭の夕べが祝福であることを理解しました。■

モエマ・リマ・サレス・フロエデル(ブラジル)

# わたしたちの宗教に関する 質問に答える

教会広報部実務運営ディレクター  
マイケル・オッターソン

**末**日聖徒イエス・キリスト教会の会員になってほんの数日しかたっていないころ、ある友人のグループの何気ない会話からわたしの数日前の改宗談に発展しました。

好奇心をそそられ、さらに興味を抱く人もいた一方で、無関心だった人もいます。同年齢のある若い女性はわたしがクリスチャンになったという事実を受け入れることがなかなかできませんでした。

それは自分の信仰をまだ分かっていない人たちに説明しようと試みたわたしの最初の経験でした。とてもかたくなな心に理解を求めようとしたために、彼らに推論の余地すら与えることができず、すっかり挫折感を味わってしまったことを覚えています。

教会が発展するにつれ、主要な宗教と同様にますます綿密な調査を受け、会員とわたしたちの信仰についてまだ知らない家族や友人、知人が顔を合わせてあるいはインターネット上で話し合う機会が今まで以上に増えるようになります。

幾つかの基本的な原則に注意を払うことによって会員は今まで以上に自信をもって質問に答えたり意見を述べたりすることができるようになります。

## 自分の宗教に生きる

忠実な会員がもつ大きな利点の一つは、信仰によって「自分の宗教に生きる」よう励まされているということです。信頼がはぐくまれるのは、言っていることと行っていることが一致していることを友人や知人が分かるときです。

末日聖徒の生活が最高の説教となっている場合には、たとえ人々が不適切な質問をしたり、皮肉めいた話し方をしたとしても率直で誠実に親切な態度で語り合うべきです。イエス・キリストに従う者となるというわたしたちの主張は行動と信条が一致しているときに最も確信を与えるものとなります。質問に答えたりあるいは批判を浴びるときには、傷つかない強い心を保たなければならないこともあります。またユーモアのセンスが必要なときもあります。

2007年BYUハワイ校の卒業式で十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は次のように語りました。「福音の原則を研究するだけでなく、それに従って生活するならば、その知識と行動が絶妙に結びつき平安な気持ちでどのような場面においても真実だと分かっていることを教えられるよう心構えができます。」

## 場面を設定する

わたしたちの宗教について質問し

たり意見を述べているときには、最初の段階からある場面を設定することが大切です。

ただ単に任意の同じような質問に答えるよりは、話し合いの足がかりを作るために最初に30秒ほど時間を取るのが有効になるでしょう。わたしたちがイエス・キリストを救い主として信じ、イエス・キリストの降誕と生涯、働き、十字架上の死、復活に関する聖書の教えを受け入れていることを説明するだけでいいのです。さらにわたしたちはキリスト教世界がイエスが聖書で教えられた真理から離れたことと主が設立された教会が回復される必要があったことを信じています。

このようにして教会の基本的信条を説明しておけば、話し合いが福音の他の教義に関することに発展しても基準点を見失うことはありません。

## 情報を収集する

質問を受けるとき会員は質問の中心にある福音の原則を見極め、その答えを救い主と結び付けて返答することができます。

例えば、なぜキリスト教の国々へ宣教師を送りだすのでしょうか。その答えはイエスの時代、主が「全世界に」二人ずつ主のメッセージを携えた人々を送られたからです。そしてわたしたちは現在でも同じことをしています。なぜ結婚前に同棲をしないように勧





個人の経験を分かち合う方が、暗記した答えを繰り返すよりも効果的な場合があります。

めるのでしょうか。それはイエスと彼の弟子たちが結婚とそれに伴うすべてのものの神聖さを教えたからです。

神の御子から発せられる原則に従ってこうとするとときに、複雑で凝った世俗の議論を必要とはしません。

### 個人の経験を分かち合う

友人の質問に答えることは覚えた答えを繰り返すようなものではありません。誠実な個人の経験を分かち合うこと<sup>みたま</sup>によって御霊が招かれ、証<sup>あかし</sup>を述べたり聞く人の心にメッセージが

伝わるようになります。

わたしたちの信条を分かち合ううえで最も大きな妨げとなるものの一つが自分にはその答えがないのではないかと恐れることです。他の教会に集う人たちが自分たちの教会の歴史や教義に通じている人はほとんどいません。比較調査で分かったことですが、末日聖徒は自分たちの宗教に対して信じられないほどよく教えられています。

自分たちの知らない教会の教義や歴史について質問してくる人がいたら、「分かりません」と言ってよいのです。

### インターネット資料

**教**会では会員が疑問を抱いている人と分かち合える効果的な資料をインターネット上で公開しています。

Mormon.org

Mormon.org/Jesus Christ

Mormonnewsroom.lds.org

LDS.org

Liahona.LDS.org





友達の質問に答えるときに、あなたらしくあってください。  
たいていの場合、友達はあなたの人柄を信頼しているからこそ質問してくるのです。

しかしわたしたちの誰もが個人の経験談を分かち合い、自分たちの宗教について感じていることを伝えることができます。

祈りや断食、家族との効果的なコミュニケーションについて自分たちの経験を語るのであれば、その経験に対して異議を唱える人はいません。それは自分たちのものであり、自分たちがしている以上にそれをよく理解する人はいないのです。

### 話を聞く対象を意識する

少し質問しただけなのに 30 分にわたる講義が始まるのを嫌がって、会員に質問できない人もいます。何気ない質問をされたときには、彼らの関心やくつろげる雰囲気、理解の度合いに敏感になってください。最初に思い

やりを示すことによって興味を抱いている人に安心感を与えることができます。

人によって宗教や教育など背景が異なるため、同じ会話がすべての人に通用しないことを理解してください。

### 信じていることを分かち合う

教会員には事実と異なる誤解を払拭するうえでよい力となり、そしてわたしたちが何者であり何を信じているかについて他の人々の理解を深める今までにないチャンスがあります。

人々が末日聖徒の信条についてより多くのことを知るにつれ、ある明確な違いがあることが分かるだけでなく、良い関係を築くことが出来る思いがけない共通点も見つかるようになります。■

## 役に立つヒント

### 最高の状態を想像する

わたしたちの宗教について質問攻めに合わせようとしている人がいるときはたじろぐこともあるかもしれませんが、しかしたいていの場合、単なる好奇心でそうしているだけなのです。防衛的にならないでください。

### 注意深く聞く

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は識別の賜物が最もよく機能するのはわたしたちが人の話を聞くときであると教えています。質問とその趣旨を真に理解するためには、質問の内容を明確にし、話すよりも聞くことに重点を置くように備えてください。

### 意思を尊重する

人はだれでも天与の道義にかなった意思を持っています。ですから促したり説得するのはよいのですが、抑圧したり強要すべきではありません。

### 教会の専門用語を使わない

「ワード」、「家庭の夕べ」、「知恵の言葉」のような普段聞き慣れない末日聖徒特有の言葉や専門用語は使わないでください。これらの用語を使う場合には、意味を尋ねられる前に説明してください。

### 教会の名称を使う

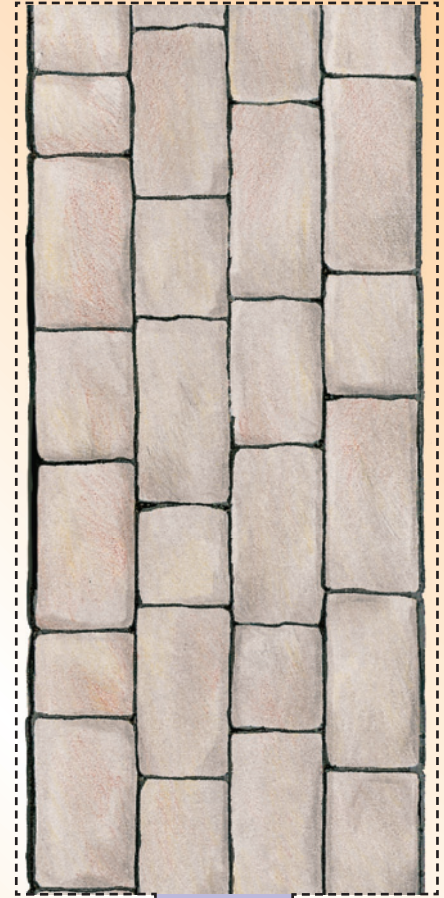
可能なときには、会話の初めの段階で少なくとも 1 回教会の名称を使ってください。教会の名前には力があります。それゆえそれを明らかにするのです。その名称はわたしたちがいかなる者かを大いに語っています。



**今** 年の『リアホナ』にはモルモン書にとうじょうするじんぶつなどの絵のセットがたくさんもりこまれます。じょうぶでつかいやすくするために、それぞれの絵を切りぬき、ボール紙やあつ紙、小さな紙ぶくろ、または工作用のほうに、のりかテープで はってください。ふうとうや ふくろに それを まとめて しまっておきましょう。そのとき、そのじんぶつなどがモルモン書のどこに 出てくるかわかるように ラベルを はっておくと よいでしょう。



サムエル



レーマン人サムエル  
 ヒラマン書だい 13 - 14, 16 しょう



「日々の生活の中には、  
主の模範に従う機会が  
数限りなくあることに気づきます。  
わたしたちが主の教えに従おうという気持ちになるとき、  
主は必ず助けの御手を  
差し伸べてくださることに気づきます。  
それはあたかもわたしたちが  
主の用向きを受けているようなもので〔す〕。」  
モンソン大管長ご自身が、  
日々の生活で神の助けを求め、  
奉仕することに応じる一人の模範です。  
「トーマス・S・モンソン——義務に応じる」、  
14 ページ参照。

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会